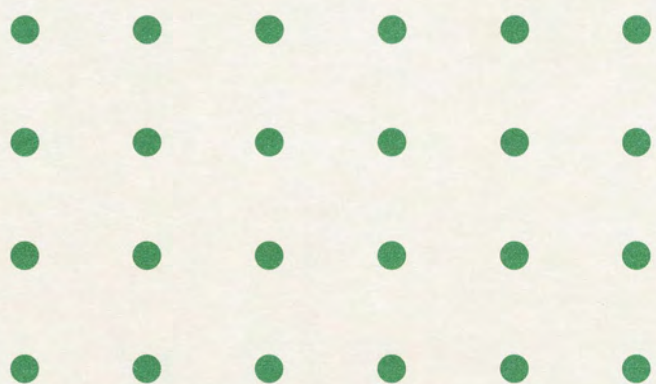




Fukuoka Art Museum Annual Report 2002

平成14年度

福岡市美術館
活動の記録

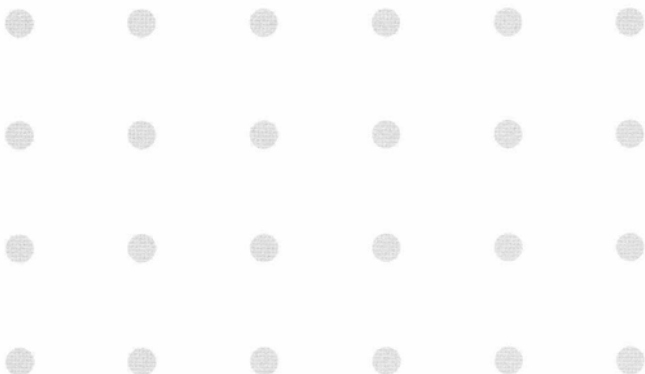




Fukuoka Art Museum Annual Report 2002

平成14年度

福岡市美術館
活動の記録



目次

凡例	04
美術館日誌	05
展示活動	06
主催展	
特別企画展等	06
常設展	12
常設企画展	14
主催展関連記事	17
貸館展	21
観覧者数一覧	27
教育普及活動	28
アートアドベンチャー	28
夏休みこども美術館	28
実技講座ワークショップ	29
講座・講演会	30
読書室企画	31
博物館実習	32
職場体験学習	32
ボランティア活動	32
施設利用状況	34
出版物	40
収集活動	42
美術資料	42
図書・映像資料	54
美術資料の修復と貸出	55
名簿	60
資料	61
関係法規	62

凡例

- 1 本冊子は福岡市美術館の平成14年4月1日から平成15年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH.14は平成14年の略字である。
- 2 「美術館日誌」は美術館主催の主要な事業を挙げた。
- 3 主催展覧会の観覧者数の明細は「観覧者数一覧」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。また、展覧会関連事業は「施設利用状況」にも別記している。
- 4 「収集活動」の「美術資料」は平成14年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。なお、データの寸法(法量)は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3(イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。例えば1-A-452は郷土作家の油彩画の452番である。

1 郷土作家 ^(注1)	A	油彩等 ^(注2)	作品番号
2 日本作家	B	日本画等 ^(注3)	
3 海外作家	C	水彩等 ^(注4)	
4 黒田資料	D	素描	
5 東光院仏教美術資料	E	版画	
6 松永コレクション	F	写真	
7 太田コレクション	G	彫刻等 ^(注5)	
8 石村コレクション	Ha~Hf	工芸 ^(注6)	
11 森山コレクション	I	書跡	
12 三宅コレクション	J	文書	
13 山崎朝雲資料	K	その他	
14 一般古美術資料			
15 研究資料			
16 西本コレクション			
18 クスマコレクション			
19 藤森静雄資料			

- 注
- 1. 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家
 - 2. A(油彩等)の分類には、大きさや形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわち、アクリル絵の具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属などの特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版画技法を用いていても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
 - 3. B(日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
 - 4. C(水彩等)の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む
 - 5. G(彫刻等)の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
 - 6. H(工芸)は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。
- なお、作品名の[]は当館で作成した仮題である。

- 5 図版の＊は藤本健八氏撮影のものである。

平成14年

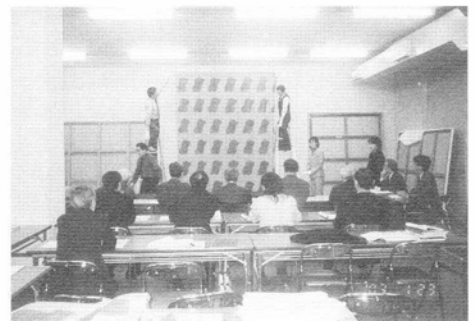
- 4月 2日(火) 小・中学生の常設展示観覧料の無料化を開始
- 4月17日(水) 福岡市美術館所蔵品展「福岡県の洋画家たち」開催(4月28日まで)
- 5月 4日(土) 実技講座ワークショップ「ライフマスク“FACE TO FACE”」作品制作(5月6日まで)
- 5月 8日(水) 実技講座ワークショップ「ライフマスク“FACE TO FACE”」展示(5月26日まで)
- 7月 2日(火) 夏期の開館時間延長を開始(8月31日まで)
- 7月 8日(月) 平成14年度第1回美術館協議会
- 7月25日(木) 平成13年度美術資料寄贈者への感謝状贈呈式
- 7月27日(土) こどもワークショップ「探してみよう！不思議な世界」(7月27日、8月7日の2回)
- 8月 1日(木) 「カンディンスキー展」開催(9月1日まで)、同展開会式
- 8月24日(土) こどもワークショップ「描いてみよう！不思議な世界」
- 9月 7日(土) 「ナイーヴな絵画展」開催(10月14日まで)、同展開会式
- 10月17日(木) 近現代美術企画展「第4回21世紀の作家ー福岡 江上計太展」開催(12月27日まで)
- 10月20日(日) 「悟りの美」展開催(11月15日まで)
- 11月 3日(月) 開館記念日につき常設展観覧料を無料とした
- 12月 9日(月) 平成14年度第2回美術館協議会
- 12月27日(金) 仕事納め

平成15年

- 1月 5日(日) 福岡市・北九州市連携事業 第2回芸術・文化交流展「福・北美術往来」開催(2月2日まで)、同展開会式
- 1月 5日(日) 近現代美術企画展「古田ふじを展」開催(2月23日まで)
- 1月 5日(日) 古美術企画展「エイコ・クスマ・コレクション 木綿の島ターイインドネシアの染織」開催(3月2日まで)
- 1月 6日(月) 仕事始め
- 1月23日(木) 美術資料収集審査委員会(近現代美術)
- 1月25日(土) 美術資料収集審査委員会(古美術)
- 2月28日(金) 「第37回福岡市美術展」入賞・入選者発表
- 3月 1日(土) 第5回所蔵品によるアートセミナー「幻想の向こうに見えるもの～浜田知明の世界」(3月1日、3月8日、3月15日の全3回)
- 3月16日(日) 「第37回福岡市美術展」表彰式
- 3月21日(金) 親子版画教室「シルクスクリーンに挑戦だ～身近な素材に好きなものをプリントしよう～」(3月22日まで)



美術資料寄贈者への感謝状贈呈式



美術資料収集審査会(近現代美術)

カンディンスキー展

会期◎平成14年8月1日(木)―9月1日(日)

会場◎特別展示室A



会場風景

主催◎福岡市美術館/NHK福岡放送/NHK九州メディス
西日本新聞社
後援◎外務省/文化庁/ロシア連邦大使館/福岡県
福岡県教育委員会/福岡市文化芸術振興財団
西日本文化サークル連合会/西日本天神文化サークル
協力◎日本航空/アエロフロート・ロシア航空
フィンランド航空/西日本鉄道

内 容

20世紀以後の美術に決定的な影響を与えた「抽象絵画の父」、ヴァシリー・カンディンスキーの足跡をたどる展覧会。カンディンスキーがミュンヘンとモスクワを舞台に活動した1896年から1921年までの期間に焦点をあて、抽象絵画の誕生過程と、これまであまり注目されなかったモスクワ時代の作品を紹介した。代表作「コンポジションVII」を始め、ほとんどが日本初公開となる絵画、素描など73点を展示した。

観覧料	一般	1,100円(900円)	()内は前売、団体(20人以上)、 シルバー手帳、身体障害者手帳、 精神障害者保健福祉手帳、 療育手帳所持者料金。
	高・大生	800円(600円)	
	小・中生 無料		

開催日数 28日

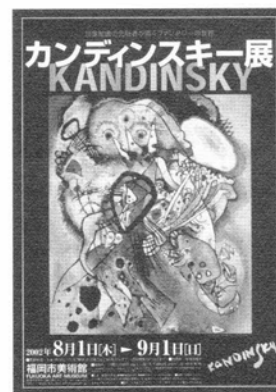
観覧者数 46,398人

出品点数 73点

印刷物 ポスター(B1, B2, B3)
チラシ(A4)
図録(A4変形・205頁)

関連事業 記念講演会
日時:平成14年8月3日(土) 午後1時30分より
会場:講堂
演題:「カンディンスキーとドローネー 1912年のベルリンとパリ」
講師:後藤新治氏(西南学院大学教授)

関連記事 p.17を参照



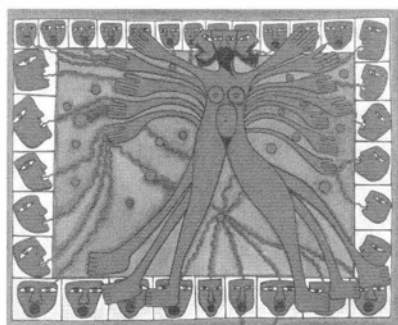
ポスターB2

「ナイーヴな絵画」展

ー ルソー、ピカソから岡本太郎、山下清、谷内六郎までー

会期 ◎ 平成14年9月7日(土)ー10月14日(月・祝)

会場 ◎ 特別展示室 A



出品作品 桜井孝身「パラダイスへの道」1979年 *

主催 ◎ 福岡市美術館/読売新聞西部本社/FBS福岡放送

協賛 ◎ 世田谷美術館

後援 ◎ 福岡市文化芸術振興財団/TVQ九州放送/FM福岡
CROSS FM/LOVE FM

内 容

本展の見どころの一つは、従来のナイーヴ(素朴派)展がいわゆる非専門アマチュア画家たちの作品を中心に構成されていたのとは異なり、専門美術家たちのナイーヴな表現作品も多数含めた点にあった。ルソー、ピカソ、岡本太郎、山下清、谷内六郎、ねむの木学園の子供たちの作品などを世田谷美術館のコレクションを中心にして風景、風景と人物、人物、人物と動物、動物、静物・風物、創造の世界、聖書の世界の8つの章で展示紹介。

観覧料	一般	1,000円(800円)	()内は前売、団体(20人以上)、 シルバー手帳、身体障害者手帳、 精神障害者保健福祉手帳、 療育手帳所持者料金。
	高・大生	800円(600円)	
	小・中生 無料		

開催日数 33日

観覧者数 18,615人

出品点数 140点

印刷物 ポスター(B2, B3)
チラシ(A4)
図録(A4変形・176頁)

関連事業 記念講演会I
日時:平成14年9月15日(日) 午後2時より
会場:講堂
演題:「素朴派について」
講師:勅使河原 純氏(世田谷美術館学芸部長)

記念講演会II
日時:平成14年9月22日(日) 午後2時より
会場:講堂
演題:「天才はどこにでもいるわねえ…」
講師:宮城まりこ氏(ねむの木学園長)

関連記事 p.17を参照



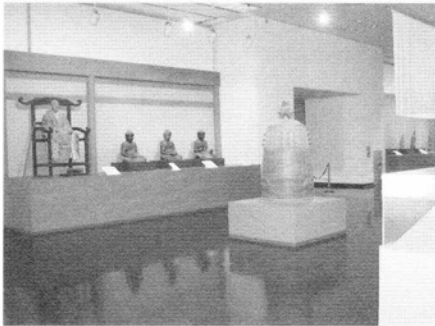
ポスターB2

悟りの美

— 西国曹洞宗寺院の什宝展 —

会期◎平成14年10月20日(日)—11月15日(金)

会場◎特別展示室 A



会場風景

主催◎福岡市美術館/西日本新聞社/TNC テレビ西日本
後援◎曹洞宗/福岡市文化芸術振興財団/西日本リビング新聞社
TVQ九州放送/CROSS FM/FM福岡/LOVE FM
西日本天神文化サークル/西日本文化サークル連合会
協賛◎お仏壇・墓石はせがわ
協力◎駒澤大学短期大学同窓会

内 容

禅宗の一派曹洞宗の九州・山口に所在する寺院に伝わった、その歴史と文化を語る美術を展示した。この地域は道元の渡宋以来、曹洞宗寺院が早くから創建され、活発な広がりを見せた。とくに室町時代、鹿児島から出た石屋真梁や無著妙融らは、山口を含めた地域で、大いに曹洞宗を興隆させた。展覧会では鎌倉時代からの仏像彫刻、禅僧の墨跡、頂相(ちんそう)と呼ばれる肖像画、そして法を伝える証の袈裟など、新出の資料を数多く含んだ99点を展示した。全国でも知られることが少なかった曹洞宗の文化に光を当てることのできたのではないだろうか。

観覧料	一般	1,000円(800円)	()内は前売、団体(20人以上)、 シルバー手帳、身体障害者手帳、 精神障害者保健福祉手帳、 療育手帳所持者料金。
	高・大生	800円(600円)	
	小・中生	無料	

開催日数 23日

観覧者数 7,302人

出品点数 99点

印刷物 ポスター(B2, B3)
チラシ(A4)
図録(A4変形・176頁)

関連事業 記念講演会
日時:平成14年11月2日(土) 午後2時より
会場:講堂
演題:「九州・山口の曹洞宗の展開」
講師:佐藤秀孝氏(駒澤大学仏教学部教授)

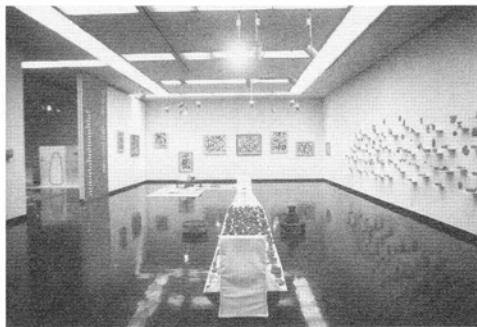
関連記事 p.18を参照



ポスターB2

福岡市・北九州市連携事業
第2回芸術・文化交流展
福・北 美術往来

会期◎平成15年1月5日(日)―2月2日(日)
会場◎特別展示室 Aおよび館内各所



会場風景

主催◎福岡市美術館/北九州市立美術館
後援◎福岡市文化芸術振興財団/北九州市文化芸術振興財団
NHK福岡放送/NHK北九州放送局/九州旅客鉄道
西日本鉄道/朝日新聞西部本社/毎日新聞西部本社
読売新聞西部本社/TNCテレビ西日本/RKB毎日放送
FBS福岡放送/KBC九州朝日放送/TVQ九州放送
協賛◎福岡文化財団
協力◎福岡市交通局

内 容

福岡・北九州両市間の芸術文化交流事業の一環としての展覧会。両市及びその周辺で近年活躍中の若い美術家たち33人(組)による現代美術展を、北九州市立美術館と共同開催。文化も歴史も、街の成り立ちも異なる福・北両市の間に美術の力で「交換/交歓」の場(=往来)を創造することが本展の大きな趣旨。多くの作家が本展のための新作を披露。多彩な関連事業も展覧会に彩りを添え、また会期中の週末に運行された連絡バスにより、両館の間での観客の交流、交換も促した。両館を会場として、絵画、彫刻、インスタレーション、映像など82点を展示した。

観覧料	一般	700円(600円)	()内は前売、団体(20人以上)、 シルバー手帳、身体障害者手帳、 精神障害者保健福祉手帳、 療育手帳所持者料金。
	高・大生	300円(200円)	
	小・中生	無料	

開催日数 25日

観覧者数 3,157人(福岡会場のみ)

出品点数 82点(2会場)

印刷物 ポスター(B2, B3)
チラシ(A4)
図録(A4変形・118頁)
展示記録(A4変形・24頁)

関連事業 ワークショップ
草野貴世・親子ワークショップ
日時:平成15年1月11日(土)
午後1時~3時
会場:実技講座室
講師:草野貴世氏(美術家)

牛嶋 均「秘密キチ」
日時:平成15年1月19日(日)
場所:美術館敷地内
講師:牛嶋 均氏(美術家)

ミニシンポジウム「福・北のアーティストスペース」
日時:平成15年1月25日(土) 午後2時~3時30分
会場:教養講座室
講師:宮川敬一氏、阿部幸子氏、耘野康臣氏、河口 彩氏(各氏美術家)



ポスター-B2

アーティストトーク

大木奈緒美、友池理絵によるギャラリートーク

日時:平成15年1月12日(日) 午後2時~3時

会場:特別展示室A

講師:大木奈緒美、友池理絵各氏(各氏美術家)

石井潤一郎アーティスト・トーク

日時:平成15年2月2日(日) 午前10時30分より

会場:美術館2階入口エスプラナード

講師:石井潤一郎氏(美術家)

パフォーマンス

佐々恭子+坂井存パフォーマンス

日時:平成15年1月25日(土) 午後4時30分~5時

会場:特別展示室Aおよび読書室前庭園

出演:佐々恭子氏、坂井存氏(各氏美術家)

徳永昭夫+Selbst(セルフスト)パフォーマンス「しゅんつぱつ」

日時:平成15年2月2日(日) 午後1時および午後4時より

会場:エスプラナードおよび2階ロビー

出演:徳永昭夫氏(美術家)、Selbst(セルフスト)(ダンスグループ)

直通バスの運行

当館と北九州市立美術館の2会場での観覧の利便性をはかるため、2館を直結するバスを運行した。

運行日時

2館ともに1月5日(日)、11日(土)、12日(日)、13日(月・祝)、18日(土)、

19日(日)、25日(土)、26日(日)、2月1日(土)、

2日(日)の午前11時および午後2時。



佐々恭子+坂井存パフォーマンス



徳永昭夫+selbstパフォーマンス「しゅんつぱつ」

関連記事 p.18を参照

第37回福岡市美術展

会期◎平成15年3月11日(火)ー3月23日(日)
 前期:平成15年3月11日(火)ー3月16日(日)(洋画、彫刻、工芸)
 後期:平成15年3月18日(火)ー3月23日(日)(日本画、書、写真、デザイン)
 会場◎特別展示室 A・B、
 市民ギャラリー A・B・C・D



ギャラリートークの様子

主催◎福岡市/福岡市教育委員会/福岡市美術展運営委員会
 後援◎九州日仏学館/福岡県教育委員会/福岡県美術協会
 福岡文化連盟/福岡市文化芸術振興財団/西日本新聞社
 福岡市姉妹都市委員会

内 容

美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的に、毎年開催している公募展。今回は、洋画等7部門で、1,457人(1,713点)の応募があり、内844人(853点)が入選・入賞した。

また、姉妹都市ボルドー(フランス)との美術交流を行っており、第36回展入賞作品56点をボルドー市で開催の福岡市美術展において展示した。なお、日仏姉妹都市賞受賞者のボルドー市からの招待に併せて、入選者を対象に募った美術交流団17名を派遣(自費参加)する等、両市民の文化交流並びに友好親善に寄与している。

観覧料 一般 300円 障害者手帳所持者は無料
 高・大生 200円
 小・中生 無料

開催日数 12日

観覧者数 7,994人

出品点数 893点(審査員・招待出品を含む)

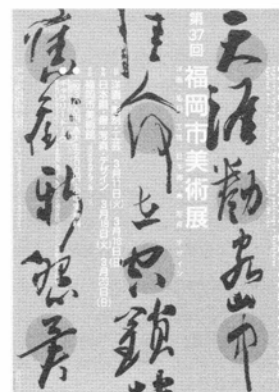
印刷物 ポスター(B2・2種)
 開催要項(A3二つ折)
 図録(A4変形・48頁)

関連事業 入賞・入選発表
 期日:平成15年2月28日(金)

表彰式
 期日:平成15年3月16日(日)
 会場:講堂
 各賞:特別賞(日仏姉妹都市賞)1点、福岡市長賞7点、
 福岡市議会議長賞2点、
 福岡市教育委員会賞・福岡県美術協会賞・
 福岡文化連盟賞・福岡市文化芸術振興財団賞各1点、
 西日本新聞社賞3点、福岡県美術協会奨励賞2点、
 奨励賞38点。

ギャラリートーク
 期日:前期 平成15年3月16日(日)
 後期 平成15年3月23日(日)

関連記事 p.18を参照



ポスターB2



日仏姉妹都市賞・福岡市長賞(工芸部門)井上康「街模様」

出品・入賞入選状況

部門	出品(応募) 人員(人)・点数(点)		入賞・入選 人員(人)・点数(点)		招待(人・点)	展示点数(点)
日本画	44	45	33	33	6	39
洋画	344	431	249	249	6	255
彫刻	30	31	27	28	5	33
工芸	160	199	69	70	5	75
書	337	360	200	200	6	206
写真	362	452	198	198	6	204
デザイン	180	195	68	75	6	81
合計	1,457	1,713	844	853	40	893
第36回	1,376	1,652	821	827	37	864

注 招待点数は審査員出品を含む。

観覧料＝一般200円(150円)、高・大生150円(100円)、小・中生無料。
ただし、福岡市内に在住する、福岡市発行のシルバー手帳、療育手帳又は、
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。()内は団体(20人以上)料金。
観覧者数＝p.27を参照。
関連記事＝p.19を参照。

近現代美術

福岡市美術館所蔵品展
「福岡県の洋画家たち」
平成14年4月17日(水)―4月28日(日)

会場:特別展示室A
当館所蔵の福岡県出身洋画家108名の洋画作品109点を福岡市と筑前にゆかり1・2、
久留米市と筑後にゆかり、北九州市と豊前にゆかり、筑豊にゆかり、九州派にゆかり
の4地区、7セクションに分け、かつ出来るだけ編年的に展示したもの。吉田博、和田
三造、青木繁、坂本繁二郎、児島善三郎などの巨匠から現在活躍中の九州派の作家ま
でを紹介。

■近現代美術室

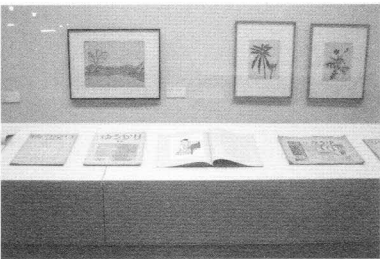
日本近代の洋画、シュルレアリスム、ポップアートなど20世紀に登場した様々な美
術動向を代表する国内外の作品を時代別・傾向別に展示。
第I期 平成14年7月3日(水)-12月27日(金)
第II期平成15年1月5日(日)- 6月29日(日)

■日本画工芸室

富田溪仙展
平成14年4月2日(火)―5月26日(日)
福岡市博多区出身の日本画家・溪仙(1879～1836)の屏風、掛軸10点を展示。主な
出品作品は、《沖縄三題》《伝書鳩》《南泉斬猫、狗子仏生》など、またこの春の時期の当
館の定番となった名品《御室の桜》も展示。

小早川清展
平成14年5月28日(火)―7月21日(日)
博多出身の美人画家・小早川清(1895～1948)の日本画、木版画を中心に、師にあた
る鍋木清方、兄弟子にあたる伊東深水の作品をあわせた23点を展示。

藤森静雄と創作版画の仲間たち展
平成14年7月23日(火)―9月1日(日)
本展は、創作版画家・藤森静雄(1891～1943)の歩みを彼の仲間たちの作品と共に
回顧したもの。『月映(つくはえ)』とその仲間たち、『新東京百景』とその仲間たち、創
作版画誌の仲間たちの3章で紹介展示。



藤森静雄と創作版画の仲間たち展(会場風景)

水上泰生展
平成14年9月3日(火)―10月27日(日)
福岡出身の日本画家、水上泰生(1882～1951)は、典雅な花鳥画を得意とした。その
作風をよく示す軸物、屏風など7点を展示した。

日本美術院の画家たち
平成14年10月29日(火)―12月27日(金)
1898(明治31)年に東京美術学校を辞職した岡倉天心を中心に創設された日本美術
院の画家たちの作品を紹介。横山大観をはじめ、日本画の革新に足跡を残した作家た
ちの作品11点を展示。

吉村忠夫展
平成15年2月25日(火)― 4月6日(日)
やまと絵風の歴史風俗画を描いて官展で活躍した日本画家、吉村忠夫(1898～
1952)の作品10点を展示。上代、王朝の典雅な雰囲気感を漂わす作品を新収蔵品を交
えて紹介した。

■小作品室

村井正誠展(西本コレクション)
平成14年4月2日(火)― 5月6日(月・祝)
日本における抽象絵画のバイオニア的存在として、戦前・戦後の長きにわたり活動を展開
した村井正誠(1905～1999)。西本コレクションより選んだ、彼の版画作品23点を展示。

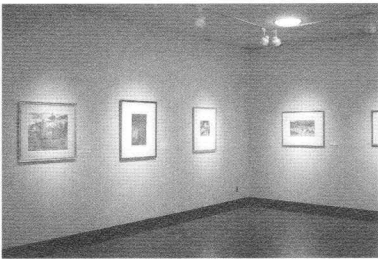
瑛九展
平成14年5月8日(水)― 6月9日(日)
日本の前衛美術の先駆者であり、自由美術家協会やデモクラート美術家協会の創立
に関わった画家、瑛九(1911～1960)。彼の多様な挑戦を物語る油彩、水彩、フォト
グラムなど25点を紹介。

ベン・シャーン展
平成14年6月11日(火)―7月21日(日)
現在のリトアニア生まれ、アメリカで活躍した画家ベン・シャーン(1898～1969)。
ドイツの詩人リルケの小説に想を得た石版画集、《ライナー・マリア・リルケ『マルテ・
ローリツ・ブリッケの手記』より「一行の詩のためには…」》全24点を展示。

藤森静雄と創作版画の仲間たち展
平成14年7月23日(火)― 9月1日(日)
内容については日本画工芸室(p.12)を参照。

デュシャンの版画
平成14年9月3日(火)―10月27日(日)
現代芸術に巨大な影響を与えたフランスの美術家、マルセル・デュシャン(1887～
1968)。彼の作品《彼女の独身者たちによって裸にされた花嫁、さえも(大ガラス)》
に関する研究書に挿入されたエッチング作品18点を展示。

ベックマンとコルヴィッツ
平成14年10月29日(火)―12月27日(金)
20世紀ドイツの画家、マックス・ベックマン(1884～1950)とケーテ・コルヴィツ
ツ(1867～1945)は、社会の底辺で不安に生きる人々をそれぞれの視点から表現した。
ベックマンの代表的版画集《年の市》10点と、コルヴィッツの代表作《農民戦争》を中
心とした11点を各々展示した。



ベックマンとコルヴィッツ(会場風景)

大野隆司展(西本コレクション)
平成15年2月25日(火)― 4月6日(日)
東京生まれの木版画家・大野隆司(1951～)の木版画22点を展示。今回は、木版画家・
谷中安規(1897～1947)の研究者としても著名な大野が「安規へのオマージュ」とし
て制作した《安規供養》を紹介。

■企画展示室

郷土の洋画家たち(新収蔵品を中心に)
平成14年4月2日(火)―5月26日(日)
主に平成13年度のお購入あるいは寄贈を受けた郷土関係の洋画家たちの作品を中
心に16点を展示。主な出品作家作品は、野見山曉治《人間》、古川吉重《L18-1》、尾花
成春《黄色い風景4》等。

田崎広助展
平成15年5月28日(火)―7月21日(日)
一水会や日展で活躍した田崎広助(1898～1984)の初期から晩年に至る油彩画15
点を展示。



田崎広助展(会場風景)

藤森静雄と創作版画の仲間たち展

平成14年7月23日(火)―9月1日(日)

内容については日本画工芸室(p.12)を参照。

やなぎみわ展

平成14年9月3日(火)―10月14日(月・祝)

誰もいなくなった都市にたたずむエレベーターガールの群れ。消費空間の本質をえぐった写真作品で国内外での評価の高いやなぎみわ(1967年生)の出世作《エレベーターガール》シリーズ4点を展示。

大画面―具象・抽象・概念―展

平成15年2月25日(火)―4月6日(日)

所蔵品の中から大画面形式の絵画3点を紹介。具象：篠原有司男《ジャマイカ海岸で平安時代を想う》、抽象：菊畑茂久馬《天河十四》、概念：荒川修作《偶然の墓碑》を展示。

古美術

■古美術企画展示室

九州の陶磁(コーナー展示)

平成14年2月26日(火)―7月21日(日)

わが国の陶磁史のなかでも独自の位置を占める九州の陶磁は、鍋島や柿右衛門など有田の磁器をはじめ、唐津や高取など茶陶の分野にも個性的で多様な作品群に恵まれる。当館所蔵の九州陶磁の中から代表作20点を展示。

漆工芸の美

平成14年4月2日(火)―5月26日(日)

わが国の漆工芸品をはじめとして、東洋漆工芸の美しさと豊かなひろがりを出す中国・朝鮮・琉球などの漆工芸の世界を、当館所蔵の代表作品50点余により紹介。

森山コレクション展

平成14年5月28日(火)―7月21日(日)

森山コレクション展

平成14年5月28日(火)―7月21日(日)

福岡の財界人である故・森山馨氏からの寄贈コレクション展。森山氏が約50年の歳月をかけて収集された、中国と日本の絵画や工芸、仏教教典を含むコレクションから、土佐光起筆「源氏物語図屏風」など19点を展示。

夏休みこども美術館2002

こどもギャラリー「冒険！古美術不思議世界」

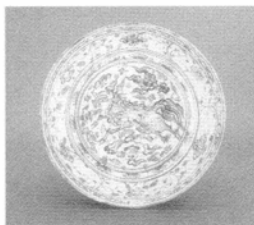
平成14年7月23日(火)―9月1日(日)

「不思議」をテーマに、当館所蔵の古美術作品から、神様や仏様、龍などの想像上の動物、そしておとぎ話を描いた作品14点をこども向けにアレンジして展示。

タイとカンボジア・ベトナムの陶磁

平成14年9月3日(火)―10月27日(日)

本多弘氏から平成8年に寄贈を受けたインドシナ半島の陶磁コレクション「本多コレクション」から、タイ・カンボジア・ベトナムの陶磁の特質をよく示す代表的な作品80点余を展示。



* タイとカンボジア・ベトナムの陶磁
(出品作品「五彩麒麟文盤」16世紀・ベトナム)

仙厓展―仙厓の逸話―

平成14年10月29日(火)―12月27日(金)

多くの機知に富む書画を書いた博多の禅僧仙厓について、残されたいくつかの逸話と関連する作品を中心に33点を展示。

九州・沖縄の美術

平成15年3月4日(火)―4月6日(日)

九州・沖縄の美術を、九州各地で生産された陶磁器をはじめとして、芦屋の茶釜、長崎の螺鈿漆器、沖縄(琉球)の漆工芸と染織品など60点余の多彩で豊かな作品で紹介。

■松永記念館室

春の名品展

平成14年4月2日(火)―5月26日(日)

春から初夏の季節にふさわしい名品を紹介。春の景色を代表する野々村仁清作「色絵吉野山図茶壺」や、初夏の爽やかさを感じさせる志野あやめ絵鉢のほか、千利休筆「藤見の文」など22点を展示。

茶の湯と中国陶磁

平成14年5月28日(火)―7月21日(日)

松永耳庵のコレクションの中から、松永弾正久秀が所蔵していたとされる唐物茶入「松永」をはじめ、美しい窯変をみせる「禾目天目茶碗」や「古染付山水文水指」など茶入・茶碗・水指・香合・花入など21点を展示。

茶入と茶碗

平成14年7月23日(火)―9月1日(日)

松平不昧旧蔵の「高麗雨漏茶碗」や原三溪旧蔵の「柿蒂茶碗銘白雨」など中国、朝鮮、日本の茶碗を15点、松永弾正久秀旧蔵の唐物茶入「松永」、益田鈍翁旧蔵の「唐物文琳茶入銘春駒」など中国、日本の茶入10点を展示。

秋の名品展

平成14年9月3日(火)―10月27日(日)

秋の風情を感じさせる茶道具を中心に展観。

「祥瑞落雁鶴香合」や尾形乾山作「色絵菊花形向付」など秋の風物をかたどった茶道具のほか、本阿弥光悦筆「和歌巻切」や、志野矢筈口水指 銘「未広」など22点を展示。

茶の湯と仏具

平成14年10月29日(火)―12月27日(金)

松永耳庵の茶道具には、形式にとらわれないさまざまな美術品・工芸品が使われている。中でも仏教関係の品々には美術品としても見るべきものが少なくない。松永耳庵の茶の特質を感じさせる仏具など21点を展示。

耳庵・初春の慶び

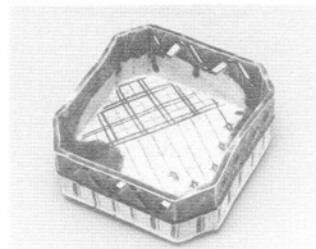
平成15年1月5日(日)―2月2日(日)

気取りのないくだけた茶を標榜した耳庵は、光悦書光琳絵の「金銀泥梅花図」や高麗茶碗の「古雲鶴崗茶碗」など特定の茶器を使用して初春を寿ぐことが通例となっていた。それら耳庵愛用の取り合せを中心に新年の茶会にふさわしい茶道具21点を展示。

懐石 もてなしの心

平成15年2月4日(火)―4月6日(日)

松永耳庵は茶会において、その日の天候によって懐石の献立を変えることがあったほどに、懐石に心を配った。北大路魯山人が耳庵にぜひにと勧めた織部隅切透鉢など、耳庵遺愛の懐石の器を中心に19点を展示。



* 懐石 もてなしの心(出品作品「織部隅切透鉢」桃山時代)

■東光院仏教美術室

薬師如来立像、薬師如来坐像と十二神将立像(藤原・南北朝時代)(以上重要文化財)ほか

第4回21世紀の作家－福岡

江上計太展 ユートピアン・メランコリア

会期◎平成14年10月17日(木)ー12月27日(金)

会場◎企画展示室



会場風景

観覧料 常設展観覧料

内 容

福岡市在住の現代美術家・江上計太(1951～)は、1980年代前半より当地で最も早くからインスタレーションに取り組んだ作家である。今回は、「ユートピアン・メランコリア」と題する大規模な作品1点を展示。

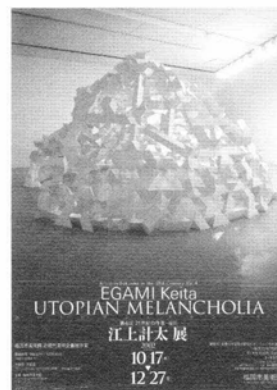
出品点数 1点

印刷物 ポスター(B2)
チラシ(A4)
図録(A4変形・47頁)

関連事業 江上計太アーティスト・トーク
日時:平成14年11月17日(日) 午後3時30分より
会場:教養講座室

大友良英コンサート
日時:平成14年11月17日(日) 午後5時30分より
会場:企画展示室

関連記事 p.19を参照



ポスターB2

吉田ふじを展

会期◎平成15年1月5日(日)―2月23日(日)
会場◎企画展示室



会場風景

観覧料 常設展観覧料

内 容

福岡市出身で女性画家の草分けである吉田ふじを(1887～1987)の初めての回顧展。堅実な写生の才能を伝える初期の風景画から、自由闊達な境地をうかがわせる戦後の抽象作品まで、水彩、油彩、版画、素描128点が展示された。文展で褒状を受賞した《神の森》などの代表作を含み、80年以上の画業の展開を3部構成で紹介した本展は、夫である画家吉田博や息子の遠志、穂高らの名声に隠れがちであったふじをの、画家としての再評価をうながす契機となった。

出品点数 128点

印刷物 ポスター(B2)
チラシ(A4)
図録(A4変形・143頁)

関連事業 講演会
日時:平成15年2月8日(土) 午後2時より
会場:教養講座室
演題:吉田ふじをの作品と生涯
講師:山本香瑞子(福岡市美術館学芸員)

関連記事 p.19を参照



ポスターB2

エイコ・クスマ・コレクション

木綿の島々—インドネシアの染織

会期◎平成15年1月5日(日)—3月2日(日)

会場◎古美術企画展示室



出品作品「女性呪術師用上衣」

観覧料 常設展観覧料

内容

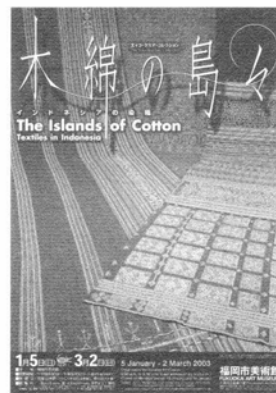
アジアのなかでも多彩な伝統染織を擁することで知られるインドネシア。その東部に広がる島々は、木綿を用いたさまざまな染織を産み出してきた。スンバ島、フローレス島、ティモール島、スラウェシ島、カリマンタン島などを中心とする東部の島々は、経糸をくくり染めて文様を表す経絣の木綿布を産出することを共通項としている。この経絣を軸に、経紋織、緯紋織、ろうけつ染、絞りなど多彩に展開する染織のほか、ビーズ細工、樹皮布を含む75点を展示。

出品点数 75点

印刷物
ポスター(B2)
チラシ(A4)
図録(A4変形・120頁)

関連事業
ギャラリー・トーク
日時:平成15年2月2日(日) 午後2時30分より
会場:古美術企画展示室
講師:エイコ・アドナン・クスマ氏(コレクター)

関連記事 p.19を参照



ポスターB2

主催展関連記事

カンディンスキー展

西日本新聞(朝刊)	H14.3.27	カンディンスキー展都内で開幕／抽象絵画の先駆者／8月から福岡でも
西日本新聞(朝刊)	H14.4.16	美術／戦争の時代と共振、魂の躍動感／カンディンスキー展／(編集委員・田中三蔵)
西日本新聞(朝刊)	H14.7.11	「カンディンスキー展」来月3日に記念講演会／福岡市美術館／講師は西南大・後藤教授
団地新聞	H14.7.15	随筆 文化／抽象絵画のファンタジーの世界／カンディンスキー展／福岡市美術館八月一日～九月一日
西日本新聞(夕刊)	H14.7.25	彩事館／響き合う形と色彩／カンディンスキー展 来月1日から／福岡市美術館 日本初公開含む73点
西日本新聞(夕刊)	H14.7.30	色彩が奏でる カンディンスキー展から(1)／「コンポジションVII」(1913年、トレチャコフ美術館蔵) 対立と矛盾のハーモニー／(文化部・宇田懐)
西日本新聞(夕刊)	H14.7.31	色彩が奏でる カンディンスキー展から(2)／「オデッサー港」(1898年ごろ、トレチャコフ美術館蔵) 色は僕の目の前にあった
西日本新聞(朝刊)	H14.7.31	あすから「カンディンスキー展」／展示作業始まる／福岡市美術館
西日本新聞(夕刊)	H14.8.1	色彩が奏でる カンディンスキー展から(3)／「クーボラ」(1909年、アストラハニ州立美術館蔵) 対象が僕の絵を害する
西日本新聞(夕刊)	H14.8.1	押し寄せる色と形に驚嘆／カンディンスキー展開幕／福岡市美術館
西日本新聞(夕刊)	H14.8.2	色彩が奏でる カンディンスキー展から(4)／「ふたつの楕円」(1919年、国立ロシア美術館蔵) 夢から覚めさせられた
西日本新聞(朝刊)	H14.8.4	カンディンスキー展／作品の印象 絵に表現／中学生が「ワークショップ」
西日本新聞(朝刊)	H14.8.8	本社の事業／カンディンスキー展／来月1日まで 福岡市美術館／抽象画先駆者の世界を紹介／油彩、水彩画など73点展示
西日本新聞(朝刊)	H14.8.9	「カンディンスキー展」を見て／モスクワ 宇宙創造への意欲／洋画家 岡田征彦さん
西日本新聞(朝刊)	H14.8.9	出番／カンディンスキー展／タチアナ・ゴロドコワさん(47)／豊かな精神世界感じて
西日本新聞(朝刊)	H14.8.9	色彩と形の旋律／カンディンスキー展／福岡市美術館で開催中／抽象画先駆者が創造した鮮烈な世界／現実と内面の葛藤を描く(福岡市美術館学芸員 山口洋三)
西日本新聞(朝刊)	H14.8.11	「カンディンスキー展」を見て／インプロヴィゼーション 草原を駆ける獣の眼／ギャラリー経営 武田芳明さん
西日本新聞(朝刊)	H14.8.13	文化／衝撃、圧倒との遭遇／作家 村上龍／「カンディンスキー」を語る／一気に知覚惹きつける
西日本新聞(朝刊)	H14.8.13	「カンディンスキー展」を見て／クリノリン・スカート 色が奏でる音楽の響き／音楽プロデューサー 塩田和代さん
西日本新聞(朝刊)	H14.8.13	カンディンスキー展入場者が1万人突破／坂本さんに記念品
西日本新聞(朝刊)	H14.8.14	「カンディンスキー展」を見て／白い楕円(黒い縁取り) 精神的葛藤や不安表現／北九州市立大助教授・美術史家 井口壽乃さん
西日本新聞(朝刊)	H14.8.15	「カンディンスキー展」を見て／コンポジションVII シンフォニーの音色が響く／日本建築家協会九州支部福岡会会長 田島正陽さん
西日本新聞(朝刊)	H14.8.15	展覧会から／鮮烈な色彩とファンタジー／「カンディンスキー展」ー福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H14.8.15	カンディンスキー展開催記念クイズ当選者百五十人決定
毎日新聞(夕刊)	H14.8.16	美術／カンディンスキー展／時代のうねり写し取る／(米本浩二)
読売新聞(夕刊)	H14.8.17	ギャラリー／超越的な価値の表現／カンディンスキー展／(知)
西日本新聞(朝刊)	H14.8.20	春秋
西日本新聞(朝刊)	H14.8.21	カンディンスキー展／2万人目は藤野さん
朝日新聞(夕刊)	H14.8.24	美術／モスクワ時代の試行錯誤たどる／福岡市美術館 カンディンスキー展／アートコーディネーター 宮本初音
西日本新聞(朝刊)	H14.8.26	入場者3万人を突破／カンディンスキー展／福岡市の主婦に記念品
読売新聞(夕刊)	H14.9.20	ベスト展 8月／谷健太郎(洋画家)★カンディンスキー展(福岡市美術館)★接展(ギャラリー風＝福岡市・天神)★高鶴中石彫展(岩田屋美術画廊＝福岡市・天神)
シテイ情報ふくおかNo.571(2002年7月29日発行)		
九州ウォーカー2002No.16(2002年8月6日号)		アート／カンディンスキー展／音楽を奏でるように描かれた絵画たち アート／カンディンスキー展／抽象絵画を生み出した軌跡を時代ごとに辿る／日本初登場の作品を含め、鮮烈な色彩と生き生きとした力強さにあふれる73点を大公開

「ナイーヴな絵画」展

西日本新聞(朝刊)	H14.9.5	「ナイーヴな絵画」展
団地新聞 第982号	H14.9.5	随筆文化／ルソー、ピカソ、山下清などナイーヴな絵画展／十月十四日まで福岡市美術館
読売新聞(朝刊)	H14.9.8	「ナイーヴな絵画」展開幕／福岡 ピカソ、山下清らの140点
読売新聞(朝刊)	H14.9.18	「ナイーヴな絵画」展(上)／アンリ・ルソー 第22回アンデパンダン展に参加するよう芸術家達を導く自由の女神(1905-06年、油彩・画布)東京国立近代美術館蔵/(福岡市美術館学芸課長 石田泰弘)
読売新聞(夕刊)	H14.9.21	ギャラリー／無名画家の作品にも興味／「ナイーヴな絵画」展／(人)
読売新聞(朝刊)	H14.9.22	「ナイーヴな絵画」展(中)／やましたゆみこ 花とこどもとおかあさん(油性ペン、水性ペン・ボード) ねむの木学園蔵/(福岡市美術館学芸課長 石田泰弘)

主催展開連記事

読売新聞(朝刊)	H14.9.24	「ナイーヴな絵画」展(下)／岡本太郎 海辺の肖像(1973年、油彩・画布)川崎市岡本太郎美術館蔵／(福岡市美術館学芸課長 石田泰弘)
読売新聞(夕刊)	H14.10.9	ベスト展9月／谷健太郎(洋画家)★「ナイーヴな絵画展」(福岡市美術館)★黒田家その歴史と名宝展(福岡市博物館)★福岡県展(福岡県立美術館)
シティ情報ふくおかNo.573(2002年8月26日発行)		アート／ナイーヴな絵画」展／心に直接訴えてくる力強く、純真な作品たち
博多のうわさ9月号(2002年9月1日発行)		お客様横丁／「ナイーヴな絵画展」が福岡市美術館で開催
月刊くるめ9月号		アート／ルソー、ピカソから岡本太郎、山下清、谷内六郎までー「ナイーヴな絵画」展／[ナイーヴ]をテーマに素朴派から子供たちの作品まで140点を紹介
石だたみ 2002 秋		福岡アート情報／「ナイーヴな絵画」展／ルソー、ピカソから岡本太郎、山下清、谷内六郎まで／COPY 西島京子
九州ウォーカー2002 No.19 (2002年9月17日号)		アート／「ナイーヴな絵画」展ールソー、ピカソから岡本太郎、山下清、谷内六郎までー素朴さを感じさせる美しい絵画が集合／ルソー、ピカソ、ミロ、マティスら有名画家の、日常生活を題材にした作品が楽しめる

悟りの美

西日本新聞(夕刊)	H14.9.19	展覧会から「悟りの美 西国曹洞宗寺院の什宝展」／福岡市美術館来月20日から
西日本新聞(朝刊)	H14.10.2	「悟りの美」展が開幕／福岡市美術館 曹洞宗所蔵の100点
西日本新聞(朝刊)	H14.10.16	「悟りの美」から 西国曹洞宗寺院の什宝展(上)／本造釈迦如来坐像(熊本県宇土市・如来寺)曹洞宗九州での第一歩／(福岡市美術館学芸係長・渡辺雄二)
西日本新聞(朝刊)	H14.10.17	「悟りの美」から 西国曹洞宗寺院の什宝展(中)／桃岳瑞見像(福岡市・金龍寺)法をついだ証しの肖像／(福岡市美術館学芸係長・渡辺雄二)
西日本新聞(朝刊)	H14.10.22	「悟りの美」から 西国曹洞宗寺院の什宝展(下)／木造秋葉大観現像(宮崎県清武町新町)木喰上人の異色の仏像／(福岡市美術館学芸係長・渡辺雄二)
西日本新聞(夕刊)	H14.10.24	「悟りの美 西国曹洞宗寺院の什宝展」／来月15日まで福岡氏美術館／重文など100点／秘蔵の禅文化一堂に
西日本新聞(朝刊)	H14.10.30	曹洞宗をテーマに「悟りの美」講演会
西日本新聞(朝刊)	H14.10.31	仏像など100点展示「西国曹洞宗寺院の什宝展」福岡市美術館
朝日新聞(夕刊)	H14.11.9	曹洞宗美術の面白さ存分に／熊本県立美術館、福岡市美術館で開催中
西日本新聞(朝刊)	H14.11.13	悟りの美ー西国曹洞宗寺院の什宝展ー／元民放アナウンサー 大関まさのりさん
西日本新聞(朝刊)	H14.11.14	悟りの美ー西国曹洞宗寺院の什宝展ー／主婦 谷口悦子さん
西日本新聞(朝刊)	H14.11.15	悟りの美ー西国曹洞宗寺院の什宝展ー／ヴィオラ奏者 平野真敏さん
博多のうわさ11月号(2002年11月1日発行)		お客様横丁／悟りの美ー西国曹洞宗寺院の什宝展ー

福・北 美術往来

毎日新聞(朝刊)	H14.11.1	福岡、北九州市が連携 交流強化／「福北ネット」開設／「美術往来」展開催へ／(綿貫洋)
西日本新聞(夕刊)	H14.12.26	遊／週末スポット／福・北美術往来／1月2日から北九州市戸畑区 同5日から福岡市中央区／若い力で近くなる福北／山口洋三さん(33)
西日本新聞(朝刊)	H14.12.28	「福・北 美術往来」年明けから両市美術館で同時開催／福岡、北九州の若手33人が競演
西日本新聞(朝刊)	H15.1.6	福北連携美術展始まる／若手作家の作品紹介／福岡市美術館
朝日新聞(朝刊)	H15.1.11	芸術文化／福岡・北九州市が連携／交流展に若手33人／両美術館で来月2日まで
新美術新聞 No.981	H15.1.21	福・北 美術往来／福岡市美と北九州市美で共同企画の現代美術展(美)
西日本新聞(朝刊)	H15.1.24	展覧会／「福・北 美術往来」33人・組競演／若手作家のいまが見える／問われた力量、交流も進む／(宇田)
読売新聞(夕刊)	H15.2.14	ベスト展1月／福住廉(現代美術ライター)★福・北美術往来(福岡市美術館・北九州市立美術館)／谷健太郎(洋画家)★福・北美術往来(福岡市美術館・北九州市立美術館)★虚空遍歴4人展(久我記念美術館＝福岡県須恵町)★没後10年・平野遼(下関市立美術館)
シティ情報ふくおかNo.582 (2002年12月30日発行)		アート／福岡市・北九州市連携事業 第2回芸術・文化交流展 福・北美術往来／週末には福岡と北九州を結ぶ無料バスも運行！／今から注目の地元アーティストが大集合
地域創造レター 2月号 No.94(2003年1月25日発行)		今月のレポート／福岡市美術館 北九州市立美術館 「福・北 美術往来」／(美術ジャーナリスト・村田真)
美術手帖No.832(2003年3月発行)		Exhibition／福・北 美術往来 福岡市・北九州市連携事業 第2回芸術・文化交流展／交流・交歓を目指した二都市の試み／中村共子＝評

第37回福岡市美術展

毎日新聞(朝刊)	H15.2.28	最高賞に井上さん(九産大3年)／福岡市美術展 入選797点、入賞56点
----------	----------	-------------------------------------

西日本新聞(朝刊)	H15.2.28	福岡市美術展／井上さんが最高賞／入賞・入選853点／来月11日から市美術館で展示
読売新聞(朝刊)	H15.2.28	日仏姉妹都市賞に井上さん／福岡市美術展の入賞・入選決まる／花瓶 斬新なデザイン
朝日新聞(朝刊)	H15.3.12	福岡市美術展入賞者決まる／工芸の部 市長賞に井上さん／日仏姉妹都市賞も受賞／市美術館で展示
西日本新聞(朝刊)	H15.3.20	人／交差点

第4回21世紀の作家－福岡 江上計太展

毎日新聞(夕刊)	H14.10.25	福岡市美で江上計太新作展／「メランコリア」「無限の柱」…／パロディーで未知の地平へ／(米本浩二)
読売新聞(夕刊)	H14.12.4	文化／芸術の特権性を否定／江上計太展(福岡市美術館)／作品のヒエラルキー化拒む／理念を世に問う試み／(小林清人)
読売新聞(夕刊)	H14.12.11	ベスト展11月／福住廉(現代美術ライター)★第4回21世紀の作家－福岡 江上計太展「ユートピアン・メランコリア」(福岡市美術館)★.875(レイテンハチナナゴ)un'no yasuomi morimoto satoshi unit exhibition (IAF SHOP=福岡)
西日本新聞(朝刊)	H14.12.14	文化／場を支配する明快な色、形／展覧会／江上計太展／(宇田)
西日本新聞(夕刊)	H14.12.19	展覧会から／「21世紀の作家－福岡 江上計太展」福岡市美術館
朝日新聞(朝刊)	H14.12.26	アートの瞬間／ミサイルか希望の象徴か／江上計太「大天使」／(大西若人)

シティ情報ふくおかNo.578(2002年11月4日発行) 第4回21世紀の作家－福岡 江上計太展／色彩のリズムを体全体で感じてみよう！

吉田ふじを展

朝日新聞(夕刊)	H14.10.2	美術／片隅に置かれた夫妻の存在、再顕彰／「吉田博展」と「吉田ふじを展」／(編集委員・田中三蔵)
西日本新聞(朝刊)	H15.1.19	陽光巧み 吉田ふじを初回顧展／福岡市美術館／郷土出身、女流洋画の草分け／渡米、結婚、晩年 変遷たどる130点
西日本新聞(朝刊)	H15.1.22	吉田ふじを／(子)
西日本新聞(夕刊)	H15.1.30	展覧会から／「20世紀を生きた陽光の画家 吉田ふじを展」福岡市美術館
読売新聞(夕刊)	H15.2.1	ギャラリー／吉田ふじを展／エロス感じる生命感／(人)
毎日新聞(夕刊)	H15.2.1	絵肌に光あふれ／福岡市美で吉田ふじを展／(米本浩二)

サライ 1月23日号 Vol.15 No.2 サライ美術館／福岡市美術館「吉田ふじを展」より「針を持つ手で、描く」

展評 14号 2003年冬号(2003年1月25日発行) 吉田ふじを／吉田ふじを展－「埋もれ木の花」／文・日夏露彦

木綿の島々－インドネシアの染織

西日本新聞(朝刊)	H14.1.23	インドネシアの染織展／手織りの衣装など70点／カラフル、大胆…福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H15.1.11	出番／木綿の島々－インドネシアの染織(3月2日まで、福岡市中央区)／岩永悦子さん(40)／祈りを込めて織り続けた布
朝日新聞(夕刊)	H15.1.30	偏西風／経綫／(編集委員 福島健治)
西日本新聞(夕刊)	H15.2.6	展覧会から／「インドネシアの染織」展 福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H15.2.12	ひと／インドネシアの染織収集家 エイコ・アドナン・クスマさん／(地域報道センター・神屋由紀子)

書道界2月号(2003年2月15日発行) インドネシアの染織 木綿の島々／福岡市美術館／1月5日(日)～3月2日(日)

別冊美しい部屋「和風が暮らしにNo.13」 Wafu's News／福岡に次いで東京でも公開／インドネシア 木綿の島々を見つめ続ける日本人女性の目

藤森静雄と創作版画の仲間たち展

モンタンVol.29(2002年7月25日発行) Art／「刻まれた青春譜」に再会する夏／「藤森静雄と創作版画の仲間たち展」／文＝中山真由美

こどもギャラリー「冒険！古美術不思議世界」

西日本新聞(朝刊)	H14.7.30	解説的読本 読めばたちまちよくわかる／美術館へ冒険の旅／親子で夏、アートの不思議世界／仕掛けやイベント盛りだくさん
朝日新聞(朝刊)	H14.8.6	夏休みはアートの世界へ／美術館が子ども向け企画展／クイズ形式、想像する工夫／豊かな世界自由に描いて

やなぎみわ展

読売新聞(夕刊)	H14.9.14	ギャラリー／不気味 バーチャルな光景／やなぎみわ展／(知)
西日本新聞(朝刊)	H14.10.7	文化／自分の中の見たい風景／やなぎみわ展
西日本新聞(朝刊)	H14.12.14	この人の場所／作品が福岡市美術館に収蔵された 美術作家やなぎ みわさん／「私が見たい風景」求めて／(文化部・宇田懐)

シティ情報ふくおかNo.574(2002年9月9日発行) アート／やなぎみわ展／世界が注目する日本人やなぎみわ講演会で来福！

アヴァンティ12月号(2002年11月20日発行) 今月の作る人／止まっている、流れている、繰り返される、時間の中で。／取材・文／黒岩真弓

主催展開連記事

ベックマンとコルヴィッツ

読売新聞(夕刊)	H14.11.2	ギャラリー／同時代への対照的な視線／ベックマンとコルヴィッツ／(人)
----------	----------	------------------------------------

懐石 もてなしの器

西日本新聞(朝刊)	H15.2.11	松永耳庵コレクション「もてなしの器」20点／福岡市美術館4月6日まで
-----------	----------	------------------------------------

ライフマスク"FACE TO FACE"

朝日新聞(朝刊)	H14.4.27	自分の「顔」で日韓交流／福岡市美術館で来月4日～6日／ライフマスクに60人挑戦／京都在住の金さんが指導
西日本新聞(朝刊)	H14.5.2	「ライフマスク」で“素顔”の日韓交流／W杯前に2002固制作／韓国出身の造形作家 金さん提唱／4-6福岡市で60人型取り
西日本新聞(朝刊)	H14.5.5	顔ににじむ文化写す／20人がライフマスク作製／福岡市美術館
朝日新聞(朝刊)	H14.5.5	ライフマスク初日20人挑戦／福岡市美術館で
西日本新聞(朝刊)	H14.5.8	ひと／「日韓ライフマスク2002」を手がける韓国人／造形作家 金 明姫さん／(地域報道センター・神屋由紀子)
京都新聞(朝刊)	H14.6.8	アート遠近／「参加する美術」の楽しみ／広がるワークショップ来館者掘り起こしも期待／(深萱真穂)

■平成14年

第33回日展

3月29日(金)～4月14日(日)
特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝一般1,100円(800円)、高・大生700円(500円)
小・中生400円(300円)()内は割引料金
日数＝15日／観覧者数＝20,072人
平成14年に開催された東京展の選抜作品と地元関係入賞作品。洋画、日本画、彫刻、工芸、書など。

アクティブ5

4月16日(火)～4月21日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝507人
東京行動美術展に出品しているグループ5人の油彩約50点。

トイロ～十色～

4月16日(火)～4月21日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝646人
九州産業大学美術学科2年生10名によるグループ展(油彩、立体、陶芸、版画、日本画など)。

写楽絵画展

4月16日(火)～4月21日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,537人
毎年2回創作発表会を実施している会員100名の水彩画。

百馬展

4月16日(火)～4月21日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,214人
馬をテーマに絵画、書、道、篆刻など65名の研究会員の作品約180点。

第15回三軌会写真部九州展

4月23日(火)～4月29日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝1,141人
東京本店の写真部選抜作品と九州沖縄関係入選作品約200点。

てん・くるーぶ展

4月23日(火)～4月29日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝840人
サークル会員7名による油彩と水彩画約35点。

千々穂水墨画展と五彩会展

4月23日(火)～4月29日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝805人
水墨画、墨彩画約40点。

高志尊作品展

4月23日(火)～4月29日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝966人
写真展など約2000枚の写真をつなぎ合わせた創作作品など。

有吉弘行遺作展

4月23日(火)～4月29日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝509人
版画、墨彩画などの額、掛軸、屏風作品。

福岡市美術連盟展

5月1日(水)～5月12日(日)
特別展示室A
観覧料＝無料／日数＝11日／観覧者数＝4,951人
日本画、油彩、彫刻、工芸、写真、グラフィックデザインなど約200点。

40周年記念2002玄展

5月1日(水)～5月6日(月)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,815人
メンバー13名の絵画、彫刻作品約50点。

第12回日本原色押花文化協会展

5月1日(水)～5月6日(月)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,427人
会員約80名による原色押花作品で色紙や短冊に自然の美を讃える。

牧野水墨画教室作品展

5月1日(水)～5月6日(月)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,621人
会員約60名による山水画を主とした水墨画約70点。

第12回わだち会展

5月1日(水)～5月6日(月)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,235人
油彩、アクリル画、墨絵など約40点。

第2回はじめての日本画

5月1日(水)～5月6日(月)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,710人
会員35名による日本画約70点。

公募日本和紙絵画福岡展

5月8日(水)～5月12日(日)
特別展示B
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝2,805人
毎年1回の東京公募展開催後の地方巡回展。

蓮井初美と仲間たち(染色)

5月8日(水)～5月12日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝1,946人
染色、工芸など約25点。

第6回平川幸児写真教室展

5月8日(水)～5月12日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝1,302人
会員35名による個展形式の組写真(モノクロ、カラー)約150点。

七曜会ヌードデッサン展

5月8日(水)～5月12日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝960人
約40名のデッサン教室(鉛筆・コンテ)作品。

ろうけつ草木染萌木会展

5月14日(火)～5月19日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,231人
ろうけつ染作品(屏風、パネル、衝立など)約40点。

彩美会展

5月14日(火)～5月19日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,169人
会員約35名の油彩、水彩、アクリル、色鉛筆など約20点。

第21回八元会日本画・水墨画合同展

5月14日(火)～5月19日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,442人
主に東区公民館教室の高齢者の作品
水彩画約50点、日本画約20点。

02洋画グループ[虹の会]&[ドリーム]展

5月14日(火)～5月19日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,227人
グループ合同作品(油彩、水彩)約60点。

第55回示現会展特別記念展

5月21日(火)～5月26日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般700円(500円)、高・大生400円(300円)
小・中生200円(100円)()内は割引料金
日数＝6日／観覧者数＝5,039人
東京展の選抜と地元関係入選作品約180点。

第3回福岡樹緑会展

5月21日(火)～5月26日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,170人
会員約20名による作品展(油彩、水彩、写真など)約40点。

油絵火旺日の仲間展

5月21日(火)～5月26日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,229人
百道パレスの洋画教室の仲間たちの作品(油彩)約40点

第2回独歩展

5月21日(火)～5月26日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,009人
油彩、アクリルなどの作品約45点。

宮定真弓個展

5月21日(火)～5月26日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,440人
油彩、彫塑などの作品約35点。

第20回上野の森美術館大賞展

5月28日(火)～6月2日(日)
特別展示室A
観覧料＝一般600円(500円)高・大生400円(300円)
小・中生200円(100円)※()内は割引料金
日数＝6日／観覧者数＝1,156人
公募展入賞作品。九州地区在住作家の日本画、油彩、アクリル、版画など約80点。

河原美比古・チャールズビルキー彫刻展

5月28日(火)～6月2日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,025人
「自然・環境」をテーマに独自の形態による立体作品約10点。

第4回蒼土の会作品展

5月28日(火)～6月2日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,254人
水彩、写真、書、陶芸などの作品約100点。

第1回城南文化サークル展

5月28日(火)～6月2日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝985人
会員25名による作品(油彩、水彩)約50点。

九州藍苺会展

5月28日(火)～6月2日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝962人
かな書道作品約30点。

第2回サンドレリーフ・ガラス作品展

5月28日(火)～6月2日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,275人
会員約40名によるガラス器作品(グラス、花瓶、鉢、ランプなど)約150点。

第52回モダンアート福岡展

6月4日(火)～6月9日(日)
特別展示室A
観覧料＝一般800円、高・大生500円、小・中生200円
日数＝6日／観覧者数＝1,096人
東京展の選抜作品と九州・山口在住の作家作品(絵画、版画、彫刻、デザイン写真など)約160点。

「百年の記憶ーアン・ピクトル写真展」

6月4日(火)～6月9日(日)
特別展示室B
観覧料＝一般500円、高・大生300円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝362人
写真家アン・ピクトルの高麗人100年の記憶を留める取材活動作品(カラー、モノクロ)約50点。

現代押花アート展

6月4日(火)～6月9日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,035人
5教室合同による押花作品約90点。

書のときめき展02 (一墨会創立十周年記念)

6月4日(火)～6月9日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,473人
甲骨文、金文を主なモチーフとした書の創作作品約50点。

どんぐりの会水彩画展

6月4日(火)～6月9日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,213人
会員約30名による水彩画で主に20号以下の作品約60点。

グループ・コルナス ボタニカルアート・フローラルペインティング (花と緑と夢のハーモニー展)

6月4日(火)～6月9日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,413人
植物画約90点 立体写真及び小物約30点創作絵本約10点。

第98回太平洋展・第37回太平洋西日本公募展

6月11日(火)～6月16日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝特別展示室A 一般800円(600円)、
高・大生600円(500円)小・中生無料
※()内は割引料金
日数＝6日／観覧者数＝4,526人
東京展の選抜作品と地元関係入選作品(油彩、染織、版画、彫刻など)約240点。

大淵還写真展

6月11日(火)～6月16日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝843人
主にモノクロームで花を題材にした作品約50点。

第17回心自会書作展

6月11日(火)～6月16日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,504人
生活の場で飾られるものを主とした書作品(漢字、かな、調和体、実用書)約80点。

第10回華葉会かな書展

6月11日(火)～6月16日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,626人
かな書(大字、小字、その他小作品)約150点。

書作32人展

6月11日(火)～6月16日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝893人
漢字条幅、かな小作品約40点。

第18回西部朝日書道展

6月18日(火)～6月23日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,852人
書、役員及び公募作品約1,500点。

遙々会写真展

6月18日(火)～6月23日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,026人
グループ(6名)による写真作品約120点。

悦蘭会墨彩画展

6月18日(火)～6月23日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,592人
会員約100名による水墨、墨彩作品約100点。

第3回むつみ会はがき絵と色絵の小品展

6月18日(火)～6月23日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,889人
絵と書の小作品約150点。

第9回「創作手工芸」九州地区作品展

6月18日(火)～6月23日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,674人
織、染色、押絵、押花、七宝フラワー、クラフトなど約50点。

第61回創元展・第24回創元会西日本美術展

6月25日(火)～6月30日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝特別展示室A 一般700円(500円)、
高・大生400円(300円)、小・中生無料
※()内は割引料金
日数＝6日／観覧者数＝3,650人
東京展の選抜作品と地元関係入選作品と地元公募作品(油彩、染織、版画など)。

第3回日本書教育会撰抜展

6月25日(火)～6月30日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝2,409人
かな、漢字は細字から大筆を使い大きい作品や、鳥、かずらなどの作品約100点。

ハ波マサコ・一瀬千栄2人展

6月25日(火)～6月30日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,603人
油彩、水彩画約40点。

水彩土曜会展

6月25日(火)～6月30日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,625人
水彩画教育のグループ約25名による静物画及び風景画約60点。

和田木彫教室木彫り展

6月25日(火)～6月30日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝2,920人
丸彫、板彫、レリーフなど幅広い作品約200点。

第31回瑠波展

7月2日(火)～7月14日(日)
特別展示室A
観覧料＝一般500円、高・大生400円、小・中生無料
日数＝12日／観覧者数＝1,449人
会員・推薦出品者88名による油彩、版画、ミックスメディア、日本画など約100点。

白書道展撰抜展

7月2日(火)～7月7日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,006人
会理事以上100名による、かな書道、臨書、調和体など約140点。

陶人庵作品展

7月2日(火)～7月7日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,006人
陶芸及び絵画作品など約50点。

第2回福岡ものくろ会写真展

7月2日(火)～7月7日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝863人
会員13名によるモノクローム組写真(半切で全紙用額縁)約70点。

第5回彩展

7月2日(火)～7月7日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝714人
会員約40名による油彩、水彩(具象画)約60点。

宰彩会作品展

7月2日(火)～7月7日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝857人
会員12名による墨彩画60点。

村島定児80歳回顧展

7月9日(火)～7月14日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝911人
油彩、水彩、デッサンなど56点。

第11回フォト630写真展

7月9日(火)～7月14日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝997人
会員42名による風景、人物、スナップなどの写真(半切サイズなどで額縁)約70点。

赤根勲水彩画展

〈沖ノ端漁港(柳川)から四季の華々まで〉
7月9日(火)～7月14日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝402人
水彩画114点。

油彩グループK展

7月9日(火)～7月14日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝706人
会員31名による油彩約75点。

夢・島田洋二郎遺作展

7月9日(火)～7月14日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,100人
油彩、テンペラ、クロッキーなど。

第34回九州かな書道協会展

7月16日(火)～7月21日(日)
特別展示室A
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,385人
九州各地の会員による額作品、巻子作品、帖作品など約400点。

第3回福岡二科写真公募展支部員展

7月16日(火)～7月21日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,154人
公募作品及び、支部会員による写真全紙のパネル貼り250点。

ワールドプレスフラワー協会押花

7月16日(火)～7月21日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,044人
押し花額装など約200点。

博水会展

7月16日(火)～7月21日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝832人
会員15名による水彩画約50点。

第16回明墨会書展

7月16日(火)～7月21日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝796人
会員90名による漢字、仮名、近代詩などに創作、臨書など約100点。

第1回現美書芸院展

7月16日(火)～7月21日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝931人
九州を中心とした前衛書道約100点。

第16回日洋展

7月23日(火)～7月28日(日)
特別展示室A
観覧料＝一般600円、高・大生400円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝1,530人
東京・大阪展の基幹作品と東京会場の九州、山口の出品者作品約120点。

第16回知新会展

7月23日(火)～8月4日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝12日／観覧者数＝1,987人
西日本地区の工芸作家の応募による展覧会約110点。

第2回めだか写真展

7月23日(火)～7月28日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝770人
サークル会員による写真の展示約50点。

第24回朝日学生書道展

7月23日(火)～7月28日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝966人
九州・山口・沖縄在住の小、中、高校生の特別賞、推薦、特選の展示 約800点。

松尾總一郎展

7月23日(火)～7月28日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝860人
油絵(静物)など約30点。

第2回つくし押花倶楽部福岡地区押花作品展

7月30日(火)～8月4日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,083人
福岡在住の会員による押花額の展示。

西区早良区公民館水墨画サークル合同作品展

7月30日(火)～8月4日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,343人
参加者70名による山水、風景、草花、の水墨画など約80点。

第10回画帖会展

7月30日(火)～8月4日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,161人
会員による日本画、水彩画、水墨画、写真、書など。

九産大5人展

7月30日(火)～8月4日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝739人
油絵や立体約22点。

第36回福岡市美術展入賞作品展

8月6日(火)～8月18日(日)
別展示室B
観覧料＝無料／日数＝12日／観覧者数＝7,910人
福岡市美術展で入賞した作品を54点展示。

誤個展

8月6日(火)～8月11日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝780人
大学生5人グループによる油彩、デザイン、書など。

ふくおか社会保険センター水彩画教室発表会

8月6日(火)～8月11日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝813人
会員約40点による水彩画約70点。

稲田友久展

8月6日(火)～8月11日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝737人
風景、人物、花、静物など51点

第19回親生会展

8月6日(火)～8月11日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝515人
会員約35名による書、半切、全紙、屏風、額など約40点。

西村和子クレパス画展

8月13日(火)～8月18日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,057人
クレパス画(オイルパステル)25点。

NHK文化センター油絵(樋口教室)展示会

8月13日(火)～8月18日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,111人
生徒約15名、講師も含み小品から100号まで主として油彩約50点。

平原恭輔絵画展「花と犬と楽しい日々」

8月13日(火)～8月18日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,059人
キャンパス等にアクリル絵具で制作した作品やパソコンで制作した作品など約40点。

江海個展

8月13日(火)～8月18日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,140人
洋画、木板の彫刻、水墨画35点。

グループ青 彫刻展

8月20日(火)～8月25日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝4,058人
仏教や彫刻、テッサンなど40点。

迎久子回顧展

8月20日(火)～8月25日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,246人
油絵(風景画)約30点。

D・A・K・H展 DO AS K I N G H E A R T

8月20日(火)～8月25日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,022人
4名のグループによる「心にあるもの」をテーマとした油絵、アクリル画、写真、立体等約40点。

第4回玄洋・周船寺公民館水彩教室展

8月20日(火)～8月25日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,255人
グループ24名による水彩画の展示約70点。

日本書学館福西支部展

8月20日(火)～8月25日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝729人
漢字条幅、仮名条幅ほか。

作陶五十年特別記念染付・和紙染 江口勝美個展

8月27日(火)～9月1日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝5,747人
和紙染技法による美術陶芸の展示。

福岡市美術館ボルドーの会作品展

8月27日(火)～9月1日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,268人
会員による油彩、書、写真、陶芸など約40展。

第4回あの頃の画友会展

8月27日(火)～9月1日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,272人
会員16名による油絵43点。

第12回鎮西フォトクラブ福岡写真展

8月27日(火)～9月1日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,203人
風景を主として福岡の祭、イベントなど約60点。

ゆう美会(郵政退職者美術愛好家)

8月27日(火)～9月1日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝2,038人
会員による絵画、書、彫刻、写真など約170点。

小川巧個展

9月3日(火)～9月8日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝852人
油絵、水彩画、テッサンなど50号～150号 約30点。

瀬分孝治油絵個展

9月3日(火)～9月8日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝924人
欧州の建物風景、19世紀画の習作、花、人物画など約50点。

第30回古光書道会記念展

9月3日(火)～9月8日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝858人
会員などによる漢字、仮名作品及び一字書、現代文書作品などの書道作品。

第14回サムホール公募展

9月3日(火)～9月8日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,578人
サムホールサイズのための公募展。油絵、水彩画約500点。

「チャーチル会博多」第50周年記念絵画展

9月10日(火)～9月16日(月・祝)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝2,252人
油絵を主体とした8～100号約50点。

福岡写楼会「山を想うひとときパート8」

9月10日(火)～9月16日(月・祝)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝1,707人
会員による山岳写真約35点。

第32回世界児童画展

9月10日(火)～9月16日(月・祝)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝2,229人
世界の子どもの絵約700点を展示。

光彩会日本画・水彩画展

9月10日(火)～9月16日(月・祝)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝1,451人
会員30名による日本画(絹絵が中心)約60点。

佳友会吉祥画展

9月18日(水)－9月23日(月・祝)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝362人
グループ3名による水墨画、日本画、近代表装の展示約100点。

押花アート展

9月18日(水)－9月23日(月・祝)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝793人
インストラクターと生徒30名との合同アート展約50点。

サークル昂写真展

9月18日(水)－9月23日(月・祝)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝917人
会員28名による作品展 56点。

第11回健筆会展

9月18日(水)－9月23日(月・祝)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝709人
漢字、かな、現代詩文約50点。

Dulcey・Mura・BMF 三人絵画展

9月18日(水)－9月23日(月・祝)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝744人
油彩、パステル、アクリル約30点。

伊藤五恵展

9月25日(火)－9月29日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝4日／観覧者数＝394人
現代陶芸約20点。

和紙ちぎり絵展

9月25日(火)－9月29日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝4日／観覧者数＝896人
会員約70名によるちぎり絵の展示約80点。

第30回龍飛書展

9月25日(火)－9月29日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝4日／観覧者数＝961人
漢字、近代詩文、仮名の書作品展約150点。

第5回桑樹書展

9月25日(火)－9月29日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝4日／観覧者数＝877人
会員35名による大字書、漢字、近代詩文書、臨書作品約70点。

第40周年記念飛翔会美術展

10月1日(火)－10月14日(月・祝)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝13日／観覧者数＝4,479人
会員19名による油彩、水彩画など小品コーナーも設け約80点。

第8回立花会油絵展

10月1日(火)－10月6日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝660人
九州造形短大の公開講座受講生による成果発表 油彩画約45点。

第30回鶴陽美術展

10月1日(火)－10月6日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,081人
会員による絵画、工芸、彫刻、写真などの作品展100点。

第5回彩美会油絵展

10月1日(火)－10月6日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝741人
会員45名による油絵約50点。

玉むし会36回展

10月8日(火)－10月14日(月・祝)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝1,373人
草木染ろうけつの屏風、額、タペストリー等約80点。

藤川秀満ベンアート展

10月8日(火)－10月14日(月・祝)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝1,022人
点描によるベン画、具象絵画約25点。

第3回花芯

10月8日(火)－10月14日(月・祝)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝1,456人
半切の写真約50点。

第12回新作能面展

10月8日(火)－10月14日(月・祝)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝1,304人
会員23名の新作能面を中心に展示 約80点。

N548展九州産業大学芸術学部酒井研究室OB展

10月16日(水)－10月20日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝433人
油彩、CG、立体約80点。

第15回福岡水彩画同好会

10月16日(水)－10月20日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝1,024人
透明水彩画約80点。

第26回福岡きり絵展

10月16日(水)－10月20日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝1,132人
郷土福岡をテーマとした作品や自由作品、ジュニア作品など約80点。

日本かな書道会九州地区展

10月16日(水)－10月20日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝594人
額装、軸 約100点。

第14回晃紀会展

10月16日(水)－10月20日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝1,039人
水彩画、彩墨画の掛軸、額装など80点。

「私の風景」陣内里美 日本画展

10月22日(火)－10月27日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,248人
日本画約30点。

第17回空の会展

10月22日(火)－10月27日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝621人
会員17名による油絵35点。

(財)独立書人団

第25回記念福岡県支部書展 併催

第11回九州独立選抜書展

10月22日(火)－10月27日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝584人
小字数書、大字書、詩文、古典臨書作品など120点など。

和白水曜会

10月22日(火)－10月27日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝637人
会員20名による油絵65点。

鬼木美代子個展

10月29日(火)－11月4日(月・祝)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝971人
油絵約40点。

第9回アサの会展

10月29日(火)－11月4日(月・祝)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝1,342人
会員11名による油絵約40点。

第18回城南区市民アート展

10月29日(火)－11月4日(月・祝)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝1,320人
絵画、書、写真、グラフィックデザイン、工芸、立体・造形約180点。

ラ・ビダ会、イーゼル会合同絵画展

10月29日(火)－11月4日(月・祝)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝1,146人
会員40名余による油絵60点。

謙慎書道会九州・沖縄展

11月6日(水)－11月10日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝900人
漢字、仮名、調和体、篆刻の作品を額、軸装 約140点。

第8回学校飼育動物スケッチコンクール

11月6日(水)－11月10日(日)
市民ギャラリーA
福岡市内に住む幼児・児童を対象に公募、受賞作品の展示 約40点。

第22回南区美術展

11月6日(水)－11月10日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝1,228人
市民からの公募の絵画、彫刻、書、工芸、写真など 約200点。

第25回西日本版画協会展

11月6日(水)－11月10日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝1,095人
木版、孔版、平版、アクリル板 約60点。

第2回北晶石聊書作展

11月12日(火)－11月17日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,461人
額、軸物、屏風、折帖など 約80点。

第3回布の花と粘土工芸展

11月12日(火)－11月17日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,065人
粘土作品と布の花二つの教室の合同作品展約80点。

第3回東区美術協会展

11月12日(火)－11月17日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,027人
会員による絵画、彫刻、工芸、書、写真63点。

第4回グループ四季水彩画展

11月12日(火)－11月17日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,159人
日本の四季をテーマにした水彩画約60点。

第19回読売書法展 九州展

11月19日(火)－11月24日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般500円、高・大生300円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝2,223人
全国から応募があつた書作品のうち九州、山口から選ばれた入賞、入選作品と読売書法会の役員作品約1200点。

福岡市人権尊重作品展

11月19日(火)～11月24日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝758人
福岡市人権尊重週間行事の一つとしてポスター・標語を公募、その内入選作品を展示約330点。

ロータリージュニア美術展

11月19日(火)～11月24日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝867人
福岡地区の中学生を対象として絵画作品を公募、入選作品を展示約200点。

蕉風会仏像彫刻展

11月19日(火)～11月24日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,430人
仏像彫刻会作品展、仏像の立体、レリーフ約160点。

第23回中央区市民文化祭美術作品展一般の部

11月19日(火)～11月24日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,308人
洋画、日本画、写真、書、手工芸 約80点。

第54回毎日書道展 九州展

11月26日(火)～12月1日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般500円、高・大生無料、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝3,426人
九州・山口地区の受賞作品を中心に全国巡回作家の作品も含めた総合書展約1100点。

第25回福岡市退職校長会作品展

11月26日(火)～12月1日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,127人
会員による絵画、書、工芸、写真 約80点。

第1回二科福岡支部美術展

11月26日(火)～12月1日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,256人
会員、会友、一般入選者による絵画、デザイン、写真、彫刻 約130点。

ザルツブルガーアート「スタジオ カノン」作品展

11月26日(火)～12月1日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝2,850人
ドイツ、オーストラリア地方に古くから伝わる工芸約200点。

第57回行動美術展

12月3日(火)～12月8日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝1,627人
平成14年度東京開催の会員、会友受賞者及び地元入選者の作品を展示。絵画、彫刻 約160点。

第32回福岡市高齢者美術展

12月3日(火)～12月8日(日)
市民ギャラリーA・B・C
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,586人
会員からの応募による絵画、書、写真、工芸の作品展約200点。

玄霜会 日本画展

12月3日(火)～12月8日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,498人
会員14名による作品展約40点。

第30回日本の書展

第28回西日本書美術展
12月10日(火)～12月15日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般500円、高・大生無料、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝2,497人
日本を代表する書家と西日本書美術協会会員の作品を一堂に展示 約1300点。

西部水彩画協会展

12月10日(火)～12月15日(日)
市民ギャラリーA・B・C
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝2,234人
会員、会友、一般公募による作品展約100点。

キルトフォーラム展示会2002

12月10日(火)～12月15日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,348人
キルトタペストリー、キルト小物約30点。

第23回西日本書美術公募展

12月17日(火)～12月27日(金)
特別展示室A
観覧料＝無料／日数＝10日／観覧者数＝2,567人
応募作品約2500点の中から入賞作品約1200点の展示。漢字、かな、近代詩文書。

日本画二人展

12月17日(火)～12月27日(金)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝10日／観覧者数＝1,269人
抽象日本画約40点。

サザンクロス 第10回写真展「空」

12月17日(火)～12月27日(金)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝10日／観覧者数＝1,170人
空をテーマにモノクロ、カラー大紙額装 約60点。

わんぱく書展

12月17日(火)～12月27日(金)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝10日／観覧者数＝1,583人
甲骨文字をテーマに幼児、児童による書道作品展700点。

九州蒼遼会書道展

12月17日(火)～12月27日(金)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝10日／観覧者数＝790人
会員による書道展約33点。

ツルタマモル個展(元寇の役風景)

12月17日(火)～12月27日(金)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝10日／観覧者数＝929人
元寇の役をテーマとした水彩、鉛筆、クレパスの作品約100点。

■平成15年

釜山纖維芸術家展

1月7日(火)～1月13日(月)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝531人
釜山纖維芸術家会の会員56人による作品展。

第14回つじの糸書作品展

1月7日(火)～1月13日(月)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝741人
秋山掃丹と門下による漢字、仮名、特別出品など約40点。

ももちバレス洋画エルサバド

1月7日(火)～1月13日(月)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝682人
洋画教室の会員の作品60点。

第3回墨、遊び展「宙」へ

1月7日(火)～1月13日(月)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝723人
中尾妹美個展 書、木版画約30点。

釜山纖維芸術家展

1月7日(火)～1月13日(月)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝7日／観覧者数＝466人
釜山纖維芸術家会の会員56人による作品展。

九輝展

1月15日(水)～1月19日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝1,262人
公募「日輝展」の九州地区出品者の巡回展。

「里」写真二人展

1月15日(水)～1月19日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝635人
野口精一郎、古賀幸雄、吉原昭信による三人展 約60～70点。

錦彩窯 藤井正作陶展

1月15日(水)～1月19日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝742人
古染付、色絵、古伊万里文様の壺、茶陶など約45点。

福岡の町並 葦ペンスケッチ画展

1月15日(水)～1月19日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝816人
中村洋一の葦ペンによる水彩画約50展。

丸山久幸遺作展

1月15日(水)～1月19日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝5日／観覧者数＝830人
創元展、日展の出品作品をはじめとする遺作展約30数点。

第35回九州女子大学卒業書作品展

1月21日(火)～1月26日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝393人
書道履修生による四年間の集大成の書道作品を展示。卒業生11名と先生の賛助作品約30点。

雅友会水彩画展

1月21日(火)～1月26日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,324人
水彩画教室雅友会受講者約36人による作品約72点。

博美会油絵展

1月21日(火)～1月26日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,201人
岩田屋コミュニティカレッジ油絵教室井上博元講師のグループ約40名の作品 約40点。

福岡市中学校書作品展

1月21日(火)～1月26日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,088人
福岡市の中学校、養護学校の生徒の書作作品の展示。

近代スレンダー美術協会 & 日本貴金属粘土協会展

1月21日(火)～1月26日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,819人
出品者総数100人による七宝、彫金銀粘土の作品展示 200点。

第16回蘭亭書道展

1月28日(火)－2月2日(日)
特別展示室A
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝2,596人
中国の書聖、王羲之の「蘭亭序」を基本とした語句を色紙短冊に表現する公募展。

グルーボ・フント展

1月28日(火)－2月2日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝794人
半具象から描象までアクリル画、油彩画、半立体の作品45点。

第11回蒼龍会書作展

1月28日(火)－2月2日(日)
市民ギャラリーB
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝888人
書(半紙・色絵・写経・半切り等の漢字、かな、ペンの作品)約130点。

日本国際美術家協会西日本支部展

1月28日(火)－2月2日(日)
市民ギャラリーC
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝473人
西日本地区代表作家と欧州美術クラブの作家による作品。油彩、日本画、墨彩、剪絵など約40点。

福岡県高等学校芸術・文化連盟福岡地区写真展

1月28日(火)－2月2日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝805人
県高等学校総合文化祭写真展、上位入賞作品他約120点。

平成14年度第34回九州産業大学芸術学部卒業制作展

2月6日(木)－2月9日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝無料／日数＝4日／観覧者数＝3,344人
美術学科の絵画、造形、デザイン、写真の卒業制作展。

第4回彩の会展

2月4日(火)－2月9日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,282人
会員20名による油彩、デッサン作品展 約60～70点。

平成14年度第28回九州産業大学大学院

芸術研究科修了制作展
2月4日(火)－2月9日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,693人
修了学生20名による美術、デザイン、写真、工芸などの作品展。

九州修證会書展

2月4日(火)－2月9日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝780人
会員による書道(屏風、巻物、刻字など)作品展 約40～50点。

福岡二紀展

2月11日(火)－2月16日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝一般800円、高・大生600円、小・中生200円
日数＝6日／観覧者数＝2,447人
二紀東京展より全国に巡回、今回は福岡巡回展
絵画、彫刻 約210点。

社会福祉法人 玄洋会絵画教室展

2月11日(火)－2月16日(日)
市民ギャラリーA
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝888人
絵画教室利用者の制作発表会
陶芸、藤編中心の作品 約100点。

平成14年度福岡大学 学術文化部会 美術部 部展

2月11日(火)－2月16日(日)
市民ギャラリーB・C
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝936人
部員約110名による油彩、水彩、陶器、オブジェ、CGなどの作品の展示。

福岡雙葉中学・高等学校美術・書道作品展

2月11日(火)－2月16日(日)
市民ギャラリーD
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,320人
芸術活動の成果としての1年間の美術、書道の生徒作品の展示 約300点。

第87回二科展

2月18日(火)－2月23日(日)
特別展示室A・B 市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝一般800円、高・大生500円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝6,489人
平成14年に開催された東京展の選抜作品と地元関係入選作品(絵画、彫刻、デザイン、写真など)約450点。

第70回独立展

2月25日(火)－3月2日(日)
特別展示室A・B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,478人
平成14年に開催された東京展の選抜作品と地元関係入選作品(油彩、水彩)約140点。

第52回福岡市中学校美術展

2月25日(火)－3月2日(日)
市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝3,918人
福岡市内の中(養護、治癒)学校77の生徒作品(絵画、デザイン、彫刻、工芸、陶芸、CGなど)約4000点。

自由美術展

3月4日(火)－3月9日(日)
特別展示室A
観覧料＝一般700円、高・大生500円、小・中生無料
日数＝6日／観覧者数＝347人
東京展から選抜された作品と地元関係入選作品 約140点。

福岡教育大学大学院美術教育専攻修了制作展

3月4日(火)－3月9日(日)
特別展示室B
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝618人
修了学生による水彩、銅版画、日本画など約54点。

第9回福岡市書道協会展

3月4日(火)－3月9日(日)
市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝無料／日数＝6日／観覧者数＝1,333人
漢字、かな等の小作品を中心にした展覧会約300点。

第34回日展

3月28日(金)－4月13日(日)
特別展示室A・B 市民ギャラリーA・B・C・D
観覧料＝一般1,100円(800円)、高・大生700円(500円)、
小・中生400円(300円)※()内は割引料金
日数＝15日／観覧者数＝18,491人
平成14年に開催された東京展の選抜作品と地元関係入選作品約(洋画、日本画、彫刻、工芸、書など)450点。

特別企画展等観覧者数

単位(人)

展覧会名	一般 個人	高・大生	小・中生	団体 一般	高・大生	小・中生	招待	合計
カンティンスキー展	18,952	1,931	5,384	—	—	—	13,995	46,398
「ナイーブな絵画」展	7,531	679	—	2,970	564	—	6,871	18,615
悟りの美	2,109	81	—	2,363	78	—	2,671	7,302
福・北 美術往来	865	189	—	179	297	—	1,627	3,157
第37回福岡市美術展	4,649	202	—	—	—	—	3,143	7,994

注) 団体の一般には老人等も含まれる。

常設展年間観覧者数

単位(人)

個人 一般	高・大生	小・中生	団体 一般	高・大生	小・中生	老人等	合計
27,803	2,356	10,694	1,586	1,426	—	9,047	52,912

注) 老人等とは、福岡市美術館条例に基づき観覧料の免除を受けた、市内居住の65歳以上の者および身障者

年度別観覧者数

年度	開館日数	常設展 観覧者数	特別企画展 開催数(回)	観覧者数(人)	貸館展 開催数(回)	観覧者数(人)	総数 開催数(回)	観覧者数(人)
54	94	70,234	1	86,194	18	128,642	19	285,070
55	306	127,584	3	45,666	91	467,240	94	640,490
56	307	99,287	5	35,372	139	686,602	144	821,261
57	306	93,883	3	24,453	161	563,586	164	681,922
58	307	96,723	3	137,402	183	592,022	186	826,147
59	306	105,537	3	68,172	176	721,050	179	894,759
60	305	102,115	2	116,531	171	781,973	173	1,000,619
61	306	97,962	4	147,682	184	608,150	188	853,794
62	308	96,088	3	73,478	215	609,570	218	779,136
63	306	95,550	3	77,223	207	611,398	210	784,171
1	306	94,044	2	121,795	174	437,776	176	653,615
2	306	91,584	3	64,216	216	526,516	219	682,316
3	306	88,929	4	134,771	216	491,771	220	715,471
4	307	102,301	5	103,004	235	565,751	240	771,056
5	306	81,142	3	87,242	225	565,280	228	733,664
6	248	61,022	1	23,192	147	538,275	148	622,489
7	307	68,221	3	136,406	209	500,231	212	704,858
8	305	79,077	3	65,171	206	422,735	209	566,983
9	304	63,976	4	290,151	207	464,723	211	818,850
10	306	67,859	4	62,981	189	439,040	193	569,880
11	307	58,030	4	284,403	212	451,619	216	794,052
12	305	41,584	4	106,730	204	341,378	208	489,692
13	307	49,243	4	58,028	195	290,399	199	397,670
14	304	52,912	4	75,472	203	308,245	207	436,721
累計	7,075	1,984,887	78	2,425,735	4,383	12,113,972	4,461	16,524,594

※14年度の「特別企画展」には「第37回福岡市美術展」の開催数及び観覧者数は含まれておりません。

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術とのより良い出会いの場を提供することを目的に、当館では平成9年度より「こどもアートアドベンチャー」事業を展開している。これは、市内の小・中学校を中心に、学校と連携し、児童・生徒達が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちにより深く美術を味わってもらおうというもの。ボランティアによるギャラリートークを始め、小・中学校の教員とともにワークショップなどを行っている。

福岡市内小・中学校を対象としたギャラリートーク

教師との事前打ち合わせをもとに、解説ボランティアによるギャラリートークを行った。平成14年度は、以下の日程で計20校を対象に行った。

平成14年					
6月 4日(火)	福岡市立赤坂幼稚園	園児	61名	引率	12名
6月 5日(水)	清水保育所	園児	18名		
6月28日(金)	福岡市立東光小学校	生徒	43名	引率	4名
7月24日(水)	福岡市立次郎丸中学校美術部	生徒	20名		
7月26日(金)	福岡市立三筑中学校	生徒	10名	引率	1名
7月30日(火)	福岡市立梅林中学校美術部	生徒	10名	引率	1名
9月12日(木)	福岡市立東月隈小学校	生徒	57名	引率	2名
9月20日(金)	福岡市立南当仁小学校	生徒	114名	引率	3名
10月22日(火)	福岡市立箱崎小学校	生徒	81名	引率	3名
11月 6日(水)	福岡市立千早小学校	生徒	56名	引率	2名
11月 8日(金)	正法寺保育園	園児	30名	引率	3名
11月14日(木)	正法寺保育園	園児	63名	引率	4名
11月21日(木)	大和保育所	園児	26名	引率	4名

平成15年					
1月16日(木)	福岡市立赤坂幼稚園	園児	94名	引率	10名
1月23日(木)	福岡市立吉塚小学校	生徒	75名	引率	2名
2月 4日(火)	福岡市立有田小学校	生徒	81名	引率	4名
2月15日(土)	福岡雙葉小学校	生徒	116名	引率	5名
2月25日(火)	福岡市立赤坂幼稚園	園児	96名	引率	12名
2月28日(金)	屋形原養護学校	生徒	7名	引率	9名
2月28日(金)	福岡市立福岡中学校	生徒	53名	引率	7名

宇美町立宇美小学校における教員およびNPOとの共同授業

宇美町立宇美小学校にて、同学校教員および芸術と学校をつなぐNPO・ASAPと協力し、鑑賞授業を行う。対象は6年生3クラス。

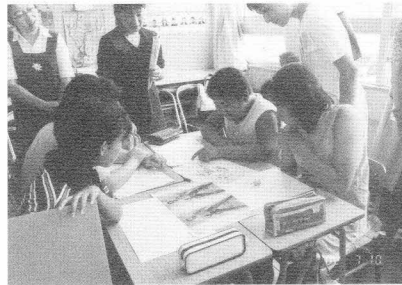
実施日

平成14年

- 7月10日(水) 伝絵画ゲームの実施。
- 8月 8日(木) 当館にて作品鑑賞。参加者は、生徒15名、引率4名
- 9月26日(木) 伝絵画ゲームの実施。
- 11月 7日(木) ミニ展覧会の実施。
- 11月24日(日) 当館にて作品鑑賞。参加者は、生徒20名、引率4名

講師 ————— 鬼本佳代子(福岡市美術館学芸員)

内容:3クラス中2クラスを対象に「伝絵画ゲーム」を実施。生徒が2人1組になり、片方がもう一方に見えないように図版をもち、その説明を行う。もう一方は、説明をもとにどのような図版かを想像してそれを絵にする。作品を良く見るためにディスクリプションを応用したゲーム。図版は当館の所蔵品のものを使用した。また、1クラスを対象に、当館の所蔵作品等の図版を使ったミニ展覧会を実施した。それぞれのプログラムの実施後、希望者のみではあるが、当館にて実際の作品鑑賞を行い、より深い作品理解を促した。



2002年夏休み中学校交流ワークショップ

日程	平成14年8月2日(金)～8月3日(土)
参加校	福岡市立舞鶴中学校、同多々良中学校、同友泉中学校
参加者数	30名
中学校美術教育研究会教諭	伊藤佳子、遠藤亮子、香月秀子、田中義徳、安岡弘喜、米谷奈保子 各氏

内容:中学校との交流事業として、中学校美術教育研究会の教師と協力してワークショップを行った。内容は、当館の特別展「カンディンスキー展」での作品鑑賞後、その印象を元に、絵画作品を制作するというもの。でき上がった作品は、2階ロビーにて9月1日(日)まで展示した。



夏休みこども美術館2002

こどもギャラリー「冒険! 古美術不思議世界」

会期	平成14年7月23日(火)ー9月1日(日)
会場	古美術企画展示室
出品作品	14点

内容:「不思議」をテーマに、当館所蔵の古美術作品から、神様や仏様、龍などの想像上の動物、そしておとぎ話を描いた作品をこども向けにアレンジして展示。鑑賞の手助けとして、夏休みこども美術館のキャラクター美術館おじいさんが案内する、こども向けガイドブックを無料配布。



ガイドブック

こどもワークショップ

1)「探してみよう！不思議な世界」

日時	平成14年7月27日(水)、8月7日(水)
	10:00より1時間程度
対象	小学校1年生～3年生
参加人数	34名
参加費	無料
講師	鬼本佳代子(福岡市美術館学芸員)

内容:美術館まわりの木立や美術館内のトラックヤード、空調室などを探検しながら「不思議を探す練習」をしたあと、こどもギャラリー展示室で、作品の中の不思議についてギャラリートークを行った。



2)「描いてみよう！不思議な世界」

日時	平成14年8月24日(水) 10:00～16:00
会場	実技講座室
対象	小学校4年生～6年生
参加人数	26名
参加費	500円
講師	菅かおる氏(日本画家)
ボランティアスタッフ	青野恭子、赤尾征子、大原済、甲斐美知子、角泉子、仲上文子、山本美智子

内容:「こどもギャラリー」で学芸員とともに作品を鑑賞した後に、日本画の道具で、自分で想像した不思議な動物(人物)を描いた。



実技講座ワークショップ

ライフマスク"FACE TO FACE"

日程	
作品制作日	平成14年5月4日(土)～5月6日(月) 10:00～16:00
作品展示	平成14年5月7日(火) 10:00～16:00
作品展示期間	平成14年5月8日(水)～5月26日(日)
会場	実技講座室および教養講座室
参加人数	70名
参加費	1人1,000円
講師	金明姫(キムミョンヒ)氏(美術家)
アシスタントスタッフ	杉山由香、平田良子、宮田君平
ボランティアスタッフ	池子ヨ子、甲斐美智子、勝部和花子、財津説子、 財津八千代、清水さかえ、高井早苗、知足久美子、 福岡明子、宮原ゆうき、宮本静江、山崎瑞代、 脇坂真祈子

内容:京都在住の韓国美術家・金明姫(キムミョンヒ)氏を招き、市民参加のワークショップを行った。金氏は、和紙(韓紙)を使って、韓国と日本のさまざまな人の顔のマスクを作り、さらにそれを集積させるように壁に展示するというインスタレーション作品を制作している。このワークショップでも、金氏の指導のもと、参加者に自分自身の顔のマスクを制作してもらい、さらに、できたマスクを金氏と参加者で展示した。

関連記事 p.20を参照



制作風景



展示風景

講座

第5回所蔵品によるアートセミナー 「幻想の向こうに見えるもの～浜田知明の世界」

日時	平成15年3月1日(土)、3月8日(土)、 3月15日(土)(全3回) 14:00～15:30
会場	教養講座室
講師	3月 1日 坂本正文氏(熊本県立美術館主任主事) 3月 8日 高浜州賀子氏(熊本県立美術館学芸員) 3月15日 浜田知明氏(美術家)、高浜州賀子氏

内容:福岡市美術館の所蔵品を実際に鑑賞しながらアートについて学ぶシリーズ「所蔵品によるアートセミナー」。第5回目となる今回は、平成13年に熊本県立美術館にて開催された「浜田知明－版画と彫刻による人間の探求」展の担当者高浜州賀子氏および坂本正文氏と浜田知明氏本人を招き、当館所蔵の浜田知明作品について語ってもらった。



アトリエ

親子版画教室

「シルクスクリーンに挑戦だ ～身近な素材に好きなものをプリントしよう～」

日時	平成15年3月21日(金)、22日(土) 10:00～15:00
会場	実技講座室および教養講座室
対象	小学校3年生以上とその保護者
参加人数	23名
参加費	2人1組として1,000円
講師	小川幸一氏(版画家)
ボランティアスタッフ	岩本英恵

内容:自分の好きな絵や写真を持ち寄ってもらい、それをもとに、写真製版によるシルクスクリーン版画を親子で制作。エプロンやTシャツなど身近な素材にプリントをした。



講演会

カンディンスキーとドローネー 1912年のベルリンとパリ (「カンディンスキー展」関連)

日時＝平成14年8月3日(土) 13:30より
会場＝講堂
講師＝後藤新治氏(西南学院大学教授)
聴講者数＝256人

素朴派について(「ナイーヴな絵画」展関連)

日時＝平成14年9月15日(日) 14:00より
会場＝講堂
講師＝勅使河原 純氏(世田谷美術館学芸部長)
聴講者数＝92人

天才はどこにでもいるわねえ…(「ナイーヴな絵画」展関連)

日時＝平成14年9月22日(日) 14:00より
会場＝講堂
講師＝宮城まりこ氏(ねむの木学園長)
聴講者数＝200人

やなぎみわアーティスト・トーク(「やなぎみわ展」関連)

日時＝平成14年10月12日(土) 14:00より
会場＝教養講座室
講師＝やなぎみわ氏(美術家)
聴講者数＝70人

九州・山口の曹洞宗の展開(「悟りの美」展関連)

日時＝平成14年11月2日(土) 14:00より
会場＝講堂
講師＝佐藤秀孝氏(駒澤大学仏教学部教授)
聴講者数＝150人

江上計太アーティスト・トーク

(「第4回21世紀の作家－福岡 江上計太展」関連)

日時＝平成14年11月17日(日) 15:30より
会場＝教養講座室
講師＝江上計太氏(美術家)
聴講者数＝120人

ミニシンポジウム「福・北のアーティストスペース」

(「福・北 美術往来」展関連)

日時＝平成15年1月25日(土) 14:00～15:30
会場＝教養講座室
講師＝宮川敬一氏、阿部幸子氏、松野康臣氏、
河口彩氏(各氏美術家)
聴講者数＝50人

石井潤一郎アーティスト・トーク(「福・北 美術往来」展関連)

日時＝平成15年2月2日(日) 10:30より
会場＝美術館2階入口エスプラナード
講師＝石井潤一郎氏(美術家)

吉田ふじをの作品と生涯(「吉田ふじを展」関連)

日時＝平成15年2月8日(土) 14:00より
会場＝教養講座室
講師＝山本香瑞子(福岡市美術館学芸員)
聴講者数＝54人

ワークショップ

草野貴世・親子ワークショップ(「福・北 美術往来」展関連)

日時＝平成15年1月11日(土) 13:00～15:00
会場＝実技講座室
講師＝草野貴世氏(美術家)
参加者数＝21人

牛嶋 均「秘密キチ」(「福・北 美術往来」展関連)

日時＝平成15年1月19日(日)
会場＝美術館敷地内
講師＝牛嶋 均氏(美術家)
参加者数＝10人

ギャラリートーク

大木奈緒美、友池理絵によるギャラリートーク (「福・北美術往来」展関連)

日時＝平成15年1月12日(日) 14:00～15:00
 会場＝特別展示室A
 講師＝大木奈緒美、友池理絵各氏(各氏美術家)

ギャラリー・トーク

(「木綿の島ターインドネシアの染織」展関連)

日時＝平成15年2月2日(日) 14:30より
 会場＝古美術企画展示室
 講師＝エイコ・アドナン・クスマ氏(コレクター)

パフォーマンス

佐々恭子+坂井存バフォーマンス (「福・北 美術往来」展関連)

日時＝平成15年1月25日(土) 16:30～17:00
 会場＝特別展示室Aおよび読書室前庭園
 出演＝佐々恭子氏、坂井存氏(各氏美術家)

徳永昭夫+Selbst(ゼルブスト)バフォーマンス (「福・北 美術往来」展関連)

日時＝平成15年2月2日(日) 13:00および16:00より
 会場＝エスプラナードおよび2階ロビー
 出演＝徳永昭夫氏(美術家)、
 Selbst(ゼルブスト)(ダンスグループ)

大友良英コンサート

(「第4回21世紀の作家－福岡 江上計太展」関連)

日時＝平成14年11月17日(日) 17:30より
 会場＝企画展示室
 演奏＝大友良英氏(音楽家)
 参加者数＝140人



「やなぎみわ展」アーティスト・トーク



「悟りの美」講演会

読書室企画

読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行い、来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるような、資料を通しての普及啓蒙活動を行う。

1. 常設展関連図書特集

常設展示室での各展示関連

2. 特別展関連図書特集

・平成14年 4月 17日(水) ― 4月 28日(日)「福岡県の洋画家たち」展関連
 ・平成14年 7月 30日(火) ― 9月 1日(日)「カンディンスキー展」関連
 ・平成14年 9月 3日(火) ― 10月 14日(月)「ナイヴな絵画展」関連
 ・平成14年10月 20日(日) ― 11月 15日(金)「悟りの美」展関連
 ・平成15年 1月 5日(日) ― 2月 2日(日)「福・北美術往来」展関連

3. 読書室企画図書特集

・夏休みこどもとしょかん

「よんでみよう！みてみよう！本のなかの美術不思議世界」

会期＝平成14年7月23日(火)―9月1日(日)

内容＝夏休みこども美術館2002こどもギャラリー「冒険！古美術不思議世界」展の開催に伴い、不思議な物語や動物、神仏などをらわした美術作品について、主にこども向けに書かれた美術書を40冊特集した。ここで特集した本のリストは同展のガイドブックの巻末に記載した。



夏休みこどもとしょかん

・美術をめぐる冒険 Part 7

描かれた人々その人物像を読む

会期＝平成15年2月4日(火)―3月30日(日)

内容＝来館者に肩肘をはらずに楽しく、美術についての理解や知識を深めてもらえるような本を特集するシリーズの第7回目。今回の特集では美術作品に描かれた人々に焦点をあてた。作品のモデルとなった人々の生きざまや人物像を知ることによって作家やその作品についてもさまざまな発見ができるような本を20冊特集した。また、この特集をより深く理解してもらうための参考資料として、特集した本の解題を記載したリーフレットを作成し無料配布した。



リーフレット

博物館実習

学芸員資格のための博物館実習について、実習希望の学生を受け入れ、平成14年5月20日から11月30日までの期間に必要な日数の実習を行った。

■京都造形大学(10日間)

坂本 綾 芸術学部 通信教育部 芸術学科
芸術学コース

■西南学院大学(10日間)

境 美保 文学部 日本語・日本文学科
染崎 裕美 文学部英文学科
白水 麻衣 文学部国際文化学科

■筑紫女学園大学(10日間)

北村 愛季子 文学部日本語・日本文学科

■福岡大学(10日間)

野見山 麻衣子 文学部文化学科

■久留米大学(10日間)

高井 美希 文学部 人間科学科

■九州産業大学(10日間)

近藤 顕世 芸術学部 美術学科
日下部 真紀 芸術学部 美術学科

職場体験学習

学校教育の一環として職場体験学習が行われており、美術館でも本年度2校を受け入れて、常設展示の受付、監視等の体験学習を行った。

平成14年9月27日(金) 福岡市立城西中学校 5名
平成15年2月 5日(水) 福岡市立平尾中学校 7名

ボランティア活動

ボランティアについて

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。新聞スクラップから始まったボランティア活動は、現在では、作品解説、資料整理という2つのセクションに別れ、美術館の活動を支える重要な柱の一つとなっている。

作品解説

当館の常設展示を来館者の方々に解説することを目的に、昭和59年に活動を始めた。基本的に休館日を除く火曜日から日曜日までの各曜日で班にわかれ活動を行っている。一般の来館者のみならず、美術の授業などで訪れた小・中学生へのギャラリートークにも力をいれている。また、学芸員が企画したワークショップの補助を行うなどの幅も広がってきている。



解説ボランティア

活動記録

(なお、福岡市内小・中学生への解説については、アートアドベンチャーを参照のこと)

平成14年	
4月23日(火)	平戸市立中部中学校 23名
5月16日(木)	人吉市立第三中学校 28名
5月22日(水)	姫城中学校 135名
5月23日(木)	日南市立東郷中学校 69名
5月28日(火)	田主丸町立竹野小学校 28名
6月 1日(土)	芦屋町立芦屋中学校 32名
6月 7日(金)	ふくよかケアプラザ大名 42名
6月19日(水)	大牟田養護学校中学部 8名
7月13日(土)	国立久留米工業高等専門学校 19名
8月 8日(木)	宇美町立宇美小学校 15名
8月18日(日)	個人団体 12名
10月 4日(金)	クラーク記念国際高等学校 120名
10月11日(金)	個人団体 9名
10月12日(土)	福岡県吉井町遺族会 120名
10月26日(土)	江上小学校文化部 141名
10月30日(水)	長崎県長里小学校 14名
11月 2日(土)	福岡女学院 30名
11月 6日(水)	ふくよかケアプラザ大名 40名
11月 7日(木)	ふくよかケアプラザ大名 40名
11月10日(日)	牟田病院 17名
11月19日(火)	千葉県立銚子高校 42名
11月21日(木)	施設見学会 50名
11月24日(日)	田布施維学大学 39名
	宇美町立宇美小学校 20名
12月 8日(日)	睦語朗会 9名

平成15年	
2月12日(水)	加世田市農業委員会研修 19名
2月13日(木)	NHK熊本文化センター 48名
2月14日(金)	春日市立春日北小学校 90名
	ABAA 13名
2月18日(火)	久留米市西国分小学校 202名
2月21日(金)	大和町立豊原小学校 45名
2月27日(木)	日田市三芳公民館 44名

資料整理

〈図書〉

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行う。

作業内容

●分類ラベル作成および添付作業

図書資料用の分類ラベルに該当する分類を書き込みそのラベルを資料に添付する。

●目録カード整理作業

目録カードに標目を記載する。
分類変更分の各目録カードに分類番号と図書番号を書き込む。

●パンフレット資料整理作業

作家や美術館・博物館に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。

●広報誌整理作業

他機関発行の広報誌を綴じる作業および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

●情報誌整理作業

タウン情報誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。
美術記事のコピー資料に出版事項を記載しファイルに綴じる。

●書架整理作業

複数ある資料を書架から抜き出す。



図書ボランティア

部会開催

期日＝平成14年6月5日(水)

場所＝教養講座室

参加者数＝9名

内容＝各班ごとの作業進行状況についての報告

意見交換

期日＝平成15年1月28日(火)

場所＝会議室A

参加者数＝6名

内容＝各班ごとの作業進行状況についての報告

意見交換

目録カード整理作業

共同作業開催

期日＝平成14年10月25日(金)

場所＝資料ボランティア室

参加者数＝5名

内容＝目録カード整理作業

〈新聞〉

作業日…基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及び作業を行う。

月曜日：毎日新聞 木曜日：朝日新聞

火曜日：読売新聞 土曜日：日本経済新聞

水曜日：西日本新聞

月1回共同作業日を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。また、展覧会見学や美術に関するビデオの鑑賞会を行う。また、共同作業日は半年毎に曜日を变えることにする。本年度から、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる、「おすすめ新聞美術記事」を月1回作成、閲覧用として読書室に配架。



新聞ボランティア

活動記録

平成14年

4月8日(月)

第2回福岡アジア美術トリエンナーレ展 見学会 於 福岡アジア美術館 参加17名
総会 活動方針について「おすすめ新聞美術記事」作成を決定 参加 6名

5月16日(木)

共同作業 1979～1988年の未整理記事台紙貼りほか 参加 8名

6月3日(月)

共同作業 1994年8月の未整理記事台紙貼りほか 参加 9名

7月2日(火)

火曜班 「おすすめ新聞美術記事」第1号作成

7月8日(火)

水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第2号作成

7月31日(水)

共同作業 1994年の未整理記事切抜きほか 参加 4名

8月6日(火)

共同作業 1994年の未整理記事切抜きほか 参加 7名

9月3日(火)

木曜班 「おすすめ新聞美術記事」第3号作成

9月5日(水)

土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第4号作成

10月5日(土) 共同作業 1994年の未整理記事切抜き・台紙貼りほか 参加 6名

10月8日(火) 共同作業 1994年の未整理記事切抜きほか 参加 5名

11月5日(火) 月曜班 「おすすめ新聞美術記事」第5号作成

11月11日(月) 共同作業 1994年の未整理記事切抜き・台紙貼りほか 参加 8名

12月3日(火) 火曜班 「おすすめ新聞美術記事」第6号作成

12月10日(火) 平成15年

1月15日(水)

水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第7号作成

2月5日(水)

「松浦義の肖像画について」講義(渡邊学芸員) 参加 3名

2月13日(水)

水曜班 「おすすめ新聞美術記事」第8号作成

3月5日(水)

共同作業 1994年の未整理記事切抜きほか 参加 5名

3月7日(金)

土曜班 「おすすめ新聞美術記事」第9号作成

3月24日(月)

月曜班 「おすすめ新聞美術記事」第10号作成

講堂

講座・講演会名	期日	講師	主催	参加者数(人)
平成14年				
福岡市中学校美術教育研究会総会	4月17日(水)	鹿児島大学教授 服部鋼資	福岡市中学校美術教育研究会	63
福岡市写真研究会総会	4月29日(月)		福岡市教育センター	50
福岡市美術連盟講演会	5月 5日(日)		福岡市美術連盟	—
第20回上野の森美術館大賞展美術講演会 「美術ジャーナル50年－ バブル経済がもたらしたもの－」 「今日の絵画について」	5月28日(火)	西日本新聞社相談役・ テレビ西日本会長 青木 秀 審査委員 日野耕之祐	福岡市写真研究会 日本美術協会 上野の森美術館 西日本新聞社 テレビ西日本 彫刻の森美術館 フジサンケイグループ	138
第3回福岡二科写真公募展公開審査	7月14日(日)	審査員 秋山庄太郎 審査員 高橋扶臣男	二科会写真部福岡支部	220
第24回朝日学生書道展表彰式	7月23日(火)		朝日新聞社	200
新しい具象絵画の可能性	7月23日(火)	日野耕之祐	日洋会九州支部	110
カンティンスキーとドローネー ー1912年のベルリンとパリ (「カンティンスキー展」関連)	8月 3日(土)	西南学院大学文学部教授 後藤新治	カンティンスキー展 福岡展実行委員会	256
第14回サムホール展による特別講演会	9月 7日(土)	野見山暁治	山本文房堂	230
素朴派について(「ナイーヴな絵画」展関連)	9月15日(日)	世田谷美術館学芸部長 勅使河原 純	ナイーヴな絵画展実行委員会	92
天才はどこにでもいるわねえ…(「ナイーヴな絵画」展関連)	9月22日(日)	ねむの木学園長 宮城まり子	ナイーヴな絵画展実行委員会	200
日本かな書道会講演会	10月20日(日)		日本かな書道会	100
九州・山口の曹洞宗の展開(「悟りの美」展関連)	11月 2日(土)	駒沢大学仏教学部教授 佐藤秀孝	悟りの美展実行委員会	150
日韓国民交流年特別企画「韓国交流茶会」	11月 3日(日)		福岡茶道文化連盟	421
第18回城南区市民アート展表彰式	11月 4日(月)		城南区役所 ふれあい城南運営委員会	—
第8回学校飼育動物スケッチコンクール表彰式	11月10日(日)		福岡市獣医師会	170
第22回南区美術展表彰式	11月10日(日)		南区振興課	61
MOVIE LIVE 2002	11月17日(日)		モア・プロ	75
福岡シネマクラブフェスティバル	11月23日(土) 11月24日(日)		川島大樹	17 17
福岡コピーライターズクラブ2002FCC賞審査会	12月13日(金) 12月14日(土)		福岡コピーライターズクラブ	20 50
第23回西日本書美術公募展表彰式	12月22日(日)		テレビ西日本 西日本新聞社 西日本書美術協会	200
平成15年				
太平洋美術会西日本支部総会	1月18日(土)	太平洋美術会支部長 大庭陽二	太平洋美術会	54
福岡市書道協会総会	3月 9日(日)	福岡市書道協会		—
第37回福岡市美術展表彰式	3月16日(日)		福岡市、福岡市教育委員会、 福岡市美術展運営委員会	100

(講師敬称略)

教養講座室

講座・講演会名	期日	講師	主催	参加者数(人)
	平成14年			
グループ游展「福岡を描こう会」作品批評会	4月13日(土)		グループ游展	20
創元会作品研究会	4月14日(日)		創元会	41
太平洋美術会	4月21日(日)		太平洋美術会西日本支部	68
三軌会写真部九州支部懇談会	4月28日(日)		三軌会写真部九州支部	18
福岡市中学校美術部顧問者会	5月 2日(木)		福岡市中学校美術教育研究会	30
実技講座ワークショップ 「ライフマスク“FACE TO FACE”」	5月 4日(土) 5月 5日(日) 5月 6日(月)	美術家 金明姫(キムミョンヒ)	福岡市美術館	70
創元会作品研究会	5月12日(日)		創元会	41
福岡市小学校図画工作教育研究会総会	6月 1日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	60
作品研究会(創元会西日本公募展)	6月 2日(日)		創元会	56
造形教育九州学会総会	6月 9日(日)		造形教育九州学会事務局長 阿部 守	18
第37回大平洋西日本公募展授賞式	6月11日(火)		西日本新聞社、太平洋美術会西日本支部	—
福岡市中学校美術教育研究会中部教科代表者会	6月12日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	—
平成14年度福岡市美術連盟総会	6月23日(日)		福岡市美術連盟	51
日洋会打合せ会	6月26日(水)		日洋会福岡	10
福岡県高等学校芸術・文化連盟 写真専門部 県顧問総会、講演会	7月 3日(水)	九州産業大学教授 丸尾シゲオ	福岡県高文連写真専門部	45
福岡市東区美術協会総会	7月 7日(日)		福岡市東区美術協会	37
日洋展打合せ会	7月14日(日)		日洋会 福岡	14
日洋会作品研究会	7月23日(火) 7月24日(水)	日野耕之祐、岡田從彦、坂田憲雄、 先田進一	日洋会 福岡	85 (2日間の合計)
太平洋美術会絵画部役員会	7月26日(金)		太平洋美術会絵画部	20
2002年 夏休み中学校交流ワークショップ	8月 2日(金) 8月 3日(土)		福岡市中学校美術教育研究会 福岡市美術館	30 30
創元会福岡北支部総会	8月18日(日)		創元会北支部長 森本茂盛	35
福岡市中学校美術教育研究会会員研修会	8月21日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	12
福岡市小学校図画工作教育研究会9月定例会	9月 7日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	42
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	9月11日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	10
武蔵野美術大学校友会福岡支部会議	9月15日(日)		武蔵野美術大学校友会福岡支部	30
太平洋美術会西日本支部役員会	9月16日(月)		太平洋美術会 西日本支部長 大庭 陽二	23
福岡YMCA 青少年の工作活動	9月23日(月)		福岡YMCA	40
中学校美術部顧問者会	10月 2日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	13
つくし総合吟行句会	10月 3日(木)		つくし俳句会主宰 林 十九楼	21
やなぎみわアーティスト・トーク ([やなぎみわ展]関連)	10月12日(土)	美術家 やなぎみわ	福岡市美術館	70
第18回城南区市民アート展	10月28日(月)		ふれあい城南運営委員会、 城南区役所	9
常設展鑑賞	10月30日(水)		福岡市立屋形原養護学校	23
王萩地先生特別講習会	11月 1日(金)		晃紀会	—
美術館鑑賞授業	11月 1日(金)		福岡市立舞鶴中学校	30
福岡茶道文化連盟合同茶会	11月 3日(日)		福岡茶道文化連盟	800
美術館鑑賞授業	11月 6日(水)		福岡市立舞鶴中学校	30
福岡市小学校図画工作教育研究会講演会	11月 9日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	25
美術館鑑賞授業	11月15日(金)		福岡市立舞鶴中学校	—
江上計太アーティスト・トーク	11月17日(日)	美術家 江上計太	福岡市美術館	120
第19回読売書法展九州展打合せ	11月18日(月)		読売新聞社、読売書法会	—
福岡市中学校美術教育研究会会員研修	11月20日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	14

教養講座室

講座・講演会名	期日	講師	主催	参加者数(人)
小林健二トーク「創造することーその姿勢と背景ー」	11月23日(土)	美術家 小林健二	けやき通り学生会 山口ゆう子	140
ロータリージュニア美術展表彰式	11月23日(土)		福岡中央ロータリークラブ、 西日本新聞社	—
第23回中央区市民文化祭美術作品展表彰式	11月24日(日)		中央区市民の祭運営委員会	—
第54回毎日書道九州展準備	11月25日(月)		毎日新聞社、毎日書道会	—
新世紀美術協会役員会	11月27日(水)		新世紀美術協会代表 沖島 港	13
中学校美術部顧問者会	11月27日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	—
創元会例会、作品研究	12月 1日(日)		創元会	37
第32回福岡市高齢者美術展表彰式	12月 6日(金)		福岡市老人クラブ連合会	—
行動美術会員会議	12月 8日(日)		行動美術協会	22
福岡コピーライターズクラブ2002	12月13日(金)		福岡コピーライターズクラブ	20
F C C 賞審査会	12月14日(土)			50
創元会例会	12月23日(月)		創元会	41
平成15年				
福岡市中学校美術教育研究会	1月15日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	15
福岡市小学校図画工作教育研究会2月定例会	1月18日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	40
大太平洋美術会総会	1月18日(土)		大太平洋美術会西日本支部	—
創元会作品研究会	1月19日(日)		創元会福岡北支部長 森本茂盛	51
ミニシンポジウム 「福・北のアーティストスペース」(「福・北美術往来」展関連)	1月25日(土)	美術家 宮川敬一、阿部幸子、 耘野康臣、河口彩	福岡市美術館	50
福岡県中学校退職校長会会議	2月 5日(水)		福岡県中学校退職校長会	10
第34回九州産業大学芸術学部卒業制作展、 第28回大学院芸術研究科修了制作展研究論文発表会	2月 6日(木) 2月 7日(金)		九州産業大学芸術学部	—
吉田ふじをの作品と生涯(「吉田ふじを展」関連)	2月 8日(土)	福岡市美術館学芸員 山本香瑞子	福岡市美術館	54
菜殻火俳句会 福岡支部	2月 9日(日)		菜殻火主宰 野見山ひふみ	32
福岡市小学校図画工作教育研究会2月定例会	2月15日(土)		福岡市図画工作教育研究会 今林功一	32
二科会デザイン部九州地区2003 会員会友会議	2月18日(火)		二科会デザイン部九州地区 事務局長 鎌田勝美	25
美術館鑑賞授業	2月20日(木)		福岡市立舞鶴中学校	39
春の研修会	2月22日(土) 2月23日(日)		太平洋美術会 西日本支部	35 45
福岡県高文連写真専門部会 福岡地区顧問会議	2月26日(水)		福岡県高等学校芸術・ 文化連盟写真専門部会 福岡支部	20
第5回所蔵品によるアートセミナー 「幻想の向こうに見えるもの〜浜田知明の世界」	3月 1日(土) 3月 8日(土) 3月15日(土)	熊本県立美術館主任主事 坂本正文 熊本県立美術館学芸員 高浜州賀子 美術家 浜田知明	福岡市美術館	23 21 30
親子版画教室 「シルクスクリーンに挑戦だ 〜身近な素材に好きなものをプリントしよう〜」	3月21日(金) 3月22日(土)	版画家 小川幸一	福岡市美術館	23 23

(講師敬称略)

実技講座室

講座名	期日	講師	主催	参加者数(人)
平成14年				
実技講座ワークショップ 「ライフマスク"FACE TO FACE"」	5月 4日(土) 5月 5日(日) 5月 6日(月)	美術家 金明姫(キムミョンヒ)	福岡市美術館	70
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	6月 5日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	7
形彩会研究会	6月15日(土)		形彩会代表 佐々木武郎	10
デッサン実技講習会	6月23日(日)		太平洋美術会(リベルテ113)	—
福岡市中学校美術教育研究会常任委員会	7月 3日(水)		福岡市中学校美術教育研究会	10
太平洋美術会(ラ・リベルテ113)講習会	7月21日(日)		永吉俊一郎	10
日洋会作品研究会	7月23日(火) 7月24日(水)	日野耕之祐、岡田征彦、坂田憲雄、 先田進一	日洋会 福岡	85 (2日間の合計)
2002年夏休み中学校交流ワークショップ	8月 2日(金) 8月 3日(土)		福岡市中学校美術教育研究会 福岡市美術館	30 30
夏休みこども美術館こどもワークショップ 「描いてみよう！不思議な世界」	8月24日(水)	日本画家 菅かおる	福岡市美術館	26
縄文の会	8月25日(日)		縄文の会	50
太平洋美術協会西日本支部勉強会	9月22日(日)		太平洋美術協会西日本支部	5
形彩会研究会	9月23日(月)		形彩会	20
油絵作品修復作業	10月 1日(火)～ 10月 5日(土)		山本文房堂	—
デッサングループ	10月 6日(日)		瀬戸葉子	9
第18回城南区市民アート展	10月27日(日)		ふれあい城南運営委員会・ 城南区役所	2
デッサングループ	11月24日(日)		瀬戸葉子	5
太平洋西日本支部勉強会	12月 1日(日)		太平洋美術会西日本支部	8
福岡市小学校図画工作教育研究会 12月定例会・講演会「子どもの絵について語ろう」	12月 1日(日)	福岡教育大学名誉教授 益田凡夫	福岡市小学校図画工作 教育研究会	40
デッサングループ	12月 8日(日)		瀬戸葉子	8
福岡市小学校図画工作教育研究会12月例会	12月14日(土)		福岡市小学校図画工作教育研究会	45
平成15年				
草野貴世・親子ワークショップ(「福・北美術往来」展関連)	1月11日(土)	美術家 草野貴世	福岡市美術館	21
ラ・リベルテ113デッサン勉強会	1月19日(日)		ラ・リベルテ113 荒平精市	7
デッサングループ	1月26日(日)		瀬戸葉子	7
美術館鑑賞授業	2月 6日(木)		福岡市立舞鶴中学校	36
創元会作品研究会	2月 8日(土)		創元会	67
ラ・リベルテ113デッサン会	2月16日(日)		ラ・リベルテ113 荒平精市	10
デッサングループ	2月23日(日)		瀬戸葉子	10
創元会作品研究会	3月 8日(土)		創元会	46
足達襄画伯油絵洗画	3月10日(月)～ 3月15日(土)		山本文房堂	—
ラ・リベルテ113研究会	3月16日(日)		ラ・リベルテ113	10
親子版画教室 「シルクスクリーンに挑戦だ ～身近な素材に好きなものをプリントしよう～」	3月21日(金) 3月22日(土)	版画家 小川幸一	福岡市美術館	23 23

(講師敬称略)

版画印刷工房

講座名	期日	講師	主催	参加者数(人)
平成14年				
北九州版画教室	4月10日(水)		島村恵子	1
版画制作	4月21日(日)		池田華奈子	1
北九州版画教室	5月 8日(木)		島村恵子	1
北九州版画教室	5月28日(火)		島村恵子	1
版画制作	8月30日(金)		巖佐鈴奈	1
	9月 1日(日)			1
	9月 5日(木)			1
	9月 6日(金)			1
	9月 8日(日)			1
さざんかの会	11月27日(水)		原 小夜	2
北九州版画教室	12月 8日(日)		島村恵子	1
平成15年				
北九州版画教室	1月15日(水)		島村恵子	1
北九州版画教室	2月 4日(火)		島村恵子	1
北九州版画教室	2月23日(日)		島村恵子	1
北九州版画教室	3月 2日(日)		島村恵子	1
版画制作	3月19日(水)		松木美帆	5
親子版画教室	3月21日(金)	版画家 小川幸一	福岡市美術館	23
「シルクスクリーンに挑戦だ ～身近な素材に好きなものをプリントしよう～」				23
北九州版画教室	3月25日(火)		島村恵子	1

(講師敬称略)

読書室利用者数一覧

月	月総数(人)	開館日数(日)	一日平均(人)	年累計(人)	総累計(人)
4	536	25	21	536	324,887
5	550	27	20	1,086	325,437
6	552	26	21	1,638	325,989
7	784	26	30	2,422	326,773
8	2,476	27	91	4,898	329,249
9	716	25	28	5,614	329,965
10	531	27	19	6,145	330,496
11	418	26	16	6,563	330,914
12	336	23	14	6,899	331,250
1	411	23	17	7,310	331,661
2	555	24	23	7,865	332,216
3	631	26	24	8,496	332,847
年総数	8,496	305	27		

少数点以下切捨

図録

図録名	規格	頁数	編集・発行	発行日
「ナイーヴな絵画」展	A4変形	176	福岡市美術館編集・発行	平成14年 9月 7日
悟りの美－西国曹洞宗寺院の什宝展－	A4変形	176	福岡市美術館編集・発行	平成14年10月20日
福岡市・北九州市連携事業 第2回芸術・文化交流展 福・北 美術往来	A4変形	118	福岡市美術館編集・福岡市美術館、 北九州市立美術館発行	平成15年 1月 2日
福岡市・北九州市連携事業 第2回芸術・文化交流展 福・北 美術往来 展示記録	A4変形	24	福岡市美術館編集・福岡市美術館、 北九州市立美術館発行	平成15年 3月 1日
第4回21世紀の作家－福岡 江上計太展 ユートピアン・メランコリア	A4変形	47	福岡市美術館編集・発行	平成14年10月17日
吉田ふじを展	A4変形	143	府中市美術館、福岡市美術館編集・発行	平成14年 9月21日
エコ・クスマ・コレクション 木綿の島ターインドネシアの染織	A4変形	120	福岡市美術館編集・福岡市美術館、 渋谷区立松濤美術館発行	平成15年 1月 5日
第37回福岡市美術展	A4変形	48	福岡市美術展運営委員会編集・発行	平成15年 3月11日

常設展リーフレット

企画展示室リーフレット

展覧会名	規格	頁数	発行日
やなぎ みわ展	A4	4	平成14年 9月 3日

小作品室リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	発行日
219	村井正誠展(西本コレクション)	A4	6	平成14年 4月 2日
220	瑛九展	A4	4	平成14年 5月 8日
221	ベン・シャーン展	A4	4	平成14年 6月11日
222	藤森静雄と創作版画の仲間たち展	A4	4	平成14年 7月23日
223	デュシャンの版画	A4	4	平成14年 9月 3日
224	ベックマンとコルヴィッツ	A4	4	平成14年10月29日
225	大野隆司展(西本コレクション)－「安規供養」	A4	4	平成15年 2月25日

古美術リーフレット

No.	展覧会名	規格	頁数	会場	発行日
139	漆工芸の美	A4	2	古美術企画展示室	平成14年 4月 2日
140	森山コレクション展	A4	2	古美術企画展示室	平成14年 5月28日
141	茶入と茶碗展	A4	2	松永記念館室	平成14年 7月23日
142	タイとカンボジア・ベトナムの陶磁器	A4	2	古美術企画展示室	平成14年 9月 3日
143	仙厓展 仙厓の逸話－	A4	2	古美術企画展示室	平成14年10月29日
144	耳庵・初春の慶び	A4	2	松永記念館室	平成15年 1月 5日
145	九州・沖縄の美術	A4	4	古美術企画展示室	平成15年 3月 4日

夏休み子ども美術館子どもギャラリーガイド

名称	規格	頁数	発行日
2002 子どもギャラリー「冒険！古美術不思議世界」ガイド	A5	19	平成14年 7月23日

図書リーフレット

名称	規格	頁数	発行日
図書特集 美術をめぐる冒険Part7 描かれた人々－その人物像を読む	A4	4	平成15年 2月 4日

福岡市美術館活動の記録

年度	規格	頁数	発行日
平成13年度	A4	70	平成15年 3月15日



「悟りの美」展図録



「吉田ふじを展」図録

美術館ニュース エスプラナード

No.	発行日	内容	規格	頁数
128	平成14年7月1日	文字が大きく見やすくなってエスプラナードがリニューアル!!／美術館の現場から 失われた禅宗文化を求めて／特集-1 内面の「響き」を纯粹に描いた抽象絵画 カンディンスキー展／特集-2 ルソー、ピカソから岡本太郎、山下清、谷内六郎まで「ナイーブな絵画」展／常設展示よりやってきました!! 夏休みこども美術館2002／所蔵品紹介 古美術243「謡本」[五十四冊]観世暮閑／福岡市美術館展覧会案内2002 7月1日～9月30日／他館の展覧会案内／福岡市文化芸術振興財団からのお知らせArt&Cultureわの会会員募集中／平成14年度エスプラナード購読者募集／編集後記	A4	12
129	平成14年10月1日	特集-1 悟りの美 西国曹洞宗寺院の什宝展／特集-2 第4回21世紀の作家-福岡 江上計太展 ユートピアンメランコリア／美術館の現場から ワークショップ Life Mask ライフマスク FACE TO FACE 報告／常設展示より タイとカンボジア・ベトナムの陶磁展／所蔵品紹介 近現代244「魚の静物」萩谷 巖／福岡市美術館展覧会案内2002 10月1日～12月27日／他館の展覧会案内／平成14年度エスプラナード購読者募集／福岡市美術館のホームページをよろしく！／編集後記	A4	12
130	平成15年1月1日	特集-1 福岡市・北九州市連携事業 第2回芸術・文化交流展 福・北 美術往来／特集-2 エイコ・クスマコレクション 木綿の島々 インドネシアの染織／特集-3 20世紀を生きた陽光の画家 吉田ふじを展／所蔵品紹介 古美術245「高取斑釉緑斑耳付水指」／読書室だより 図書特集-美術をめぐる冒険Part7 描かれた人々-その人物像を読む／福岡市美術館展覧会案内2003 1月5日～3月31日／他館の展覧会案内／平成15年度エスプラナード購読者募集／2003年の1月から3月にかけては、注目のイベントが盛りだくさんです。／編集後記	A4	12



エスプラナードNo.128



エスプラナードNo.130

美術資料収集体数一覧

近現代美術			古美術			総計
購入	寄贈 一般	合計	購入	寄贈	合計	
504件	15件	519件	31件	3件	34件	553件

近現代美術

■ 購入

郷土作家 油彩等						
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-482	菊畑茂久馬	天河 十四	1999	259.0×582.0	油彩・画布	52001268
1-A-485	田部光子	たったひとつの実在を求めて II	1964	37.3×91.9×12.6	石膏、油彩・板	52007660
1-A-486	野見山曉治	人間	1961	145.3×97.2	油彩・画布	52007661
1-A-487	古川吉重	L18-1	2000	178.0×208.5	油彩・画布	52007662
1-A-490	宮崎静夫	帰郷	1983	116.8×116.8	油彩・板	52007663
1-A-491	村上 勝	Gold Metalic (1)	1977-79	280.0×186.3×11.8	木、大豆、糸、塗料・板	52001269

郷土作家 日本画等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-B-194	吉村忠夫	龍女	1929	216.3×112.3	絹本着色	52001271
1-B-195	吉村忠夫	和光薫風	1930	200.9×169.5	絹本着色	52001270
1-B-196	吉村忠夫	春光	1931	146.5×149.0	絹本着色	52001272

郷土作家 彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
1-G-50	村上 勝	紅い羽状	1992	高さ300	アクリル、紙、竹、木	52001314

日本作家 油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-A-138	小野木 学	風景 (Landscape)	1964	139.5×140.0	油彩・画布	52007649
2-A-139	松尾藤代	TOTAL LOSS ROOM	2000	380.7×284.0	油彩・綿布 (板張り付け)	52007647
2-A-141	山崎つる子	作品	1962-3	183.0×137.3	エナメル塗料・画布 (板張り付け)	52007648

日本作家 水彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-C-13	恩地孝四郎	不詳	不詳	30.1×25.2	水彩、コンテ・紙	52015988

日本作家 素描

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-D-1526	恩地孝四郎	幼児睡眠	1917	11.2×15.9	鉛筆・紙	52007650
2-D-1527	恩地孝四郎	(人体設計) 男の胴	1926	18.6×13.9	鉛筆・紙	52007651
2-D-1528	恩地孝四郎	題不詳	不詳	15.5×10.9	インク、鉛筆・紙	52007652
2-D-1529	恩地孝四郎	月に吠える石持つ胴体	不詳	19.0×13.9	インク・紙	52007653
2-D-1530	恩地孝四郎	一つの信頼すべき善	不詳	14.5×9.5	インク・紙	52007654
2-D-1531	恩地孝四郎	題不詳	不詳	19.0×14.7	インク、鉛筆・紙	52007655
2-D-1532	恩地孝四郎	Tanz	不詳	18.7×12.7	インク、鉛筆・紙	52007658
2-D-1533	恩地孝四郎	題不詳	不詳	18.1×13.5	インク、鉛筆・紙	52007657
2-D-1534	恩地孝四郎	顛落	不詳	18.5×12.7	インク、鉛筆・紙	52007659

日本作家 版画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-956	恩地孝四郎	白昼浴 (『詩と版画』3所収)	1923	21.0×14.4	木版・紙	52001275
2-E-957	藤森静雄	鐘丘 (『詩と版画』3所収)	1923	19.5×13.5	木版・紙	52001275
2-E-958	平塚運一	リリアン・フィスク夫人像 (『詩と版画』3所収)	1923	16.4×16.0	木版・紙	52001275
2-E-959	岩越二郎	陰刻壺 (『詩と版画』3所収)	1923	17.8×13.3	木版・紙	52001275
2-E-960	塚本しげる	永遠 (『詩と版画』3所収)	1923	18.4×10.8	木版・紙	52001275

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-961	平塚運一	〔装画〕(『詩と版画』3所収)	1923	26.0×38.2	木版・紙	52001275
2-E-962	川上澄生	クイン(『HANGA』1所収)	1924	11.6×10.7	木版・紙	52001276
2-E-963	川西 英	軽業(『HANGA』1所収)	1924	8.2×18.0	木版・紙	52001276
2-E-964	平塚運一	夜の女(『HANGA』1所収)	1924	18.9×11.6	木版・紙	52001276
2-E-965	川上澄生	アラスカウナラスカ港 或る教会堂(『HANGA』1所収)	1924	16.7×11.6	木版・紙	52001276
2-E-966	深澤索一	冬の郊外(『HANGA』1所収)	1924	10.0×14.8	木版・紙	52001276
2-E-967	森山収二	冬日(『HANGA』1所収)	1924	10.8×16.1	木版・紙	52001276
2-E-968	渡邊 進	未枯(『HANGA』1所収)	1924	13.4×19.6	木版・紙	52001276
2-E-969	平川清蔵	失題(『HANGA』1所収)	1924	15.1×12.3	木版・紙	52001276
2-E-970	森山収二	カット(『HANGA』1所収)	1924	7.9×9.1	木版・紙	52001276
2-E-971	平塚運一	椿(『HANGA』2所収)	1924	7.6×12.0	木版・紙	52001277
2-E-972	石井鶴三	裸婦浴後(『HANGA』2所収)	1924	19.0×13.3	木版・紙	52001277
2-E-973	河合卯之助	草大王(『HANGA』2所収)	1924	18.8×12.6	木版・紙	52001277
2-E-974	逸見 享	春近く(『HANGA』2所収)	1924	14.0×9.5	木版・紙	52001277
2-E-975	森谷利喜雄	入江(『HANGA』2所収)	1924	11.7×15.9	木版・紙	52001277
2-E-976	織田一磨	舞姫(『HANGA』2所収)	1924	16.6×10.7	木版・紙	52001277
2-E-977	北村今三	打出の近郊(『HANGA』2所収)	1924	8.8×14.7	木版・紙	52001277
2-E-978	山内神彦	瓶(『HANGA』2所収)	1924	18.9×12.5	木版・紙	52001277
2-E-979	小泉葵巳男	雪山(『HANGA』2所収)	1924	12.9×19.2	木版・紙	52001277
2-E-980	上坂 雅	復興の銀座街(『HANGA』2所収)	1924	10.7×15.3	木版・紙	52001277
2-E-981	春村たゝを	うす陽さす風景(『HANGA』2所収)	1924	11.0×15.4	木版・紙	52001277
2-E-982	深澤索一	土蔵のある風景(『HANGA』3所収)	1924	10.7×9.0	木版・紙	52001278
2-E-983	洪江終吉	無題(『HANGA』3所収)	1924	14.5×7.3	木版・紙	52001278
2-E-984	前川千帆	別府明礬温泉(『HANGA』3所収)	1924	17.9×13.1	木版・紙	52001278
2-E-985	平塚運一	北海道のある海岸(『HANGA』3所収)	1924	11.2×15.5	木版・紙	52001278
2-E-986	川上澄生	アラスカの雪景(『HANGA』3所収)	1924	12.2×17.7	木版・紙	52001278
2-E-987	萬 鐵五郎	ヴェールの人(『HANGA』3所収)	1924	17.3×12.6	木版・紙	52001278
2-E-988	大月文一	デキタリス(『HANGA』3所収)	1924	14.8×10.5	木版・紙	52001278
2-E-989	塚本しげる	反逆者(『HANGA』3所収)	1924	16.2×11.9	木版・紙	52001278
2-E-990	山口 進	八月の午後(『HANGA』3所収)	1924	10.5×14.2	木版・紙	52001278
2-E-991	深澤索一	去年切り開いた道(『HANGA』3所収)	1924	10.7×15.1	木版・紙	52001278
2-E-992	諏訪兼紀	加茂の杜(『HANGA』3所収)	1924	13.8×20.0	木版・紙	52001278
2-E-993	岩越二郎	おおぼこ(『HANGA』4所収)	1924	11.5×11.2	木版・紙	52001279
2-E-994	栗田 雄	曇り(『HANGA』4所収)	1924	11.6×16.7	木版・紙	52001279
2-E-995	川崎巨泉	肥後の木葉猿(『HANGA』4所収)	1924	15.2×8.6	木版・紙	52001279
2-E-996	藤木喜久磨	島の女(『HANGA』4所収)	1924	15.7×11.2	木版・紙	52001279
2-E-997	川上澄生	春ノ坂路(『HANGA』5所収)	1925	7.1×10.5	木版・紙	52001280
2-E-998	深澤索一	冬日(『HANGA』5所収)	1925	15.9×12.6	木版・紙	52001280
2-E-999	藤森静雄	窓(『HANGA』5所収)	1925	18.2×12.1	木版・紙	52001280
2-E-1000	川上澄生	賭博者(『HANGA』5所収)	1925	15.0×10.8	木版・紙	52001280
2-E-1001	川西英雄(川西 英)	南蛮曲(『HANGA』5所収)	1925	12.0×16.3	木版・紙	52001280
2-E-1002	平川清蔵	水道橋附近(『HANGA』5所収)	1925	18.4×12.8	木版・紙	52001280
2-E-1003	平塚運一	松江郊外(『HANGA』5所収)	1925	12.3×16.2	木版・紙	52001280
2-E-1004	恩地孝四郎	静物(『HANGA』5所収)	1925	18.2×12.1	木版・紙	52001280
2-E-1005	春村たゝを	風景(『HANGA』5所収)	1925	11.3×15.5	木版・紙	52001280
2-E-1006	川上澄生	樹下婦人之図(『HANGA』15所収)	1930	13.5×14.5	木版・紙	52001281
2-E-1007	亀井藤兵衛	手鏡の自画像(『HANGA』15所収)	1930	24.5×9.1	木版・紙	52001281
2-E-1008	畦地梅太郎	めざし(『HANGA』15所収)	1930	13.1×17.2	木版・紙	52001281
2-E-1009	菅藤霞仙	郊外風景(『HANGA』15所収)	1930	21.0×24.5	木版・紙	52001281
2-E-1010	平塚運一	きぬかずき(『HANGA』15所収)	1930	13.0×14.0	木版・紙	52001281
2-E-1011	小野爲郎	ざくろ(『HANGA』15所収)	1930	13.4×18.1	木版・紙	52001281
2-E-1012	小林清光	風景(『HANGA』15所収)	1930	11.4×14.5	木版・紙	52001281
2-E-1013	北村今三	牧落風景(『HANGA』15所収)	1930	14.0×17.5	木版・紙	52001281
2-E-1014	下山木鉢郎	江の嶋より(『HANGA』15所収)	1930	11.7×18.1	木版・紙	52001281
2-E-1015	清水孝一	風景(『HANGA』15所収)	1930	12.5×18.2	木版・紙	52001281
2-E-1016	川西 英	静物(『HANGA』16所収)	1930	20.5×15.2	木版・紙	52001281
2-E-1017	武田新太郎	ロケーションの図(『HANGA』16所収)	1930	15.2×20.9	木版・紙	52001282

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1018	棟方志功	群蝶 (『HANGA』16所収)	1930	10.0×15.0	木版・紙	52001282
2-E-1019	内田静馬	静物 (『HANGA』16所収)	1930	11.8×15.4	木版・紙	52001282
2-E-1020	浅野竹二	木場 (『HANGA』16所収)	1930	11.6×16.1	木版・紙	52001282
2-E-1021	川端彌之助	フランス風景 (『HANGA』16所収)	1930	14.2×17.5	木版・紙	52001282
2-E-1022	石崎重利	風景 (『HANGA』16所収)	1930	11.6×17.5	木版・紙	52001282
2-E-1023	兒玉 篁	巖頭波 (『HANGA』16所収)	1930	12.8×17.5	木版・紙	52001282
2-E-1024	小原 憲	蝶と女 (『HANGA』16所収)	1930	20.8×20.1	木版・紙	52001282
2-E-1025	前川千帆	なはとび (野外小品) (『HANGA』16所収)	1930	12.2×12.2	木版・紙	52001282
2-E-1026	前川千帆	林檎と娘 (『版芸術』創刊号所収)	1932	18.5×13.0	木版・紙	52001283
2-E-1027	恩地孝四郎	抒情 (私は信ずる) (『版芸術』創刊号所収)	1932	19.9×12.2	木版・紙	52001283
2-E-1028	石井鶴三	素人相撲 (『版芸術』創刊号所収)	1932	12.0×18.0	木版・紙	52001283
2-E-1029	川上澄生	山羊と狼 (『版芸術』創刊号所収)	1932	10.5×13.7	木版・紙	52001283
2-E-1030	平塚運一	世田ヶ谷旅團附近 (『版芸術』創刊号所収)	1932	12.0×19.0	木版・紙	52001283
2-E-1031	深澤索一	風景 (『版芸術』創刊号所収)	1932	10.5×15.8	木版・紙	52001283
2-E-1032	旭 正秀	礼拝 (『版芸術』創刊号所収)	1932	12.0×8.2	木版・紙	52001283
2-E-1033	中村 岳	机上小品 (『版芸術』創刊号所収)	1932	11.4×14.8	木版・紙	52001283
2-E-1034	杉山正義	菜園の少女 (『版芸術』創刊号所収)	1932	22.1×13.7	木版・紙	52001283
2-E-1035	武藤完一	別府温泉 (『版芸術』創刊号所収)	1932	13.6×13.4	木版・紙	52001283
2-E-1036	栗山 茂	大崩風景 (『版芸術』創刊号所収)	1932	11.5×17.3	木版・紙	52001283
2-E-1037	佃 政道	ニコライ聖堂 (『版芸術』創刊号所収)	1932	14.2×20.0	木版・紙	52001283
2-E-1038	小川龍彦	石段 (『版芸術』創刊号所収)	1932	14.4×19.6	木版・紙	52001283
2-E-1039	江南史朗	湊町風景 (『版芸術』創刊号所収)	1932	15.4×22.6	木版・紙	52001283
2-E-1040	初山 滋	習作 (『版芸術』創刊号所収)	1932	20.1×28.3	木版・紙	52001283
2-E-1041	平川清蔵	波止場 (『版芸術』創刊号所収)	1932	7.8×5.4	木版・紙	52001283
2-E-1042	棟方志功	花と少女 (『版芸術』2所収)	1932	10.5×15.0	木版・紙	52001284
2-E-1043	料治朝鳴 (料治熊太)	影 (『版芸術』2所収)	1932	11.2×11.8	木版・紙	52001284
2-E-1044	石井鶴三	雞芥子 (『版芸術』2所収)	1932	12.0×12.0	木版・紙	52001284
2-E-1045	前川千帆	客待ち馬車 (『版芸術』2所収)	1932	13.5×17.5	木版・紙	52001284
2-E-1046	川上澄生	静物 (『版芸術』2所収)	1932	24.4×16.8	木版・紙	52001284
2-E-1047	深澤索一	栗 (『版芸術』2所収)	1932	14.5×21.0	木版・紙	52001284
2-E-1048	平川清蔵	牛 (『版芸術』2所収)	1932	13.5×15.8	木版・紙	52001284
2-E-1049	諏訪兼紀	紫陽花 (『版芸術』2所収)	1932	16.7×12.0	木版・紙	52001284
2-E-1050	小川龍彦	少女 (『版芸術』2所収)	1932	15.4×10.9	木版・紙	52001284
2-E-1051	谷中安規	明治時代 (『版芸術』2所収)	1932	9.4×13.6	木版・紙	52001284
2-E-1052	江南史朗	手賀沼 (『版芸術』2所収)	1932	13.5×21.2	木版・紙	52001284
2-E-1053	佃 政道	小蒸汽船 (『版芸術』2所収)	1932	14.0×22.0	木版・紙	52001284
2-E-1054	藤森静雄	木兎 (『版芸術』2所収)	1932	10.7×14.4	木版・紙	52001284
2-E-1055	初山 滋	童踊 (『版芸術』2所収)	1932	16.2×12.7	木版・紙	52001284
2-E-1056	恩地孝四郎	「蒼い猿」カット原板 (『版芸術』2所収)	1932	15.9×22.0	木版・紙	52001284
2-E-1057	旭 正秀	伯林風景 (『版芸術』2所収)	1932	12.2×9.4	リノカット・紙	52001284
2-E-1058	大内青圃	除草 (『版芸術』3所収)	1932	22.3×20.2	木版・紙	52001285
2-E-1059	川上澄生	かまきり (『版芸術』3所収)	1932	15.3×10.6	木版・紙	52001285
2-E-1060	畦地梅太郎	人 (『版芸術』3所収)	1932	11.9×18.0	木版・紙	52001285
2-E-1061	諏訪兼紀	花つぶて (『版芸術』3所収)	1929	18.0×11.9	木版・紙	52001285
2-E-1062	諏訪兼紀	グルのモガ (『版芸術』3所収)	1929	15.6×10.8	木版・紙	52001285
2-E-1063	前川千帆	山うどの花 (『版芸術』3所収)	1932	9.3×12.1	木版・紙	52001285
2-E-1064	棟方志功	十和田・奥入瀬 (『版芸術』3所収)	1932	13.1×15.5	木版・紙	52001285
2-E-1065	旭 正秀	埃及幻想 (『版芸術』3所収)	1932	17.1×12.0	木版・紙	52001285
2-E-1066	廣川松五郎	ある表紙のために (『版芸術』3所収)	1932	15.6×16.2	木版・紙	52001285
2-E-1067	川西 英	ファウスト (『版芸術』3所収)	1932	13.7×18.4	木版・紙	52001285
2-E-1068	山口 進	中禅寺湖 (『版芸術』3所収)	1932	16.0×22.5	木版・紙	52001285
2-E-1069	谷中安規	朝鮮 (『版芸術』3所収)	1932	10.0×16.0	木版・紙	52001285
2-E-1070	佃 政道	上総・興津 (『版芸術』3所収)	1932	14.0×21.0	木版・紙	52001285
2-E-1071	料治朝鳴 (料治熊太)	採薬図 (『版芸術』3所収)	1932	16.0×23.8	木版・紙	52001285
2-E-1072	逸見 享	ひのみ (『版芸術』3所収)	1932	16.7×12.2	木版・紙	52001285
2-E-1073	恩地孝四郎	風刀試練 (『版芸術』3所収)	1932	14.3×20.0	木版・紙	52001285
2-E-1074	中田一男	蔵票 (『版芸術』3所収)	1929	7.5×5.4	木版・紙	52001285

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1075	大内青圃	水 (『版芸術』4所収)	1932	19.0×15.0	木版・紙	52001286
2-E-1076	深澤索一	築地風景 (『版芸術』4所収)	1932	11.0×15.6	木版・紙	52001286
2-E-1077	前川千帆	小品 (『版芸術』4所収)	1932	5.5×7.7	木版・紙	52001286
2-E-1078	前田藤四郎	裸婦 (『版芸術』4所収)	1932	19.5×9.3	木版・紙	52001286
2-E-1079	棟方志功	蝶々 (『版芸術』4所収)	1932	10.3×15.5	木版・紙	52001286
2-E-1080	中田一男	芍薬 (『版芸術』4所収)	1932	23.5×15.8	木版・紙	52001286
2-E-1081	平川清蔵	おつかひ (『版芸術』4所収)	1932	15.5×10.1	木版・紙	52001286
2-E-1082	料治朝鳴 (料治熊太)	くろこま (『版芸術』4所収)	1932	16.0×24.0	木版・紙	52001286
2-E-1083	川西 英	人形 (『版芸術』4所収)	1932	17.0×12.0	木版・紙	52001286
2-E-1084	小林朝治	枇杷 (『版芸術』4所収)	1932	20.0×13.0	木版・紙	52001286
2-E-1085	小川龍彦	白金風景 (『版芸術』4所収)	1932	15.5×12.1	木版・紙	52001286
2-E-1086	谷中安規	研究所にて (『版芸術』4所収)	1932	15.5×12.3	木版・紙	52001286
2-E-1087	小泉発己男	ハルピンの店 (『版芸術』4所収)	1932	17.2×24.3	木版・紙	52001286
2-E-1088	古川龍生	かまきり (『版芸術』4所収)	1932	6.0×16.0	木版・紙	52001286
2-E-1089	廣川松五郎	装画集 (その一) (『版芸術』4所収)	1932	23.0×13.5	木版・紙	52001286
2-E-1090	川上澄生	虫 (『版芸術』4所収)	1932	16.7×12.1	木版・紙	52001286
2-E-1091	佃 政道	大砲 (『版芸術』4所収)	1932	12.0×5.8	木版・紙	52001286
2-E-1092	大内青圃	山と水 (『版芸術』5所収)	1932	10.0×13.0	木版・紙	52001287
2-E-1093	恩地孝四郎	新膚 (『版芸術』5所収)	1932	22.0×14.6	木版・紙	52001287
2-E-1094	藤森静雄	静日 (『版芸術』5所収)	1932	9.6×13.5	木版・紙	52001287
2-E-1095	川上澄生	山中草原 (『版芸術』5所収)	1932	23.6×15.8	木版・紙	52001287
2-E-1096	中川伊作	地引網 (琉球糸満所見) (『版芸術』5所収)	1932	15.0×19.5	木版・紙	52001287
2-E-1097	北村今三	播州七曲風景 (『版芸術』5所収)	1932	11.7×11.2	木版・紙	52001287
2-E-1098	山口 進	連峰 (『版芸術』5所収)	1932	11.9×15.5	木版・紙	52001287
2-E-1099	大場千秋	水辺 (『版芸術』5所収)	1932	13.3×18.7	木版・紙	52001287
2-E-1100	棟方志功	山々 (『版芸術』5所収)	1932	10.0×14.2	木版・紙	52001287
2-E-1101	前田藤四郎	海 (『版芸術』5所収)	1932	11.3×15.5	木版・紙	52001287
2-E-1102	料治朝鳴 (料治熊太)	午後五時 (『版芸術』5所収)	1932	16.4×21.9	木版・紙	52001287
2-E-1103	中川雄太郎	海近き村 (『版芸術』5所収)	1932	15.7×20.2	木版・紙	52001287
2-E-1104	古川龍生	海水浴 (『版芸術』5所収)	1932	19.5×11.5	木版・紙	52001287
2-E-1105	根市良三	浅虫島頭岬 (『版芸術』5所収)	1932	15.5×22.2	木版・紙	52001287
2-E-1106	初山 滋	鳥賊群行 (『版芸術』5所収)	1932	24.9×18.8	木版・紙	52001287
2-E-1107	前川千帆	赤城山上 (『版芸術』5所収)	1932	14.1×19.5	木版・紙	52001287
2-E-1108	棟方志功	蔵票 (『版芸術』5所収)	1932	10.0×7.5	木版・紙	52001287
2-E-1109	料治朝鳴 (料治熊太)	新秋 (『版芸術』6所収)	1932	22.0×20.9	木版・紙	52001288
2-E-1110	棟方志功	蟹 (『版芸術』6所収)	1932	14.5×19.5	木版・紙	52001288
2-E-1111	奥田輝一郎	ダリア (『版芸術』6所収)	1932	16.1×11.7	木版・紙	52001288
2-E-1112	下山木鉢郎	十和田湖山中鏡沼 (『版芸術』6所収)	1932	11.6×18.0	木版・紙	52001288
2-E-1113	武藤完一	豊後臼杵湾 (『版芸術』6所収)	1932	7.5×10.5	木版・紙	52001288
2-E-1114	関野準一郎	旅役者の子 (『版芸術』6所収)	1932	15.6×11.0	木版・紙	52001288
2-E-1115	小林朝治	無花果 (『版芸術』6所収)	1932	11.9×18.4	木版・紙	52001288
2-E-1116	谷中安規	少年時代 (『版芸術』6所収)	1932	12.8×15.3	木版・紙	52001288
2-E-1117	料治朝鳴 (料治熊太)	洪団扇 (『版芸術』6所収)	1932	19.0×12.0	木版・紙	52001288
2-E-1118	川上澄生	風 (『版芸術』6所収)	1932	12.2×12.2	木版・紙	52001288
2-E-1119	畦地梅太郎	二人 (『版芸術』6所収)	1932	16.0×12.0	木版・紙	52001288
2-E-1120	中村 岳	霽日 (『版芸術』6所収)	1932	14.5×16.2	木版・紙	52001288
2-E-1121	谷中安規	カフェー (『版芸術』6所収)	1932	9.7×14.0	木版・紙	52001288
2-E-1122	古川龍生	大和薬師寺 (『版芸術』6所収)	1932	15.0×10.2	木版・紙	52001288
2-E-1123	小川龍彦	泉岳寺にて (『版芸術』6所収)	1932	14.0×15.7	木版・紙	52001288
2-E-1124	中田一男	西洋操人形 (『版芸術』6所収)	1932	23.0×12.0	木版・紙	52001288
2-E-1125	北澤収治	子供 (『版芸術』6所収)	1932	20.0×15.0	木版・紙	52001288
2-E-1126	網干利根	ハワイヤ樹下 (『版芸術』6所収)	1932	22.0×14.7	木版・紙	52001288
2-E-1127	料治朝鳴 (料治熊太)	カシラ三種 (『版芸術』6所収)	1932	18.0×21.0	木版・紙	52001288
2-E-1128	栗山 茂	海芋 (『版芸術』6所収)	1932	12.2×16.8	木版・紙	52001288
2-E-1129	中川雄太郎	龍南風景 (『版芸術』6所収)	1932	16.0×19.8	木版・紙	52001288
2-E-1130	小林松夫	秋近き日 (『版芸術』6所収)	1932	12.8×17.6	木版・紙	52001288
2-E-1131	杉山正義	残暑 (『版芸術』6所収)	1932	22.7×15.0	木版・紙	52001288

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1132	佃 政道	谷戸岬(『版芸術』6所収)	1932	12.6×18.6	木版・紙	52001288
2-E-1133	廣川松五郎	装画集(『版芸術』6所収)	1932	14.0×20.0	木版・紙	52001288
2-E-1134	大内青圃	装画(『版芸術』6所収)	1932	12.3×12.1	木版・紙	52001288
2-E-1135	前川千帆	表紙装画(『版芸術』7所収)	1932	15.3×15.0	木版・紙	52001289
2-E-1136	前川千帆	島(野外小品1)(『版芸術』7所収)	1928	12.5×12.4	木版・紙	52001289
2-E-1137	前川千帆	嵐(野外小品2)(『版芸術』7所収)	1932	12.5×12.5	木版・紙	52001289
2-E-1138	前川千帆	テニス(野外小品3)(『版芸術』7所収)	1932	12.7×12.7	木版・紙	52001289
2-E-1139	前川千帆	蝶(野外小品4)(『版芸術』7所収)	1932	12.6×12.5	木版・紙	52001289
2-E-1140	前川千帆	旗(野外小品5)(『版芸術』7所収)	1929	12.9×12.5	木版・紙	52001289
2-E-1141	前川千帆	パラソル(野外小品6)(『版芸術』7所収)	1932	13.0×12.8	木版・紙	52001289
2-E-1142	前川千帆	蜆屋座(野外小品7)(『版芸術』7所収)	1932	13.0×13.0	木版・紙	52001289
2-E-1143	前川千帆	犬(野外小品8)(『版芸術』7所収)	1932	13.2×13.0	木版・紙	52001289
2-E-1144	前川千帆	酒(野外小品9)(『版芸術』7所収)	1932	12.8×13.0	木版・紙	52001289
2-E-1145	前川千帆	毯(第二野外小品1)(『版芸術』7所収)	1929	12.5×12.1	木版・紙	52001289
2-E-1146	前川千帆	魚(第二野外小品2)(『版芸術』7所収)	1932	12.0×12.1	木版・紙	52001289
2-E-1147	前川千帆	海(第二野外小品3)(『版芸術』7所収)	1932	12.2×12.3	木版・紙	52001289
2-E-1148	前川千帆	憩ひ(第二野外小品4)(『版芸術』7所収)	1930	12.6×12.3	木版・紙	52001289
2-E-1149	前川千帆	長靴(第二野外小品5)(『版芸術』7所収)	1932	12.0×12.0	木版・紙	52001289
2-E-1150	前川千帆	池(第二野外小品6)(『版芸術』7所収)	1932	12.1×12.0	木版・紙	52001289
2-E-1151	前川千帆	風(第二野外小品7)(『版芸術』7所収)	1932	12.4×12.0	木版・紙	52001289
2-E-1152	前川千帆	縄とび(第二野外小品8)(『版芸術』7所収)	1932	12.1×12.2	木版・紙	52001289
2-E-1153	前川千帆	踊(第二野外小品9)(『版芸術』7所収)	1932	12.2×12.1	木版・紙	52001289
2-E-1154	前川千帆	ブランコ(第二野外小品10)(『版芸術』7所収)	1932	12.2×12.2	木版・紙	52001289
2-E-1155	前川千帆	葉(『版芸術』7所収)	1932	8.5×9.5	木版・紙	52001289
2-E-1156	谷中安規	影絵芝居の登場人物(『版芸術』8所収)	1932	13.8×20.0	木版・紙	52001290
2-E-1157	川上澄生	郵便脚夫(『版芸術』8所収)	1932	16.0×12.0	木版・紙	52001290
2-E-1158	棟方志功	扇、数々を増す(『版芸術』8所収)	1932	15.5×17.0	木版・紙	52001290
2-E-1159	深澤素一	浪花(『版芸術』8所収)	1932	12.5×12.5	木版・紙	52001290
2-E-1160	勝平得之	八郎潟湖畔風景(『版芸術』8所収)	1932	9.7×13.0	木版・紙	52001290
2-E-1161	前田政雄	赤城湖畔(『版芸術』8所収)	1932	11.5×14.7	木版・紙	52001290
2-E-1162	武藤完一	日田風景(『版芸術』8所収)	1932	16.4×11.0	木版・紙	52001290
2-E-1163	中田一男	ジャワの影絵人形(『版芸術』8所収)	1932	23.0×14.0	木版・紙	52001290
2-E-1164	谷中安規	影絵芝居(『版芸術』8所収)	1932	16.0×10.3	木版・紙	52001290
2-E-1165	谷中安規	影絵芝居第一景 死魔の花作り(『版芸術』8所収)	1932	10.2×16.6	木版・紙	52001290
2-E-1166	谷中安規	影絵芝居第二景 死魔の花。…いざなひ。(『版芸術』8所収)	1932	10.6×16.8	木版・紙	52001290
2-E-1167	谷中安規	影絵芝居第三景 死。…暗のいざなひ。(『版芸術』8所収)	1932	10.2×16.9	木版・紙	52001290
2-E-1168	谷中安規	影絵芝居第四景 構り。…墓。(『版芸術』8所収)	1932	9.8×16.4	木版・紙	52001290
2-E-1169	谷中安規	影絵芝居第五景 魔鳥のいざなひ。…花。(『版芸術』8所収)	1932	10.9×16.8	木版・紙	52001290
2-E-1170	谷中安規	影絵芝居第六景 世界の國。…情鬼。(『版芸術』8所収)	1932	11.5×16.7	木版・紙	52001290
2-E-1171	谷中安規	影絵芝居第七景 アトリエの夢。…鳥のいざなひ。(『版芸術』8所収)	1932	11.3×16.3	木版・紙	52001290
2-E-1172	谷中安規	影絵芝居第八景 いざなひ。…飛行。(『版芸術』8所収)	1932	10.9×16.5	木版・紙	52001290
2-E-1173	谷中安規	影絵芝居第九景 世界の國。…美樂土。(『版芸術』8所収)	1932	10.3×16.4	木版・紙	52001290
2-E-1174	谷中安規	影絵芝居第十景 情鬼の國。…邂逅。(『版芸術』8所収)	1932	11.1×17.0	木版・紙	52001290
2-E-1175	谷中安規	影絵芝居第十一景 人世間界へ。…飛行。(『版芸術』8所収)	1932	11.8×16.1	木版・紙	52001290
2-E-1176	谷中安規	影絵芝居第十二景 死魔の花。留守の悲劇。(『版芸術』8所収)	1932	10.4×17.0	木版・紙	52001290
2-E-1177	谷中安規	影絵芝居第十三景 征魔。…月。(『版芸術』8所収)	1932	11.3×16.7	木版・紙	52001290
2-E-1178	谷中安規	鬼のお祭(『版芸術』8所収)	1932	8.8×9.3	木版・紙	52001290
2-E-1179	初山 滋	戦争版画集 釣(『版芸術』16所収)	1933	21.5×15.0	木版・紙	52001291
2-E-1180	江南史朗	戦争版画集 雨の大手門(『版芸術』16所収)	1933	19.5×17.8	木版・紙	52001291
2-E-1181	谷中安規	戦争版画集 騎馬(『版芸術』16所収)	1933	13.8×18.9	木版・紙	52001291
2-E-1182	谷中安規	戦争版画集 探索(『版芸術』16所収)	1933	14.4×18.8	木版・紙	52001291
2-E-1183	谷中安規	戦争版画集 攻撃(『版芸術』16所収)	1933	14.2×18.7	木版・紙	52001291
2-E-1184	谷中安規	戦争版画集 川(『版芸術』16所収)	1933	13.8×18.7	木版・紙	52001291
2-E-1185	谷中安規	戦争版画集 烽火(『版芸術』16所収)	1933	14.2×19.6	木版・紙	52001291
2-E-1186	谷中安規	戦争版画集 接戦(『版芸術』16所収)	1933	14.1×19.4	木版・紙	52001291
2-E-1187	谷中安規	戦争版画集 雪(『版芸術』16所収)	1933	14.0×19.5	木版・紙	52001291
2-E-1188	谷中安規	戦争版画集 万歳(『版芸術』16所収)	1933	14.4×18.7	木版・紙	52001291

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1189	料治朝鳴(料治熊太)	戦争版画集 晩鶏(『版芸術』16所収)	1933	18.0×13.8	木版・紙	52001291
2-E-1190	料治朝鳴(料治熊太)	戦争版画集 偵察(『版芸術』16所収)	1933	11.5×18.5	木版・紙	52001291
2-E-1191	料治朝鳴(料治熊太)	戦争版画集 たまはこび(『版芸術』16所収)	1933	13.0×23.5	木版・紙	52001291
2-E-1192	料治朝鳴(料治熊太)	戦争版画集 遼安城攻撃(『版芸術』16所収)	1933	15.5×22.9	木版・紙	52001291
2-E-1193	料治朝鳴(料治熊太)	戦争版画集 ばんざい(『版芸術』16所収)	1933	15.0×23.0	木版・紙	52001291
2-E-1194	料治朝鳴(料治熊太)	戦争版画集 入城(『版芸術』16所収)	1933	22.5×15.2	木版・紙	52001291
2-E-1195	料治朝鳴(料治熊太)	戦争版画集 赤陽西に沈む時(『版芸術』16所収)	1933	13.6×20.0	木版・紙	52001292
2-E-1196	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 装画(『版芸術』31所収)	1934	19.3×20.5	木版・紙	52001292
2-E-1197	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 『詩歌』誌表紙装画(『版芸術』31所収)	1934	11.0×11.7	木版・紙	52001292
2-E-1198	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 『詩歌』カット三種(『版芸術』31所収)	1934	16.0×10.5	木版・紙	52001292
2-E-1199	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 童謡誌『乳の樹』表紙装画(『版芸術』31所収)	1934	11.0×13.5	木版・紙	52001292
2-E-1200	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 歌集『童顔』表紙装画(『版芸術』31所収)	1934	8.5×6.0	木版・紙	52001292
2-E-1201	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 煙は蛇に化しました(『版芸術』31所収)	1934	5.0×14.5	木版・紙	52001292
2-E-1202	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 むかし富士は煙をふいた(『版芸術』31所収)	1934	8.5×10.0	木版・紙	52001292
2-E-1203	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 蛙が煙をはきました(『版芸術』31所収)	1934	6.0×8.0	木版・紙	52001292
2-E-1204	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 くはえ煙草のハートのポイント(『版芸術』31所収)	1934	10.0×10.0	木版・紙	52001292
2-E-1205	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 煙はのぼっていったです(『版芸術』31所収)	1934	10.5×9.5	木版・紙	52001292
2-E-1206	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 唇はいやあかく(『版芸術』31所収)	1934	9.0×7.5	木版・紙	52001292
2-E-1207	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 けむりをにらむこと勿れ(『版芸術』31所収)	1934	11.5×8.0	木版・紙	52001292
2-E-1208	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 隙もる肌のいや白く(『版芸術』31所収)	1934	12.5×7.5	木版・紙	52001292
2-E-1209	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 煙草は人を金属と化す(『版芸術』31所収)	1934	4.5×6.0	木版・紙	52001292
2-E-1210	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 花匂ひ鼻かほる(『版芸術』31所収)	1934	8.5×7.0	木版・紙	52001292
2-E-1211	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 葉を喰む虫歯は？(『版芸術』31所収)	1934	7.0×5.5	木版・紙	52001292
2-E-1212	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 海へ(『版芸術』31所収)	1934	8.0×7.8	木版・紙	52001292
2-E-1213	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 波人を潜らす(『版芸術』31所収)	1934	6.5×17.0	木版・紙	52001292
2-E-1214	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 瀬をわたる稚魚は鋭く(『版芸術』31所収)	1934	6.0×10.0	木版・紙	52001292
2-E-1215	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 歯はいよよ鋭かれ(『版芸術』31所収)	1934	9.5×5.5	木版・紙	52001292
2-E-1216	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 煙に頭をひねる勿れ(『版芸術』31所収)	1934	14.5×7.0	木版・紙	52001292
2-E-1217	恩地孝四郎	恩地孝四郎小品版画集 装画(『版芸術』31所収)	1934	4.5×5.0	木版・紙	52001292
2-E-1218	小林朝治	牛鬼(『白と黒』33所収)	1934	14.0×12.3	木版・紙	52001293
2-E-1219	奥田輝一郎	宇治川風景(『白と黒』33所収)	1934	11.2×15.5	木版・紙	52001293
2-E-1220	小川龍彦	寺小屋(『白と黒』33所収)	1934	11.5×14.3	木版・紙	52001293
2-E-1221	川上澄生	造花の花(『白と黒』33所収)	1934	16.5×12.4	木版・紙	52001293
2-E-1222	料治朝鳴(料治熊太)	白と黒(『白と黒』33所収)	1934	10.7×20.1	木版・紙	52001293
2-E-1223	中川雄太郎	卓による男(『白と黒』33所収)	1934	12.0×19.3	木版・紙	52001293
2-E-1224	中井義彦	やもり(『白と黒』33所収)	1934	22.3×12.5	木版・紙	52001293
2-E-1225	棟方志功	馬走り競ふ(『白と黒』33所収)	1934	15.9×28.7	木版・紙	52001293
2-E-1226	谷中安規	夜(『白と黒』33所収)	1934	12.9×15.8	木版・紙	52001293

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1227	前川千帆	野外小品第三十九号三日月(『白と黒』33所収)	1933	12.3×12.0	木版・紙	52001293
2-E-1228	藤森静雄	静物(『白と黒』33所収)	1933	17.1×19.0	木版・紙	52001293
2-E-1229	栗山 茂	雑草(『白と黒』33所収)	1933	9.3×10.7	木版・紙	52001293
2-E-1230	江南史朗	東京小景(2)東京駅(『白と黒』33所収)	1933	12.1×17.3	木版・紙	52001293
2-E-1231	網干利根	南国の果物(『白と黒』33所収)	1933	16.3×21.5	木版・紙	52001293
2-E-1232	小林朝治	郷土風景句集芝宮の清雪(『白と黒』33所収)	1933	7.5×10.1	木版・紙	52001293
2-E-1233	平塚運一	島原風景(『白と黒』33所収)	1933	12.0×17.7	木版・紙	52001293
2-E-1234	小林朝治	桃栗三年(『白と黒』33所収)	1933	9.4×10.5	木版・紙	52001293
2-E-1235	奥田輝一(奥田輝一郎)	装画(『白と黒』34所収)	1933	15.2×11.5	木版・紙	52001294
2-E-1236	平塚運一	小島(『白と黒』34所収)	1933	9.1×14.2	木版・紙	52001294
2-E-1237	守 洞春	ゑんどうの花(『白と黒』34所収)	1933	16.0×10.5	木版・紙	52001294
2-E-1238	廣川松五郎	草(『白と黒』34所収)	1933	16.0×6.0	木版・紙	52001294
2-E-1239	奥田輝一郎	麦の穂(『白と黒』34所収)	1933	15.6×10.2	木版・紙	52001294
2-E-1240	前川千帆	蟲網(野外小品第三十)(『白と黒』34所収)	1933	12.1×12.1	木版・紙	52001294
2-E-1241	武田新太郎	白樺の花(『白と黒』34所収)	1933	14.5×10.0	木版・紙	52001294
2-E-1242	中川雄太郎	小品(『白と黒』34所収)	1933	10.5×15.9	木版・紙	52001294
2-E-1243	武藤完一	水郷白田(『白と黒』34所収)	1933	7.6×10.6	木版・紙	52001294
2-E-1244	江南史朗	千歳河岸(東京小景その三)(『白と黒』34所収)	1933	12.2×17.5	木版・紙	52001294
2-E-1245	小林朝治	冬の蠅(『白と黒』34所収)	1933	4.5×11.4	木版・紙	52001294
2-E-1246	谷中安規	怪 その1(『白と黒』34所収)	1933	7.4×9.6	木版・紙	52001294
2-E-1247	谷中安規	怪 その2(『白と黒』34所収)	1933	7.6×14.3	木版・紙	52001294
2-E-1248	料治朝鳴(料治熊太)	台所雑器(『白と黒』34所収)	1933	13.3×18.0	木版・紙	52001294
2-E-1249	料治朝鳴(料治熊太)	浅春佳味(『白と黒』34所収)	1933	12.2×16.8	木版・紙	52001294
2-E-1250	小川龍彦	静物(『白と黒』34所収)	1933	10.4×14.0	木版・紙	52001294
2-E-1251	奥田輝一(奥田輝一郎)	装画(『白と黒』34所収)	1933	8.0×6.4	木版・紙	52001294
2-E-1252	料治朝鳴(料治熊太)	支那紙面(『白と黒』35所収)	1933	19.0×12.8	木版・紙	52001295
2-E-1253	藤森静雄	芥子図(『白と黒』35所収)	1933	16.0×11.0	木版・紙	52001295
2-E-1254	料治朝鳴(料治熊太)	嬰兒(『白と黒』35所収)	1933	20.5×13.5	木版・紙	52001295
2-E-1255	谷中安規	春夜(『白と黒』35所収)	1933	10.5×14.9	木版・着色・紙	52001295
2-E-1256	江南史朗	聖橋(東京小景第四)(『白と黒』35所収)	1933	12.2×17.6	木版・紙	52001295
2-E-1257	小川龍彦	転居票(『白と黒』35所収)	1933	9.0×13.2	木版・紙	52001295
2-E-1258	小林朝治	招魂社(郷土風景句画集七)(『白と黒』35所収)	1933	7.7×10.2	木版・紙	52001295
2-E-1259	中川雄太郎	一隅(『白と黒』35所収)	1933	10.7×14.6	木版・紙	52001295
2-E-1260	守 洞春	ペンペン草(『白と黒』35所収)	1933	21.8×8.0	木版・紙	52001295
2-E-1261	網干利根	竹の花(『白と黒』35所収)	1933	21.0×5.0	木版・紙	52001295
2-E-1262	武藤完一	水の子灯台(『白と黒』35所収)	1933	7.5×10.6	木版・紙	52001295
2-E-1263	廣川松五郎	からす(『白と黒』35所収)	1933	4.0×13.2	木版・紙	52001295
2-E-1264	料治朝鳴(料治熊太)	おみやげ人形(『白と黒』35所収)	1933	16.5×16.7	木版・紙	52001295
2-E-1265	武藤完一	小品(『白と黒』35所収)	1933	5.5×5.5	木版・紙	52001295
2-E-1266	料治朝鳴(料治熊太)	大根の花(『白と黒』36所収)	1933	13.5×13.5	木版・紙	52001296
2-E-1267	奥田輝一郎	五月晴れ(『白と黒』36所収)	1933	14.2×19.0	木版・紙	52001296
2-E-1268	小川龍彦	覗く人々(『白と黒』36所収)	1933	12.0×17.0	木版・紙	52001296
2-E-1269	料治朝鳴(料治熊太)	筍と豆(『白と黒』36所収)	1933	13.1×18.6	木版・紙	52001296
2-E-1270	中川雄太郎	裸婦(『白と黒』36所収)	1933	24.0×15.3	木版・紙	52001296
2-E-1271	川邊 篤	莓(『白と黒』36所収)	1933	13.7×20.0	木版・紙	52001296
2-E-1272	水内平一郎	草(『白と黒』36所収)	1933	18.0×8.6	木版・紙	52001296
2-E-1273	守 洞春	焼趾(『白と黒』36所収)	1933	10.0×13.0	木版・紙	52001296
2-E-1274	小林朝治	河鍋曉斎挿絵(3)(『白と黒』36所収)	1933	10.3×7.4	木版・紙	52001296
2-E-1275	谷中安規	無題(『白と黒』36所収)	1933	7.7×8.4	木版・紙	52001296
2-E-1276	森久吉三	学童版画集(『白と黒』36所収)	1933	10.0×15.3	木版・紙	52001296
2-E-1277	石川孝治	学童版画集 網つくろひ(『白と黒』36所収)	1933	11.0×15.5	木版・紙	52001296
2-E-1278	間瀬 稔	学童版画集 遠足(『白と黒』36所収)	1933	15.0×9.0	木版・紙	52001296
2-E-1279	間瀬伸夫	学童版画集 漁夫(『白と黒』36所収)	1933	15.5×9.0	木版・紙	52001296
2-E-1280	石川義一	学童版画集 車ひき(『白と黒』36所収)	1933	10.0×13.0	木版・紙	52001296
2-E-1281	犬塚俊三	自画像(『白と黒』36所収)	1933	10.7×9.8	木版・紙	52001296
2-E-1282	谷中安規	髪模様(『白と黒』37所収)	1933	12.4×15.8	木版・紙	52001297
2-E-1283	平塚運一	かはせみ(『白と黒』37所収)	1933	12.2×11.0	木版・紙	52001297

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1284	武藤完一	雛絵馬(『白と黒』37所収)	1933	17.0×13.0	木版・紙	52001297
2-E-1285	奥田輝一郎	花(『白と黒』37所収)	1933	12.0×8.0	木版・紙	52001297
2-E-1286	川上澄生	無花果の若芽(『白と黒』37所収)	1933	8.5×5.0	木版・紙	52001297
2-E-1287	料治朝鳴(料治熊太)	ひるね(『白と黒』37所収)	1933	15.0×22.5	木版・紙	52001297
2-E-1288	中川伊作	琉球の女(『白と黒』37所収)	1933	12.0×9.0	木版・紙	52001297
2-E-1289	川邊 篤	箱根蘆の湖(『白と黒』37所収)	1933	10.5×12.5	木版・紙	52001297
2-E-1290	中川雄太郎	乳を呼ぶ(農村小景二)(『白と黒』37所収)	1933	14.1×12.5	木版・紙	52001297
2-E-1291	藤森静雄	すゝめの糸んどう(『白と黒』37所収)	1933	15.0×11.5	木版・紙	52001297
2-E-1292	小林朝治	鴉車(『白と黒』37所収)	1933	9.7×8.0	木版・紙	52001297
2-E-1293	深澤素一	顔(『白と黒』37所収)	1933	11.0×9.5	木版・紙	52001297
2-E-1294	水内平一郎	春草(『白と黒』37所収)	1933	17.0×15.5	木版・紙	52001297
2-E-1295	中田一男	道頓堀戒橋(『白と黒』37所収)	1933	7.5×7.4	木版・紙	52001297
2-E-1296	根市良三	白の練習作(一)(『白と黒』37所収)	1933	15.0×9.5	木版・紙	52001297
2-E-1297	谷中安規	像(『白と黒』37所収)	1933	14.8×8.5	木版・紙	52001297
2-E-1298	小川龍彦	どくだみ(『白と黒』37所収)	1933	13.0×11.0	木版・紙	52001297
2-E-1299	廣川松五郎	模様(『白と黒』第37所収)	1933	13.5×2.0	木版・紙	52001297
2-E-1300	武藤完一	少女(『白と黒』38所収)	1933	14.0×14.0	木版・紙	52001298
2-E-1301	川上澄生	風景(『白と黒』38所収)	1933	8.8×5.5	木版・紙	52001298
2-E-1302	藤森静雄	童話の挿絵より(『白と黒』38所収)	1933	10.9×14.5	木版・紙	52001298
2-E-1303	料治朝鳴(料治熊太)	黄服の童女(『白と黒』38所収)	1933	17.0×15.0	木版・紙	52001298
2-E-1304	武藤完一	森の中(『白と黒』38所収)	1933	6.6×9.0	木版・紙	52001298
2-E-1305	守 洞春	猫(『白と黒』38所収)	1933	11.4×17.9	木版・紙	52001298
2-E-1306	中田一男	海水浴(『白と黒』38所収)	1933	15.0×9.1	木版・紙	52001298
2-E-1307	松下千春	けら(『白と黒』38所収)	1933	7.0×9.0	木版・紙	52001298
2-E-1308	中川雄太郎	農村小景第三(『白と黒』38所収)	1933	15.0×13.5	木版・紙	52001298
2-E-1309	丸山要一	裏通り(『白と黒』38所収)	1933	19.0×11.8	木版・紙	52001298
2-E-1310	水内平一郎	蕾(『白と黒』38所収)	1933	直径11.2	木版・紙	52001298
2-E-1311	小林朝治	愛子出生通知(『白と黒』38所収)	1933	9.5×9.0	木版・紙	52001298
2-E-1312	谷中安規	貫く芽(『白と黒』38所収)	1933	17.0×15.0	木版・紙	52001298
2-E-1313	廣川松五郎	装幀(『白と黒』38所収)	1933	13.5×3.5	木版・紙	52001298
2-E-1314	料治朝鳴(料治熊太)	穂のある草(『白と黒』39所収)	1933	16.5×12.1	木版・紙	52001299
2-E-1315	河邊 篤	採種(『白と黒』39所収)	1933	14.3×20.6	木版・紙	52001299
2-E-1316	料治朝鳴(料治熊太)	童女(『白と黒』39所収)	1933	18.2×21.1	木版・紙	52001299
2-E-1317	安藝蜻一	仮面の踊(『白と黒』39所収)	1933	12.4×10.4	木版・紙	52001299
2-E-1318	中川伊作	網引き(『白と黒』39所収)	1933	14.5×19.5	木版・紙	52001299
2-E-1319	小川龍彦	樹(『白と黒』39所収)	1933	15.2×16.6	木版・紙	52001299
2-E-1320	奥田輝一郎	桃山風景(『白と黒』39所収)	1933	15.5×22.0	木版・紙	52001299
2-E-1321	守 洞春	ざくろ(『白と黒』39所収)	1933	10.9×10.6	木版・紙	52001299
2-E-1322	守 洞春	百日草(『白と黒』39所収)	1933	14.0×9.3	木版・紙	52001299
2-E-1323	中田一男	芍薬(『白と黒』39所収)	1933	18.0×12.0	木版・紙	52001299
2-E-1324	水内平一郎	風景(『白と黒』39所収)	1933	16.3×20.2	木版・紙	52001299
2-E-1325	谷中安規	小品(『白と黒』39所収)	1933	9.5×6.8	木版・紙	52001299
2-E-1326	小林朝治	龍ヶ池五景の内(1)(『白と黒』39所収)	1933	7.6×10.2	木版・紙	52001299
2-E-1327	廣川松五郎	紋様(『白と黒』39所収)	1933	24.5×3.5	木版・紙	52001299
2-E-1328	料治朝鳴(料治熊太)	鬼灯(『白と黒』39所収)	1933	9.0×6.5	木版・紙	52001299
2-E-1329	小川龍彦	天神(『白と黒』45所収)	1933	14.5×12.3	木版・紙	52001300
2-E-1330	前川千帆	乳(野外小品第四十)(『白と黒』45所収)	1933	12.3×12.3	木版・紙	52001300
2-E-1331	料治朝鳴(料治熊太)	彩廟(慶州風景その一)(『白と黒』45所収)	1933	14.7×20.4	木版・紙	52001300
2-E-1332	中田一男	おばけ(大阪風俗節分仮装)(『白と黒』45所収)	1933	10.5×8.0	木版・紙	52001300
2-E-1333	小林朝治	折鶴(『白と黒』45所収)	1933	9.0×10.5	木版・紙	52001300
2-E-1334	廣川松五郎	梅(『白と黒』45所収)	1933	4.8×19.0	木版・紙	52001300
2-E-1335	谷中安規	舞踊(『白と黒』45所収)	1933	9.0×14.7	木版・紙	52001300
2-E-1336	河邊 篤	なんばんきび(『白と黒』45所収)	1933	10.5×14.8	木版・紙	52001300
2-E-1337	中川雄太郎	軽業の中にて(『白と黒』45所収)	1933	11.0×16.2	木版・紙	52001300
2-E-1338	網干利根	南国のぼら(『白と黒』45所収)	1933	9.5×13.0	木版・紙	52001300
2-E-1339	西島 亮	小品(『白と黒』45所収)	1933	6.4×6.8	木版・紙	52001300
2-E-1340	武藤完一	龍形矢立(『白と黒』45所収)	1933	6.0×17.5	木版・紙	52001300

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1341	奥田輝一郎	花(『白と黒』45所収)	1934	14.5×9.0	木版・紙	52001300
2-E-1342	中田一男	風景(『白と黒』45所収)	1934	7.5×7.4	木版・紙	52001300
2-E-1343	勝平得之	秋田風俗四季(『白と黒』47所収)	1934	14.7×13.0	木版・紙	52001301
2-E-1344	谷中安規	無題(『白と黒』47所収)	1934	11.2×14.4	木版・紙	52001301
2-E-1345	料治朝鳴(料治熊太)	愛児(『白と黒』47所収)	1934	11.5×17.0	木版・紙	52001301
2-E-1346	中田一男	大坂神農祭の虎(『白と黒』47所収)	1934	13.5×9.0	木版・紙	52001301
2-E-1347	小林朝治	富山の獅子頭(『白と黒』47所収)	1934	10.0×7.0	木版・紙	52001301
2-E-1348	藤本東一郎	慈姑(『白と黒』47所収)	1934	12.0×14.5	木版・紙	52001301
2-E-1349	関野準一郎	無題(『白と黒』47所収)	1934	15.0×12.0	木版・紙	52001301
2-E-1350	月岡忍光	セラニウム(『白と黒』47所収)	1934	14.0×9.0	木版・紙	52001301
2-E-1351	奥田輝一郎	つほみ(『白と黒』47所収)	1934	14.5×8.2	木版・紙	52001301
2-E-1352	武藤完一	豊後国分寺金銅仏(『白と黒』47所収)	1934	10.6×7.5	木版・紙	52001301
2-E-1353	中川雄太郎	静物(『白と黒』47所収)	1934	9.9×18.0	木版・紙	52001301
2-E-1354	中田一男	蔵書票(『白と黒』47所収)	1934	6.8×5.3	木版・紙	52001301
2-E-1355	中田一男	大坂あねさま(『白と黒』50所収)	1934	13.0×6.0	木版・紙	52001302
2-E-1356	前川千帆	水(野外小品第四十七)(『白と黒』50所収)	1934	12.0×12.3	木版・紙	52001302
2-E-1357	川上澄生	小品(『白と黒』50所収)	1934	11.0×7.5	木版・紙	52001302
2-E-1358	武藤完一	風景(『白と黒』50所収)	1934	9.5×17.0	木版・紙	52001302
2-E-1359	奥田輝一郎	花(『白と黒』50所収)	1934	17.0×12.5	木版・紙	52001302
2-E-1360	中川雄太郎	蔬菜(『白と黒』50所収)	1934	13.7×16.9	木版・紙	52001302
2-E-1361	小林朝治	風景(『白と黒』50所収)	1934	7.2×9.6	木版・紙	52001302
2-E-1362	月岡忍光	あざみ(『白と黒』50所収)	1934	24.0×15.0	木版・紙	52001302
2-E-1363	中田一男	うり・なす(『白と黒』50所収)	1934	5.2×6.0	木版・紙	52001302
2-E-1364	谷中安規	小品(『白と黒』50所収)	1934	4.6×6.1	木版・紙	52001302
2-E-1365	谷中安規	小品(『白と黒』50所収)	1934	9.5×10.5	木版・紙	52001302
2-E-1366	谷中安規	小品(『白と黒』50所収)	1934	4.6×6.5	木版・紙	52001302
2-E-1367	料治朝鳴(料治熊太)	現世(『白と黒』50所収)	1934	12.2×15.0	木版・紙	52001302
2-E-1368	料治朝鳴(料治熊太)	猫地藏護符(『白と黒』50所収)	1934	24.2×8.2	木版・紙	52001302
2-E-1369	料治朝鳴(料治熊太)	大島にて(『白と黒』再刊2所収)	1935	16.0×11.0	木版・紙	52001303
2-E-1370	胡 其藻	収穫(『白と黒』再刊2所収)	1935	10.6×12.7	木版・紙	52001303
2-E-1371	武井武雄	人形(『白と黒』再刊2所収)	1935	6.9×5.7	エッチング・紙	52001303
2-E-1372	恩地孝四郎	人貌・男(『白と黒』再刊2所収)	1935	19.5×15.5	木版・紙	52001303
2-E-1373	中川雄太郎	雨の庭(『白と黒』再刊2所収)	1935	12.0×16.5	木版・紙	52001303
2-E-1374	江南史朗	墨田公園(『白と黒』再刊2所収)	1935	12.4×17.7	木版・紙	52001303
2-E-1375	奥田輝一郎	チューリップ(『白と黒』再刊2所収)	1935	16.0×6.0	木版・紙	52001303
2-E-1376	川上澄生	静物(『白と黒』再刊2所収)	1935	11.0×11.7	木版・紙	52001303
2-E-1377	谷中安規	走虎(『白と黒』再刊2所収)	1935	8.4×13.9	木版・紙	52001303
2-E-1378	初山 滋	顔(『白と黒』再刊2所収)	1935	12.0×17.0	木版・紙	52001303
2-E-1379	棟方志功	万葉譜・野火(『白と黒』再刊2所収)	1935	16.0×16.0	木版・紙	52001303
2-E-1380	藤森静雄	静物(『白と黒』再刊3所収)	1935	6.6×6.6	木版・紙	52001304
2-E-1381	頼 少麒	小品(『白と黒』再刊3所収)	1935	8.8×13.0	木版・紙	52001304
2-E-1382	前川千帆	蝦夷菊(『白と黒』再刊3所収)	1935	15.0×9.0	木版・紙	52001304
2-E-1383	藤本東一郎	外房風景(『白と黒』再刊3所収)	1935	13.0×18.7	木版・紙	52001304
2-E-1384	料治朝鳴(料治熊太)	絵を画く子供(『白と黒』再刊3所収)	1935	14.6×9.4	木版・紙	52001304
2-E-1385	武藤完一	白杵風景(『白と黒』再刊3所収)	1935	6.5×8.2	木版・紙	52001304
2-E-1386	小林朝治	蔵書票(『白と黒』再刊3所収)	1935	7.5×5.8	木版・紙	52001304
2-E-1387	棟方志功	萬葉譜・雌雄飛ぶ(『白と黒』再刊3所収)	1935	16.0×16.0	木版・紙	52001304
2-E-1388	江南史朗	芝浦風景(『白と黒』再刊3所収)	1935	9.1×12.2	木版・紙	52001304
2-E-1389	川上澄生	泰西人物(『白と黒』再刊第3所収)	1935	18.5×9.0	木版・紙	52001304
2-E-1390	谷中安規	蕎麦票(『白と黒』再刊3所収)	1935	11.3×14.8	木版・紙	52001304
2-E-1391	料治眞弓	童女(『白と黒』再刊4所収)	1935	14.0×12.2	木版・紙	52001305
2-E-1392	李 樺	女孫(『白と黒』再刊4所収)	1935	15.0×11.5	木版・紙	52001305
2-E-1393	棟方志功	眞野雨(『白と黒』再刊4所収)	1935	12.0×11.0	木版・紙	52001305
2-E-1394	初山 滋	奏楽(『白と黒』再刊4所収)	1935	14.0×11.3	木版・紙	52001305
2-E-1395	川上澄生	猫の町(『白と黒』再刊4所収)	1935	6.5×8.8	木版・紙	52001305
2-E-1396	谷中安規	日永(『白と黒』再刊4所収)	1935	20.8×12.3	木版・紙	52001305
2-E-1397	小林朝治	装画(『白と黒』再刊4所収)	1935	21.0×15.0	木版・紙	52001305

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-E-1398	守 洞春	花売り婆(『白と黒』再刊4所収)	1935	14.0×9.5	木版・紙	52001305
2-E-1399	藤本東一良	さんま(『白と黒』再刊4所収)	1935	15.5×20.5	木版・紙	52001305
2-E-1400	料治朝鳴(料治熊太)	乳(『白と黒』再刊4所収)	1935	18.0×12.0	木版・紙	52001305
2-E-1401	廣川松五郎	カット(『白と黒』再刊4所収)	1935	16.9×8.3	木版・紙	52001305
2-E-1402	棟方志功	猛鳥(『白と黒』〔第3次〕1-1所収)	1937	14.0×11.5	木版・紙	52001306
2-E-1403	初山 滋	かうくわん(『白と黒』〔第3次〕1-1所収)	1937	19.7×13.0	木版・紙	52001306
2-E-1404	平塚運一	土城里(楽浪郡治址)(『白と黒』〔第3次〕1-1所収)	1937	10.0×17.5	木版・紙	52001306
2-E-1405	藤森静雄	台湾民屋(『白と黒』〔第3次〕1-1所収)	1937	18.1×12.3	木版・紙	52001306
2-E-1406	川上澄生	静物(『白と黒』〔第3次〕1-1所収)	1937	8.0×14.0	木版・紙	52001306
2-E-1407	前川千帆	たんばぼ(『白と黒』〔第3次〕1-1所収)	1937	13.0×7.0	木版・紙	52001306
2-E-1408	谷中安規	無題(『白と黒』〔第3次〕1-1所収)	1937	16.0×11.5	木版・紙	52001306
2-E-1409	料治朝鳴(料治熊太)	猫(『白と黒』〔第3次〕1-1所収)	1937	4.7×5.6	木版・紙	52001306
2-E-1410	棟方志功	河囃(『白と黒』〔第3次〕1-4所収)	1937	13.3×15.5	木版・紙	52001307
2-E-1411	前川千帆	温泉(『白と黒』〔第3次〕1-4所収)	1937	13.7×13.0	木版・紙	52001307
2-E-1412	山口 進	雨の日(『白と黒』〔第3次〕1-4所収)	1937	18.0×11.5	木版・紙	52001307
2-E-1413	畦地梅太郎	麓(『白と黒』〔第3次〕1-4所収)	1937	12.3×15.5	木版・紙	52001307
2-E-1414	川西 英	洋灯(『白と黒』〔第3次〕1-4所収)	1937	13.6×8.8	木版・紙	52001307
2-E-1415	谷中安規	おうち(『白と黒』〔第3次〕1-4所収)	1937	11.5×13.4	木版・紙	52001307
2-E-1416	恩地孝四郎	蝶(『白と黒』〔第3次〕1-4所収)	1937	12.0×20.3	木版・紙	52001307
2-E-1417	谷中安規	無題(『白と黒』〔第3次〕1-4所収)	1937	5.9×10.6	木版・紙	52001307

日本作家 写真

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-F-395	やなぎみわ	The White Casket (4点組)	1994	各90.4×77.4	ダイレクトプリント	52001308
2-F-396	やなぎみわ	アクアジェンヌ・イン・パラダイス II (3点組)	1995	各200.3×100.3	ダイレクトプリント	52001309
2-F-397	やなぎみわ	Information City 泉の庭／光の庭／エレベーター	1995	(泉の庭)179.4×344.8 (光の庭)179.8×223.4 (エレベーター)179.5×344.7	ダイレクトプリント	52001310
2-F-398	やなぎみわ	Eternal City I	1998	179.5×359.4	ダイレクトプリント	52015989

日本作家 彫刻等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
2-G-26	草間彌生	夏 1	1985	169.5×116.0×110.0	布、アクリル、糸、金属、 プラスチック	52001312
2-G-27	草間彌生	夏 2	1985	167.5×84.0×115.0	布、アクリル、糸、金属、 プラスチック	52001313

海外作家 油彩等

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
3-A-407	ジョルジュ・ルオー	圧搾器でぶどうはつぶされた(ミセレーレ)	1939	50.0×65.1	油彩・画布	52007646
3-A-408	アントニ・タビエス	作品 XXVIII	1955	194.5×129.7	油彩他・画布	52000346

海外作家 版画

所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備品受入番号
3-E-652	マックス・ベックマン	呼び込み(自画像)(年の市 I)	1922	33.6×25.8	ドライポイント・紙	52001273
3-E-653	マックス・ベックマン	楽屋(年の市 II)	1922	20.7×14.4	ドライポイント・紙	52001273
3-E-654	マックス・ベックマン	舞台裏(年の市 III)	1922	21.0×30.8	ドライポイント・紙	52001273
3-E-655	マックス・ベックマン	射的場(年の市 IV)	1922	32.1×24.8	ドライポイント・紙	52001273
3-E-656	マックス・ベックマン	大男(年の市 V)	1922	30.9×20.7	ドライポイント・紙	52001273
3-E-657	マックス・ベックマン	黒人(年の市 VI)	1922	28.8×26.0	ドライポイント・紙	52001273
3-E-658	マックス・ベックマン	メリー・ゴーランド(年の市 VII)	1922	28.9×25.7	ドライポイント・紙	52001273
3-E-659	マックス・ベックマン	網渡り師(年の市 VIII)	1922	25.8×25.5	ドライポイント・紙	52001273
3-E-660	マックス・ベックマン	黒人のダンス(年の市 IX)	1922	26.0×25.4	ドライポイント・紙	52001273
3-E-661	マックス・ベックマン	蛇女(年の市 X)	1922	29.1×25.4	ドライポイント・紙	52001273
3-E-662	ケーテ・コルヴィッツ	鋤をひく人(農民戦争 1)	1906	30.7×44.0	エッチング、アクアチント・紙	52001274

■寄贈

郷土作家 油彩等						
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-A-496	木下邦子	自画像	不詳	27.0×21.4	油彩・板	52015935
1-A-500	藤森静雄	[自画像]	1915	60.5×45.8	油彩・画布	52015936
1-A-501	藤森静雄	[女性像]	不詳	62.0×61.5	油彩・画布	52015937
1-A-502	藤森静雄	[幼児像]	不詳	33.2×23.8	油彩・板	52015938
1-A-503	藤森静雄	[宮司像]	不詳	53.2×45.5	油彩・画布	52015939
1-A-505	舟木富治	ピンク・ポップ・ノミ(B)	1968	161.8×130.5	油彩、ペンキ・画布	52015940
1-A-506	舟木富治	真夏の夜の夢(B)	1993	162.4×129.9	油彩・画布	52015941
1-A-507	松本英一郎	平均的肥満体No.5	1966	162.2×130.6	油彩・画布	52015942
1-A-508	松本英一郎	さくら 90-10	1990	194.6×259.2	油彩・画布	52015943
1-A-511	村島定児	うし	1962	65.9×91.4	油彩、土、藁ひも、押しピン・板	52015945
1-A-512	村島定児	黒の試作・こわれた水車	1996	112.3×145.8	油彩・画布	52015944

郷土作家 素描						
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-D-355	小早川 清	[スケッチブック]	不詳	15.7×18.8	鉛筆、淡彩・紙	52015946

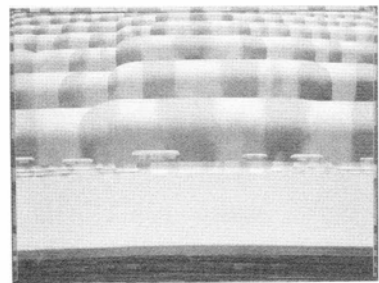
郷土作家 その他						
所蔵品番号	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備品受入番号
1-K-409	藤森静雄	第一号 金蓮花のつゆ(日記)	1908	23.0×15.5	墨、淡彩・紙	52015947
1-K-410	藤森静雄	第貳号 梅の一輪(日記)	1908	23.0×15.5	墨、淡彩・紙	52015948
1-K-411	藤森静雄	第四月号 汽笛の響き(日記)	1908	23.0×15.5	墨、淡彩・紙	52015949



やなぎみわ
[The White Casket] (部分) 1994年



マックス・ベックマン
[呼び込み(自画像) (年の市)] 1922年



松本英一郎[さくら 90-10] 1990年

古美術

■購入

黒田資料 絵画

所蔵品番号	作品名	作者名	時代	法量 (cm)	品質	備品受入番号
4-B-3	花鳥図	呂紀	明時代	171.3×102.4	絹本着色	52011683
4-B-22	隅田川図	狩野雅信	江戸時代	91.6×29.9	絹本着色	52011686
4-B-100	旭日翔鶴図屏風	原在照	江戸時代	107.6×37.4(各面)	絹本墨面淡彩	52011688
4-B-193	郡牛図	伝・戴澤	室町時代	33.8×75.0	絹本墨画	52011687
4-B-196	百鳥図	作者不詳	室町時代	180.2×156.2	絹本着色	52011685
4-B-197	紅夢白鷺図	伝・辺文進	明時代	98.6×49.0	絹本着色	52011684

黒田資料 染織

所蔵品番号	作品名	時代	法量 (cm)	品質	備品受入番号
4-Hd-180	着背長(小札の陣羽織)	桃山時代	桁26.5 丈95.0	絹、皮製、漆塗	52011690
4-Hd-181	金襴軍袍(亀甲地文牡丹唐草金襴)	桃山時代	丈98.6 桁69.0	絹製、錦織	52011689
4-Hd-184	永楽通宝の陣羽織	桃山時代	丈80.0 桁61.0	鹿皮製	52011694
4-Hd-185	軍旗(永楽通宝)	桃山時代	白旗225.0×44.5、 白黒旗595.0×42.0、 永楽通宝大旗385.0×115.0、 白黒大旗410.0×110.0	絹製	52011697
4-Hd-204	赤地雲龍文様錦袴	桃山時代	丈76.4 腰幅47.0	絹製、錦織	52011696
4-Hd-205	紺緞子地牡丹鳳凰文様袴	桃山時代	丈92.0 腰幅29.0	絹製、緞子	52011698
4-Hd-206	藍地牡丹文様錦袴	桃山時代	丈73.5 腰幅37.0	絹製、錦織	52011695
4-Hd-207	単衣 御所解文様(水辺春景)	江戸時代	丈166.0 桁61.5	浅葱緞地/染・織	52011691
4-Hd-208	単衣 御所解文様(藤と菊牡丹に扇)	江戸時代	丈165.5 桁61.5	白緞緞地/染・織	52011692
4-Hd-209	帷子 御所解文様(庵柴垣に松菊桜)	江戸時代	丈164.3 桁60.3	白麻地/織・描絵	52011693

一般古美術資料 絵画

所蔵品番号	作品名	作者名	時代	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-B-28	異代同戯図巻	狩野昌運	江戸時代	28.6×1334.8	紙本着色	52003742

一般古美術資料 陶磁器

所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量 (cm)	品質	備品受入番号
14-Ha-122	八代三島手筒茶碗	八代焼	江戸時代	高さ10.2 口径9.8 高台径4.5	陶器	52003751
14-Ha-123	上野三彩釉焼口耳付水指 共蓋	上野焼血山本窯	江戸時代	高さ15.3 胴径18.1 底径10.5	陶器	52003750
14-Ha-125	重ね掛け綴目水指	高取焼 内ヶ磯窯	江戸時代初期	高さ16.7 口径21.8	陶器	52003743
14-Ha-127	褐釉花瓶耳付茶入	高取焼 白旗山窯	江戸時代前期	高さ7.3 口径4.5 胴径5.2	陶器	52003744
14-Ha-128	焼締矢筈口水指	上野焼 釜ノ口窯	江戸時代前期	高さ16.7 径21.2 底径16.8	陶器	52003745
14-Ha-129	色絵牡丹芝垣文鉢	有田焼 柿右衛門様式	江戸時代中期	高さ7.6 最大径19.5 高台径10.2	磁器	52003746
14-Ha-131	刷毛目地芦白薑文向付	現川焼	江戸時代中期	最大径14.8 高さ5.6 高台径6.3	陶器	52003747
14-Ha-132	白現川薄文舟形向付	現川焼	江戸時代中期	最大径15.5 高さ4.1 高台径6.1	陶器	52003748
14-Ha-134	染付松竹梅桃文水注	須恵焼	江戸時代末期	総高20.6 胴径14.6 高台径8.7	磁器	52003749

一般古美術資料 染織						
所蔵品番号	作品名	産地	時代	法量(cm)	品質	備品受入番号
14-Hd-280	花入菱格子文様紋	カンボジア南部	20世紀初頭	77.5×192	絹	52003752
14-Hd-281	草花幾何学文様紋	カンボジア南部	20世紀初頭	77.5×125	絹	52003753
14-Hd-282	八角星草花幾何学文様紋	カンボジア南部	20世紀初頭	73×116	絹	52003754
14-Hd-283	花幾何学文様紋	カンボジア南部	20世紀初頭	86.5×174	絹	52003755
14-Hd-284	菱格子文様紋	カンボジア南部	20世紀初頭	76×83	絹	52003756

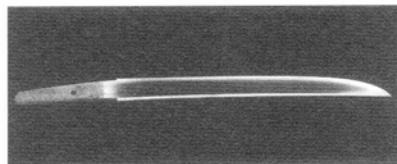
■寄贈

一般古美術資料 漆工						
所蔵品番号	作品名	時代	法量(cm)	品質	備品受入番号	
14-Hb-42	蒔絵三葉葵文手拭掛	江戸時代	高さ59.7 幅56.1 奥行き23.8	木胎漆塗	52015950	

一般古美術資料 刀剣						
所蔵品番号	作品名	作者名	時代	法量(cm)	品質	備品受入番号
14-He-8	短刀	藤原忠広(二代)	江戸時代	刃長29.1 反り0.3 総長40.8	鉄(鍛造)	52015951
14-He-9	薙刀		江戸時代	刃長37.3 反り1.6 総長48.0	鉄(鍛造)	52015952



「八角星草花幾何学文様紋」カンボジア 20世紀初頭



「短刀」藤原忠広(二代) 江戸時代



「異代同戯図巻」(部分) 狩野昌運 江戸時代

図書関係受入状況

		和書	洋書
購入	図書	211	85
	図録	9	37
	年報・紀要	1	0
寄贈	図書	113	144
	図録	553	17
	年報・紀要	268	4
	製本資料	0	0
	雑誌	663	327
合計		1,818	614
総計		2,432	

単位(冊)

ビデオ関係受入状況

購入	ビデオ	0
	レーザーディスク	0
	コンパクトディスク	0
	マイクロフィルム	2
寄贈	ビデオ	1
	レーザーディスク	0
	コンパクトディスク	0
	マイクロフィルム	0
合計		3

単位(点)

美術資料の修復

近現代美術							
種別	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	数量	所蔵品番号
油彩	田中敦子	作品 1	1959	223.0×178.9	ビニール塗料・布	1点	2-A-80
	エンリコ・カステラーニ	白い表面	1975	180.3×270.5	アクリル・画布、釘	1点	3-A-29
日本画	富田溪仙	嵐峡晴雨図	1924	130.4×36.2	絹本着色	1幅	1-B-110
	吉村忠夫	龍女	1929	216.3×112.3	絹本着色	1面	1-B-194
	吉村忠夫	和光薫風	1930	200.9×169.5	絹本着色	1幅	1-B-195
彫刻	ルイーズ・ネヴェルソン	無題	1964	261.4×262.9×20.4	着彩・木	1点	3-G-38

古美術

種別	作品名	作者名・産地	時代	法量 (cm)	素材・技法	数量	所蔵品番号
絵画	文昌星図	狩野洞春	江戸時代	112.8×49.8	絹本着色	1幅	4-B-174
	柳図	尾形乾山	江戸時代	23.8×12.6	絹本墨画淡彩	1幅	6-B-38
	唐美人	狩野常信	江戸時代	93.7×37.4	絹本着色	1幅	7-B-93
書跡	和歌巻切	本阿弥光悦	江戸時代	32.6×78.7	紙本墨書	1幅	6-I-25
染織	寺院鳥獣文様緯緋	カンボジア	19世紀	91.0×145.0	絹	1点	14-Hd-227
	花入菱格子文様紋	カンボジア南部	20世紀初頭	77.5×192	絹	1点	14-Hd-280
	八角星草花幾何学文様紋	カンボジア南部	20世紀初頭	73×116	絹	1点	14-Hd-282
	矢羽文様経緋幾何学文様緯糸紋織	インドネシア	19-20世紀	86.2×192.4	絹	1点	18-Hd-117
	幾何学文様緯緋緯糸紋織	インドネシア	19-20世紀	80.0×336.2	絹	1点	18-Hd-218
	幾何学文様緯緋緯糸紋織	インドネシア	19-20世紀	103.5×230.0	絹	1点	18-Hd-219
	幾何学文様緯緋緯糸紋織	インドネシア	19-20世紀	80.0×194.6	絹	1点	18-Hd-222

美術資料の貸出

近現代美術						
種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
日本画	福王寺法林	ヒマラヤの朝	2-B-4	福王寺法林・一彦展	茨城県近代美術館	平成14年1月26日～ 3月24日
					東京ステーションギャラリー	平成14年4月 6日～ 5月12日
					名古屋・松坂屋美術館	平成14年7月13日～ 7月23日
油彩	吉田 博	溪流	1-A-28	"A Japanese Legacy:	米国・ミネアポリス美術館 (The Minneapolis Institute of Arts)	平成14年2月 3日～ 4月14日
油彩	吉田 博	雲叡深秋	1-A-464	Four Generation of		
版画	吉田 博	雲井櫻	1-E-101	Yoshida Artists"		
版画	吉田 博	溪流	1-E-140	(日本の遺産:		
版画	吉田 博	糸魚川にて(朝)	1-E-149	吉田一家アーティストの4世代)		
版画	吉田 博	糸魚川にて	1-E-150			
油彩	マルク・シャガール	空飛ぶアトラージュ	3-A-87	シャガール展	宮城県美術館	平成14年4月 2日～ 5月 6日
					福岡県立美術館	平成14年5月12日～ 6月 9日
					京都市美術館	平成14年6月14日～ 7月14日
					岡山県立美術館	平成14年7月19日～ 8月18日
					(貸出は宮城会場の一部と京都会場のみ)	
素描	赤瀬川原平	千円札(風倉匠の肖像)	2-D-1520	ポップ! ポップ!! ポップ!!!	茨城県近代美術館	平成14年4月19日～ 5月19日
版画	横尾忠則	葬列I	2-E-389	50's～00'sまでのポップアート		
版画	横尾忠則	葬列II	2-E-390			
油彩	アンディ・ウォーホル	エルヴィス	3-A-98			
彫刻	高村光雲	鐘馗大臣像	2-G-17	高村光雲とその時代展	三重県立美術館	平成14年4月 6日～ 5月19日
					茨城県近代美術館	平成14年5月28日～ 7月 7日
					千葉市美術館	平成14年7月16日～ 8月25日
					徳島県立近代美術館	平成14年9月 3日～10月 6日

美術資料の修復と貸出

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
油彩	藤島武二	イタリア婦人像	1-A-243	ブリヂストン美術館	ブリヂストン美術館	平成14年 4月 6日－ 6月 2日
油彩	藤島武二	椿を持つ婦人	7-A-71	開館50周年記念 藤島武二展	石橋美術館	平成14年 6月11日－ 8月 4日
日本画	上村松篁	竹鶴	2-B-28	生誕100年 上村松篁展 花と鳥にかこまれて	京都市美術館	平成14年 4月 6日－ 5月12日
版画	棟方志功	二菩薩釈迦十大弟子 12冊	2-E-180～ 2-E-191	棟方志功展 生誕100年記念 2002-2003	徳島県郷土文化会館	平成14年 4月 6日－ 4月21日
					林原美術館	平成14年 4月26日－ 5月26日
					高知県立文学館 (半期のみ貸出)	平成14年 6月28日－ 8月 4日
					熊本県立美術館	平成14年 8月 9日－ 9月16日
					(財)中津万象園・ 丸亀美術館 (半期のみ貸出)	平成14年 9月20日-10月14日
					山形美術館	平成14年10月18日-11月17日
					盛岡市民文化ホール	平成14年11月21日-12月23日
					ひろしま美術館	平成15年 1月 3日－ 2月 9日
					滋賀県立近代美術館	平成15年 2月22日－ 3月30日
					(貸出は高知県立文学館、熊本県立美術館、丸亀美術館のみ)	
油彩	マルク・シャガール	空飛ぶアトラージュ	3-A-87	ボンビドー・センター& シャガール家秘蔵作品 マルク・シャガール展	東京都美術館	平成14年 4月20日－ 7月 7日
					新潟県立近代美術館	平成14年 7月20日－ 9月23日
					広島県立美術館 (貸出は東京会場の一部のみ)	平成14年10月 5日-12月15日
油彩	吉田 浩	アルプスの山小屋	1-A-208	松本市美術館開館記念	松本市美術館	平成14年 4月21日－ 6月23日
油彩	児島善三郎	上高地	1-A-322	山笑ふ－岳都からの美的好奇心－		
油彩	鳥海青児	インカの街	2-A-35			
油彩	山口 薫	丸い沼と春の雪	2-A-47			
油彩	吉原治良	白い円	2-A-51			
日本画	岩崎巴人	風雪の谷間	2-B-11			
油彩	和田三造	伊豆大島乳が崎沖より	7-A-58			
		伊豆天城山及び富士を望む				
日本画	児玉希望	泉声	7-B-18			
日本画	東山魁夷	山湖	7-B-43			
日本画	横山大観	矢走の朝	7-B-54			
日本画	富岡鉄斎	仙境図	11-B-12			
彫刻	朝倉文夫	墓守	1-G-1	朝倉文夫展	あさご芸術の森美術館	平成14年 5月18日－ 6月30日
油彩	光安浩行	冬征(スキー)	1-A-153	第55回示現会展特別記念展	福岡市美術館	平成14年 5月21日－ 5月26日
油彩	光安浩行	明日	1-A-154			
油彩	光安浩行	花模様	1-A-155			
油彩	光安浩行	漁港	1-A-156			
油彩	光安浩行	まどべ	1-A-157			
油彩	光安浩行	裸婦	1-A-158			
油彩	光安浩行	鏡	1-A-159			
油彩	光安浩行	愛撫	1-A-223			
油彩	光安浩行	那須高原	1-A-224			
油彩	光安浩行	石仏	1-A-225			
油彩	光安浩行	室内の女	1-A-244			
油彩	光安浩行	無心	1-A-245			
油彩	光安浩行	生産	1-A-246			
油彩	光安浩行	若き日	1-A-247			
油彩	光安浩行	今日の日	1-A-249			
油彩	光安浩行	太宰府神苑	1-A-250			
油彩	光安浩行	裸婦座像	1-A-251			
油彩	光安浩行	題不詳	1-A-252			
油彩	光安浩行	題不詳	1-A-253			
油彩	光安浩行	題不詳	1-A-255			
水彩	光安浩行	題不詳	1-C-41			
水彩	光安浩行	題不詳	1-C-46			
水彩	光安浩行	題不詳	1-C-48			

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
水彩	光安浩行	題不詳	1-C-52			
水彩	光安浩行	題不詳	1-C-53			
水彩	光安浩行	題不詳	1-C-54			
水彩	光安浩行	題不詳	1-C-56			
水彩	光安浩行	題不詳	1-C-59			
水彩	光安浩行	題不詳	1-C-67			
水彩	光安浩行	題不詳	1-C-68			
水彩	光安浩行	題不詳	1-C-70			
素描	光安浩行	題不詳	1-D-314			
素描	光安浩行	題不詳	1-D-315			
素描	光安浩行	題不詳	1-D-317			
油彩	佐伯祐三	街	2-A-29	グラマンク・里見勝蔵・佐伯祐三展	安田火災東郷青児美術館	平成14年 6月15日－ 7月25日
油彩	里見勝蔵	女(裸婦)	2-A-117		ひろしま美術館	平成14年 8月 3日－ 9月15日
油彩	マーク・ロスコ	無題	3-A-30	その希望のあるところ	福井市美術館	平成14年 7月 6日－ 7月28日
油彩	ジョアン・ミロ	ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子	3-A-10	ミロ展 1918-1945	世田谷美術館 愛知県美術館	平成14年 7月27日－ 9月23日 平成14年10月 4日－12月 1日
版画	赤瀬川源平	千円札(風倉匠の肖像)	2-D-1520	20世紀。美術は虚像を認知した	平塚市美術館	平成14年 8月 3日－ 9月23日
油彩	大山右一	人間疎外	1-A-350	－モナ・リサとマンモンのあいだで－		
油彩	レオナルド・フジタ	仰臥裸婦	3-A-6	常設展示	ひろしま美術館	平成14年 9月 1日－10月30日
素描	レオナルド・フジタ	腕をのばした大きな裸婦	3-D-1			
油彩	ラファエル・コラン	若い娘	3-A-1	モネからセザンヌへ －印象派とその時代－	秋田県立近代美術館 埼玉県立近代美術館	平成14年 9月 7日－10月 6日 平成14年10月12日－11月24日
彫刻	草間彌生	夏1	2-G-26	水玉の楽園 草間彌生展	鹿児島県霧島アートの森	平成14年 9月 7日－10月27日
彫刻	草間彌生	夏2	2-G-27			
素描	吉田ふじを	櫻	1-C-118	吉田ふじを展	府中市美術館	平成14年 9月21日－11月 4日
素描	吉田ふじを	庭の女	1-C-196		福岡市美術館	平成15年 1月 5日－ 2月23日
素描	吉田ふじを	富士山麓を行く旅人	1-C-224			
日本画	横山大観	朧月	2-B-6	墨戯－魅惑の水墨画	岡山県立美術館	平成14年10月 4日－11月 4日
油彩	田崎広助	鮎の静物	1-A-58	青木繁・坂本繁二郎生誕 120年記念筑後洋画の系譜	石橋美術館	平成14年11月16日－ 平成15年 3月16日
油彩	丸山久幸	城壁の村	1-A-465	丸山久幸遺作展	福岡市美術館	平成15年 1月15日－ 1月19日
油彩	野口弥太郎	巴里の眺め	1-A-149	独立美術協会展70回記念展	大阪・なんば高島屋	平成15年 2月19日－ 3月 3日
油彩	今西中通	作品	1-A-196	「輝け日本油画」	東京・日本橋高島屋	平成15年 3月 5日－ 3月17日
油彩	鳥海青児	ピカドール	2-A-34		名古屋・松坂屋美術館	平成15年 7月12日－ 7月29日
油彩	坂本繁二郎	鮭	1-A-44	熊本市現代美術館開館記念展Vol.3	熊本市現代美術館	平成15年 2月15日－ 4月 6日
油彩	児島善三郎	春待つ田圃	1-A-204	九州力－世界美術としての九州		「秋声」のみ3月18日まで貸出
油彩	青木 繁	秋声	1-A-228			
油彩	青木 繁	秋声(東京会場のみ)	1-A-228	青木繁と近代日本の	東京国立近代美術館	平成15年 3月25日－ 5月11日
水彩	青木 繁	黄泉比良坂 習作	7-C-1	ロマンティズム	石橋美術館	平成15年 5月20日－ 7月 6日
素描	青木 繁	黄泉比良坂 習作	7-D-1			
写真	ハンス・ベルメール	人形の遊び 1冊	3-F-61～ 3-F-77	今日の人形芸術－想念の造形	東京国立近代美術館工芸館 京都文化博物館	平成15年 3月28日－ 5月18日 平成15年 5月30日－ 6月29日
		人形、1935年 (モダンプリント写真10点)	3-F-137～ 3-F-146		静岡アートギャラリー ミウラート・ヴィレツジ 岐阜市歴史博物館	平成15年 7月12日－ 8月10日 平成15年 8月20日－ 9月30日 平成15年10月10日－11月24日

美術資料の修復と貸出

古美術						
種別	作品名	作者名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
絵画	寿老図	雪舟	4-B-5	没後五〇〇年特別展「雪舟」	京都国立博物館 東京国立博物館	平成14年3月12日－ 4月 7日 平成14年4月23日－ 5月19日
工芸	織部隅切透鉢 付属 松永耳庵宛魯山人書簡		6-Ha-48	桃山陶芸と魯山人展	姫路市立美術館 郡山市立美術館	平成14年7月20日－ 9月 1日 平成14年9月14日－10月27日
絵画	都府楼図	仙厓義梵	12-B-18	太宰府市市制施行20周年記念 『太宰府市環境資料編』刊行記念 太宰府－人と自然の風景	太宰府市文化ふれあい館	平成14年9月14日－10月14日
陶磁器	青井戸茶碗 銘「瀬尾」		6-Ha-57	日本人と茶	京都国立博物館	平成14年9月 7日－10月14日
陶磁器	芦屋浜松舟地文釜		6-Hc-102	－その歴史・その美意識－		
絵画	竹図	伝・蘇軾	4-B-1	福岡築城四〇〇年記念	福岡市博物館	平成14年9月13日－10月27日
絵画	釈迦像	伝・貫休	1-B-2	黒田家－その歴史と名宝展		
絵画	不動明王図	不詳	4-B-4			
絵画	観音・四皓・七賢図	狩野探幽	4-B-11			
絵画	唐太宗觀螳図	中村竹溪	4-B-27			
絵画	霞ヶ関登城図	司馬雲妓	4-B-28			
絵画	宗英公(忠之)像	狩野探幽 沢庵賛	4-B-48			
絵画	金沢之図	狩野昌運	4-B-84			
絵画	洛東西歴覧図巻	狩野即養	4-B-86			
絵画	菊花図巻	不詳	4-B-95			
絵画	泰西風俗図屏風	不詳	4-B-98			
絵画	韃靼人狩獵図屏風	長谷川派	4-B-102			
絵画	阿蘭陀絵帖	宋紫山	4-B-105			
絵画	百流之絵鑑	狩野昌運	4-B-172			
陶磁器	唐物茶入 銘「博多文琳」		4-Ha-3			
陶磁器	唐物茶壺 銘「蓮華王」		4-Ha-4			
陶磁器	古瀬戸肩衝茶入 銘「夏山」		4-Ha-6			
陶磁器	唐物大海茶入 銘「横雲」		4-Ha-7			
漆工芸	三葉葵紋蒔絵櫛		4-Hb-203			
漆工芸	羊歯枇杷葉紋蒔絵箱		4-Hb-20-2			
漆工芸	牡丹文蒔絵太鼓	狩野探幽・狩野永真・狩野洞雲	4-Hb-21			
漆工芸	竹牡丹文蒔絵筆筒		4-Hb-25			
漆工芸	提筆筒		4-Hb-29			
漆工芸	松竹藤文蒔絵広蓋		4-Hb-33			
漆工芸	梨子地三葉葵紋戔金鞍		4-Hb-164			
漆工芸	波文螺鈿鞍		4-Hb-197			
金工	火縄銃(烏天狗図金象嵌)		4-Hc-186			
金工	火縄銃(不動明王像金象嵌)		4-Hc-187			
染織	赤地雲龍文様錦袴		4-Hd-204			
染織	着背長		4-Hd-180			
染織	金襴軍袍		4-Hd-181			
染織	日の丸の陣羽織		4-Hd-183			
染織	永楽通宝の陣羽織		4-Hd-184			
染織	木之丸(渡辺)茶入替蓋、仕服		4-Hd-211			
其他	琵琶 銘「青山」		4-Hf-20			
其他	白熊采配および柄		4-Hf-167			
其他	梵字采配		4-Hf-169-2			
其他	法螺貝(北条白貝)		4-Hf-172			
其他	九字貝		4-Hf-174			
其他	白熊毛槍		4-Hf-176			
書跡	源氏物語系図	伝・九条良経	4-l-1			
書跡	文琳記	小堀遠州	4-l-6			
書跡	渡辺記	春屋宗圓	4-l-7			
書跡	江月宗玩墨蹟	江月宗玩	4-l-8			
書跡	島津栄翁書	島津重豪	4-l-22			
書跡	百八字形	伝・藤原佐理	4-l-26			

種別	作品名	作者名	所蔵品番号	出品展覧会	展覧会場	展覧会期
書跡	松花堂昭乗消息	松花堂昭乗	4-I-28			
書跡	神妙録	伝・沢庵宗彭	4-I-29			
書跡	六家抄	細川藤孝	4-I-32			
書跡	新古今集聞書	細川藤孝	4-I-33			
書跡	証本	観世壽閑	4-I-34			
書跡	扈言抄	林羅山	4-I-35			
絵画	石菖図	子庭	6-B-4			
書跡	清拙正澄墨蹟(与元中別称掲)	清拙正澄	6-I-6			
書跡	千利休消息 嶋竹の文	千利休	6-I-19			
陶磁器	瀬戸肩衝茶入 銘「辰市」	瀬戸焼	14-Ha-51			
陶磁器	高取桃形茶碗 銘「三千歳」	高取焼	14-Ha-83			
絵画	犬図	仙厓義梵	9-B-7	墨戯－魅惑の水墨画	岡山県立美術館	平成14年10月 4日-11月 4日
絵画	獺図	狩野探幽	4-B-13	生誕四〇〇年記念 狩野探幽展	東京都美術館	平成14年10月19日-12月 8日
絵画	杜子美図	伝・牧谿	6-B-5	開館15周年記念	大分市歴史資料館	平成14年10月25日-11月24日
書跡	千利休消息 嶋竹の文	千利休	6-I-19	大分と茶道〈宗麟・利休の流れ〉		
工芸その他	節なし茶杓	村田珠光	6-Hf-81			
陶磁器	粉吹茶碗 銘「十石」		6-Ha-56			
陶磁器	黒楽茶碗 銘「次郎坊」		6-Ha-62			
陶磁器	上野割山椒形向付		6-Ha-110			
絵画	磯千鳥図屏風	土佐光起	4-B-99	江戸文化シリーズ18	板橋区立美術館	平成14年11月30日-
絵画	藤図屏風	池田孤村	14-B-9	ちょっと小粋な江戸屏風 Part II		平成15年 1月 8日

美術館協議会委員

会長	大西修也	九州芸術工科大学教授
副会長	吉岡 紋	作家
学校教育関係者	出田紘子	多々良中学校長
	松尾浩二	志賀島小学校長
	三浦勇二	福岡西陵高等学校
社会教育関係者	足達千鶴子	福岡市地域婦人会常任理事
	石橋美恵子	福岡市社会教育委員
	小林俊子	福岡市青少年団体連絡会議理事
学識関係者	豊田晃一	福岡市老人クラブ連合会副会長
	木戸龍一	福岡県美術協会理事長
	京谷啓徳	九州大学助教授
	佐竹正浩	福岡市文化財団専務理事
	中西久吉	福岡市美術展運営委員
	濱砂圭子	育児情報誌編集長
	古川智次	福岡大学教授
	松尾孝司	西日本新聞社文化部長

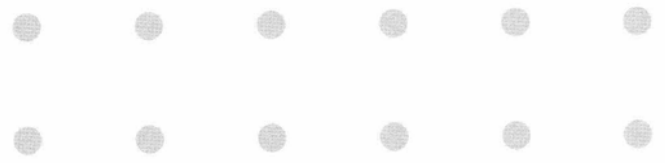
収集審査委員

近現代美術		
乾 由明	金沢美術工芸大学長	
宝木範義	明星大学日本文化学部造形芸術課教授	
富山秀男	石橋財団ブリチストン美術館長	
中村英樹	名古屋造形芸術大学教授	
古川智次	福岡大学人文学部教授	
古美術		
小笠原小枝	日本女子大学助教授	
菊竹淳一	九州産業大学芸術学部教授	
財津永次	梅光女学院大学教授	
吉田宏志	京都府立大学文学部教授	
吉永陽三	九州陶磁文化館学芸課長	

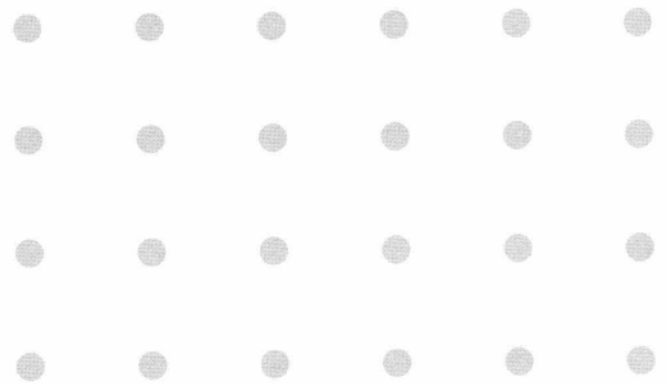
(50音順・敬称略・肩書きは平成14年度のもの)

職員

館長	尾花 剛
副館長(事業管理部長事務代理)	
事業管理部長	小林 毅
管理課長	裨田政彦
管理係長	牟田博和
管理係	林 充江
	稲永幸一
	池田 茂
	濱田 誠
展覧会等運営調整専任主査	長野楠男
学芸課長	石田泰弘
学芸係長	尾崎直人
主任学芸主事	柴田勝則
	渡邊雄二
学芸員	岩永悦子
	山口洋三
	三谷理華
	山本香瑞子
	鬼本佳代子
嘱託員	白水 徹
	石田勝彦
	中澤雄二
	ギャレット三宅万里子
	中原千代子
	畑 千代美



資 料



福岡市美術館条例 昭和54年3月8日条例第38号
最新改正 平成14年3月28日条例第38号

設置

第1条 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、福岡市美術館（以下「美術館」という。）を福岡市中央区大濠公園に設置する。

事業

第2条 美術館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 美術作品その他の美術に関する資料（以下「美術作品等」という。）を収集し、保管し及び展示すること。
- (2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会等を開催し及びその奨励を行うこと。
- (4) 施設の利用に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的達成に必要なこと。

職員

第3条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

観覧料

第4条 美術館が主催して展示する美術作品等を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納付しなければならない。

利用の許可

第5条 美術に関する展覧会、講演会、講習会、研究会及び美術の創作等のため美術館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときもまた同様とする。

利用の制限

第6条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、美術館の利用を拒み、又は前条に規定する許可をせず、若しくは既にした許可を取り消すことができる。

- (1) 利用者（利用しようとする者を含む。以下本条において同じ。）が美術館の設置の目的に反する利用をし、又はそのおそれがあるとき。
- (2) 利用者がこの条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反し、又はそのおそれがあるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理上支障があると認められるとき。

2 ―― 前項の措置によつて利用者が損害を受けても、本市はその責めを負わない。

入館の制限

第7条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、若しくは展示品又は施設設備等を損傷するおそれがあると認められるもの
- (2) 管理上の指示又は指導に従わないもの
- (3) 管理上支障があると認められるもの

利用する権利の譲渡等の禁止

第8条 利用者は、美術館を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

特別な設備

第9条 利用者は、美術館に特別な設備をし、又は変更を加えてはならない。ただし、教育委員会が特に認めたときは、この限りでない。

- 2 ―― 教育委員会は、管理上必要があると認めるときは、利用者の負担において特別な設備をさせることができる。
- 3 ―― 前2項に規定する設備は、利用許可期限満了前に利用者の負担において撤去し、原状に復さなければならない。
- 4 ―― 利用者が前項に規定する撤去を行わないときは、教育委員会がこれを行い、その費用を利用者から徴収する。

使用料

第10条 第5条に規定する許可を受けた者からは、別表第2に定める額の使用料を徴収する。

- 2 ―― 前項の使用料は、前納とする。

撮影等の許可及び手数料

第11条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は所蔵されている美術作品等の撮影、模写、模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2 ―― 前項に規定する許可を受けた者からは、1点1回につき2,200円の範囲内で教育委員会規則で定める額の手数料を徴収する。

観覧料等の不還付

第12条 既納の観覧料、使用料及び手数料（以下「観覧料等」という。）は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合は、その全部又は一部を還付することができる。

観覧料等の減免

第13条 教育委員会は、特別の理由があると認める場合は、観覧料等を減免することができる。

利用者の管理義務

第14条 利用者は、利用期間中その利用に係る美術館の施設、付属設備及び図書資料等を善良な管理者の注意をもつて管理しなければならない。

損害賠償

第15条 利用者が、美術館の施設、付属施設、展示品又は図書資料等を破損し、滅失し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

職員の立入り

第16条 利用者は、美術館の職員が職務のため当該利用に係る施設に立ち入ろうとするときは、これを拒むことができない。

美術館協議会

第17条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条の規定により、美術館に美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 ―― 協議会は、美術館及び福岡アジア美術館条例(平成10年福岡市条例第47号)により設置された福岡アジア美術館の運営に関し、それぞれの館長の諮問に応じるとともに、これらの館長に対して意見を述べるものとする。

3 ―― 協議会の委員の定数は、20人以内とする。

4 ―― 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 ―― 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

委任

第18条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則(平成14年3月28日条例第38号)

施行期日

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

別表第1 美術作品等観覧料

区分	金額	
	個人	20人以上の団体
常設展示観覧 一般	200円	1人につき150円
	大学生・高校生	150円
特別展示観覧	1人につき2,000円以内で教育委員会が定める額	

備考

- 1 常設展示観覧とは、美術館が平常的に展示する美術作品等の観覧をいい、特別展示観覧とは、美術館が特別に展示する美術作品等の観覧をいう。
- 2 一般とは、大学生・高校生及び中学生以外の者で15歳以上のものをいい、大学生・高校生とは、大学、高等専門学校、高等学校、専修学校、各種学校又はこれらに準ずるものに在学する者をいう。

別表第2(1)展示室使用料

区分	単位	金額
特別展示室 A	1日	31,000円
	B	6,800円
市民ギャラリー	1室1日	3,300円

(2)講座室等使用料

区分	単位	金額
教養講座室	1時間	900円
実技講座室	1時間	900円
版画印刷工房室	1時間	900円
講堂	1時間	1,800円

備考

- 1 特別展示室又は市民ギャラリーの利用者が入館者から入場料を徴収する場合の使用料の額は、この表の金額の10割増とする。
- 2 使用料の算定に当たって用いる日数又は時間数に1日又は1時間未満の端数があるときは、当該端数をそれぞれ1日又は1時間とみなす。
- 3 付属設備の使用料の額は、教育委員会規則で定める。

福岡市美術館条例施行規則

昭和54年7月2日教育委員会規則第12号
最新改正 平成14年7月1日教規則第12号

趣旨

第1条 この規則は、福岡市美術館条例(昭和54年福岡市条例第38号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

組織

第2条 福岡市美術館(以下「美術館」という。)の事務を行うため、美術館に次の課及び係を置く。

管理課 管理係
学芸課 学芸係

分掌事務

第3条 課の分掌事務は、次のとおりとする。

■管理課

- (1) 美術館内の連絡調整に関すること。
- (2) 美術館の維持管理に関すること。
- (3) 美術館の利用その他便宜供与に関すること。
- (4) 美術館関係文書の收受及び発送に関すること。
- (5) その他学芸課の主管に属しないこと。

■学芸課

- (1) 美術作品その他の美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)の収集、保存及び展示に関すること。
- (2) 寄託に係る美術作品等の選定に関すること。
- (3) 美術作品等に関する専門的、技術的な調査研究に関すること。
- (4) 美術に関する案内書、解説書、目録等の刊行に関すること。
- (5) 美術に関する展覧会、講演会、講習会、研究会等の開催及び奨励に関すること。
- (6) 他の美術館等との連絡、協力、情報の交換及び美術作品等の相互貸借等に関すること。
- (7) その他美術館の行う事業に係る専門的事項に関すること。

職員

第4条 美術館に館長、副館長及び事業管理部長を、課に課長を、係に係長を置く。

2 ―― 前項の職員のほか、特に必要ときは、美術館に特命担当の部長、特命担当の課長又は主査、課に主査又は主任学芸主事を置くことがある。

3 ―― 前2項の職員のほか、課に吏員その他の職員を置く。

4 ―― 館長、副館長、事業管理部長、特命担当の部長、課長、特命担当の課長、係長、主査及び主任学芸主事は、吏員のうちから命ずる。

5 ―― 前項の規定にかかわらず、館長については非常勤嘱託職員をもつて充てることができる。

6 ―― 係長、主査又は主任学芸主事のうちから総括係長を命ずることがある。

7 ―― 館長は、上司の命を受けて、美術館の事務を統理し、所属職員を指揮監督する。

8 ―― 副館長は、上司の命を受けて、美術館の事務につき館長を補佐し、所属職員を指揮監督する。

9 ―― 事業管理部長は、上司の命を受けて、美術館の事務を掌理し、

関係法規

- 所属職員を指揮監督する。
- 10 ― 課長及び係長は、上司の命を受けて、課に属する事務又は係に属する事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 11 ― 特命担当の部長、特命担当の課長、主査及び主任学芸主事は、上司の命を受けて、美術館に属する特定の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 12 ― 吏員その他の職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。

職務権限の代行

- 第5条 館長に事故がある場合又は館長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、副館長が館長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務については、教育次長の指揮を受けなければならない。
- 2 ― 前項の規定により、館長の職務権限を代理して行う者がいないときは、館長の職務権限は、教育次長が行う。

開館時間

- 第6条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時30分まで（7月1日から8月31日までの間（日曜日及び休日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。以下同じ。）を除く。以下「夏季期間」という。）においては、午後7時30分まで）とする。ただし、入館は、午後5時まで（夏季期間においては、午後7時まで）とする。
- 2 ― 前項の規定にかかわらず、教育長が必要と認める場合は、開館時間を変更することができる。

休館日

- 第7条 美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。ただし、教育長が必要と認める場合は、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。
- （1） 毎週月曜日（その日が休日に当たるときは、その翌日）
- （2） 12月28日から翌年1月4日まで

展示室等の利用

- 第8条 条例第5条の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、福岡市美術館施設利用許可申請書（様式第1号）により教育長に申請しなければならない。
- 2 ― 前項の申請は、展示室については、利用しようとする日が1月1日から6月30日までの間である場合にあっては、当該利用しようとする日の属する年の前年の7月31日までに、7月1日から12月31日までの間である場合にあっては、当該利用しようとする日の属する年の1月31日までに行わなければならない。ただし、教育長が必要と認める場合は、この限りでない。

利用の許可

- 第9条 教育長は、美術館の施設の利用を許可したときは、福岡市美術館施設利用許可書（様式第2号）を交付するものとする。

利用の取止め

- 第10条 美術館の施設の利用の許可を受けた者（以下「利用者」という。）が、利用の取止めをしようとする場合には、あらかじめ福岡市美術館施設利用取止め届（様式第3号）を教育長に提出しな

ければならない。

図書の利用

- 第11条 美術館の図書の利用に関し必要な事項については、館長が別に定める。

利用時間

- 第12条 美術館の利用時間には、準備及び後片付けに要する時間を含むものとする。

開館時間以外の利用

- 第13条 美術館の開館時間以外の利用は、美術館の運営上支障がない場合にのみ許可する。

撮影等の許可

- 第14条 条例第11条第1項の規定により美術作品等の撮影、模写、模造等（以下「撮影等」という。）の許可を受けようとする者は、撮影等許可申請書（様式第4号）により館長に申請しなければならない。
- 2 ― 館長は、前項の許可をしたときは、撮影等許可書（様式第5号）を交付するものとする。
- 3 ― 撮影等の許可は、観覧者の観覧に支障がなく、かつ、美術作品等の管理上支障がないと認められる場合にのみ許可するものとする。

入館者及び利用者の心得

- 第15条 美術館の入館者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。
- （1） 建物、付属設備又は美術作品等その他の備品を汚損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
- （2） 他の入館者に迷惑をかけないこと。
- （3） 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- （4） 危険物又は動物を持ち込まないこと。
- （5） 許可なくして物品を販売し、又は展示しないこと。
- （6） 館内を不潔にしないこと。
- （7） 許可なくして美術作品等の撮影又は模写をしないこと。
- （8） 施設、設備等の利用を終えたときは、これを原状に復すこと。
- （9） 所定の場所以外に出入りしないこと。
- （10） 前各号に掲げるもののほか、管理上の必要から職員が行う指示又は指導に従うこと。
- 2 ― 利用者は、前項に規定するもののほか、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。
- （1） 収容人員は、当該施設の所定の人員を超えないこと。
- （2） 条例第7条各号のいずれかに該当する者に対しては、当該施設への入場を拒絶し、又は退場を命ずること。
- （3） 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。
- （4） 当該施設への入場者に前項に規定する事項を守らせること。

利用後の点検

- 第16条 利用者は、施設、設備、備品等の使用を終わつたときは、職員

点検を受けなければならない。

付属設備の使用料

第17条 美術館の付属設備の使用料の額は、別表第1のとおりとする。

撮影等の手数料

第18条 条例第11条第2項に規定する手数料の額は、別表第2のとおりとする。

使用料及び手数料の徴収

第19条 使用料は、利用の開始までに徴収する。

2 ―― 手数料は、撮影等の開始までに徴収する。

使用料の還付

第20条 条例第12条ただし書の規定による使用料の還付は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

- (1) 天災地変その他不可抗力により利用できなくなつたとき 全額
- (2) 利用者(展示室の利用者を除く。)が利用日の10日前までに利用取止め届を提出したとき 全額
- (3) 利用者が利用日の5日前(展示室の利用者については3月前)までに利用取止め届を提出したとき 5割相当額

観覧料の減免

第21条 条例第13条の規定による観覧料の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

- (1) 市内の義務教育諸学校の児童又は生徒の引率者が当該義務教育諸学校の教育計画に基づき常設展示を観覧するとき 全額
- (2) 市内に居住する心身障害者(本市が発行する療育手帳、身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)に規定する身体障害者手帳又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)に規定する精神障害者保健福祉手帳(以下「療育手帳等」という。))の交付を受けている者をいう。)が常設展示を観覧するとき 全額
- (3) 市内に居住する65歳以上の者が常設展示を観覧するとき 全額
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額

2 ―― 前項第1号又は第4号の規定により観覧料の減免を受けようとする者は、福岡市美術館観覧料減免申請書(様式第6号)により教育長に申請しなければならない。ただし、教育長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

3 ―― 第1項第2号又は第3号の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、療育手帳等又は本市が発行するシルバー手帳を職員に提示しなければならない。

使用料の減免

第22条 条例第13条の規定による使用料の減免は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める額について行うものとする。

- (1) 本市が主催し、又は経費の一部を負担して共催する行事に利用するとき 全額

- (2) 本市が経費の一部を負担して後援する行事に利用するとき 5割相当額
- (3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関がその行事に利用するとき 全額
- (4) 18歳未満の者を主体とする団体が利用するとき 5割相当額
- (5) 前各号に掲げるもののほか、教育長が特に必要と認めるとき 教育長が必要と認める額

2 ―― 使用料の減免を受けようとする者は、福岡市美術館使用料減免申請書(様式第7号)により教育長に申請しなければならない。ただし、本市が主催する行事に利用する場合は、この限りでない。

美術館協議会の会長及び副会長

第23条 条例第17条に規定する美術館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置く。

2 ―― 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 ―― 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 ―― 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

会議

第24条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集する。

2 ―― 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 ―― 会議の議事は、出席議員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

委任

第25条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、教育長が定める。

附則(平成14年7月1日教規則第12号)

この附則は、公布の日から施行する。

別表第1

付属設備使用料

種別	区分	単位	金額
展示設備	可動陳列ケース	1台1日	330円
映写設備	スライド映写機	一式1時間	440
	8ミリ映写機	一式1時間	440
	16ミリ映写機	一式1時間	770
	ビデオ装置	一式1時間	550
音響照明設備	スポットライト	一式1時間	220
	マイクロホン	一式1時間	220

備考 付属設備の使用時間に1時間未満の端数があるときは、これを切り上げる。

別表第2

撮影手数料

区分			金額	備考
撮影	モノクローム	A	220円	Aは学術研究を目的とする場合
		B	1,650	
	カラー	A	440	Bは学術研究以外を目的とする場合とする。
		B	2,200	
模写、模造			1,650	
熟覧			330	

様式第1号

福岡市美術館施設利用者許可申請書

年 月 日

(あて先) 福岡市教育委員会教育長

申請者 所在地

団体名

代表者

(電話)

次のとおり福岡市美術館の施設を利用したいので、許可を申請します。
なお、利用に際しては、福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく職員の指示に従います。

利用する施設			会場責任者氏名	(電話)	
利用期間	展示室	年 月 日 から 年 月 日 まで 日間	搬入	月 日(時 分から 時 分まで)	
	講座室等	年 月 日(曜) 時 分から 時 分まで	搬出	月 日(時 分から 時 分まで)	
利用目的			催物の名称		
入場料	有料	大人 円 学生 円 小人 円	無料	入場者見込	述べ 人
館内での頒布物	有(有料 ・ 無料) 無				
共催			後援		
利用する付属施設	1	() 3 () 5 ()			
	2	() 4 () 6 ()			
使用料(年度)	施設	付属設備	計		
	円	円	円		

(注) 1 利用期間には、搬入、搬出の日も含まれます。
2 太枠線内のみ記入してください。

様式第2号

年 月 日

福岡市美術館施設利用許可書

第 号

殿

福岡市教育委員会教育長 印

年 月 日申請の福岡市美術館の施設の利用については、次のとおり許可します。

利用する施設					
利用期間	展示室	年 月 日から 年 月 日まで 日間			
	講座室等	年 月 日 時 分から 時 分まで			
利用目的					
催物の名称					
利用する付属設備	1	() 3 () 5 ()			
	2	() 4 () 6 ()			
留意事項	1. 福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともにこれらに基づく職員の指示に従って下さい。				
	2. 搬入及び搬出は、次の日時に行ってください。 搬入 年 月 日 時 分から 時 分まで 搬出 年 月 日 時 分から 時 分まで				

様式第3号

福岡市美術館施設利用取止め届			
年 月 日			
(あて先) 福岡市教育委員会教育長			
申請者		所在地	
		団体名	
代表者		☎	
(電話		)	
次のとおり利用を取り止めますので、福岡市美術館条例施行規則第10条の規定によりお届けします。			
許可年月日	年 月 日	許可番号	第 号
利用期間	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで		
利用の取止めをする施設又は付属設備			
既納使用料	使用料	円 付属設備使用料	円
取止めの理由			

様式第4号

撮 影 等 許 可 申 請 書					
年 月 日					
(あて先) 福岡市美術館長					
申請者 住 所					
氏 名					
(電話)					
次のとおり美術作品等の撮影等をしたいので、許可を申請します。					
なお、撮影等に際しては、福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく職員の指示に従います。					
撮影等の目的					
美 術 品 等 の 名 称		点 数		作 者 名	
撮影等の日時					
方 法		撮 影 ・ 模 写 ・ 模 造 ・ 熟 覧			
備 考					
手数料	撮影	モノクローム	点	円	計
		カ ラ ー	点	円	
		模 写 ・ 模 造	点	円	
		熟 覧	点	円	
					円

(注) 太枠線内のみ記入してください。

様式第5号

第 号		
撮 影 等 許 可 書		
年 月 日		
殿		
福岡市美術館長		
年 月 日申請の美術作品等の撮影等を許可します。		
撮影等の目的		
美 術 品 等 の 名 称		
点 数		
作 者 名		
撮影等の日時		
方 法		
撮 影 ・ 模 写 ・ 模 造 ・ 熟 覧		
留 意 事 項		
1. 福岡市美術館条例及び同条例施行規則を守るとともに、これらに基づく職員の指示に従ってください。		
2. 撮影等に当たっては、職員の指示に従ってください。		

様式第6号

福岡市美術館観覧料減免申請書			
年 月 日			
(あて先) 福岡市教育委員会教育長 申請者 所在地 団体名 代表者 ㊞ (電話)			
福岡市美術館条例施行規則第21条第2項の規定により次のとおり福岡市美術館観覧料の減免を申請します。			
観 覧 目 的			
観 覧 日 時	年 月 日 (曜日) 時 分から		
観 覧 者 数	小 学 生	学 年	人
	中 学 生	学 年	人
	そ の 他		人
	引 率 者		人

様式第7号

福岡市美術館使用料減免申請書			
年 月 日			
(あて先) 福岡市教育委員会教育長 申請者所在地 団体名 代表者 (電話)			
福岡市美術館条例施行規則第22条第2項の規定により次のとおり福岡市美術館使用料の減免を申請します。			
事 業 名			
主 催 者 名 共 催 者 名			
後 援 者 名			
利 用 施 設			
利 用 期 間	年 月 日 (曜日) 時 分から 年 月 日 (曜日) 時 時 分まで		
後 援 する 場合	※本市が負担する経費の額	円	
本市が共催又は	当該事業に要する経費の総額	円	
摘 要			

(注) ※印の欄は、経費を負担する市の担当課において記入を受けてください。

平成14年度 福岡市美術館活動の記録

編集 福岡市美術館
デザイン 大宝拓雄デザイン事務所
印刷 有限会社 西菱
発行 2004年3月15日 福岡市美術館
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
電話(092)714-6051
福岡市美術館 2004年

FUKUOKA ART MUSEUM